

SHARP®

インフォメーションディスプレイ マネージメントソフト

e-Signage S

取扱説明書

形名 PN-SW25
PN-SS25
PN-SS22
PN-SS21
PN-SV21

もくじ

はじめに	8
e-Signage S について	8
■機能一覧表	9
e-Signage S を使用するための注意事項	10
商標について	10
この取扱説明書の見かた	11
■表記について	11
用語解説	12
配信データ表示までの流れ	13
■e-Signage ランチャーを使用した配信	14
システム運用上の注意事項	15
■コンテンツや番組を作成するときの留意点	15
■サーバーソフトウェアのエディション変更について	17
■e-Signage S プレーヤー A1 の制限事項	18
インストール	20
動作環境	20
■動作環境（表示用端末）	21
配信方法について	22
e-Signage S をインストールする	23
■インストール後の設定	24
■表示用端末の環境を設定する	24
e-Signage S をアンインストールする	32
サーバー設定	33
WEB サーバーの設定（初回設定ウィザード）	33
WEB サーバーの設定	36
■運用グループを追加する	36
■WEB サーバーを設定する	37
■自動ログアウト時間を設定する	38
■ライセンス登録する	38
■配信スケジューラについて	39
■配信承認機能を有効にする（WEB サーバー版のみ）	39
■スーパーバイザーを登録する（WEB サーバー版のみ）	40
■スーパーバイザーをすべて削除する	40

ログイン編

ログイン 42

WEB サーバーにログインする	42
■ 管理用 PC からユーザーとしてログインする場合	42
■ 操作用 PC からユーザーとしてログインする場合	42
■ スーパーバイザーとしてログインする場合	42
画面の見かた	43
■ ツールバー	43
■ ダッシュボード画面	43
■ システム管理画面	43

コンテンツ編

コンテンツフォルダー管理 46

基本画面について	46
コンテンツフォルダーグループを管理する	47
■ コンテンツフォルダーグループ管理エリア	47
■ コンテンツフォルダーグループを作成する	48
コンテンツフォルダーを管理する	49
■ コンテンツフォルダー管理エリア	49

コンテンツフォルダー作成 50

コンテンツフォルダーを作成する流れ	50
コンテンツフォルダーを作成する	50
コンテンツフォルダーのコンテンツファイルを編集する	53
■ コンテンツファイル編集画面	53
■ コンテンツフォルダーに格納できるファイル	56
コンテンツファイルをアップロードする	58
■ 「メディア」フォルダーにファイルをアップロードする	58
テロップを作成する	62
■ 「テロップ」フォルダー／「音声」フォルダーにファイルをアップロードする	65
コンテンツファイルをダウンロードする	66

再生条件設定 67

再生条件を設定する	67
-----------------	----

番組編

番組管理 70

基本画面について	70
番組グループを管理する	71
■番組グループ管理エリア	71
■番組グループを作成する	72
番組を管理する	73
■番組管理エリア	73

番組作成 74

基本画面について	74
番組を作成する	75
■レイアウトを設定する	75
■コンテンツフォルダーを割り当てる	77
■PIP 枠を設定する	78
■画面の表示位置を設定する	79
■画面サイズを設定する	79

スケジュール編

スケジュール管理 81

基本画面について	81
スケジュールグループを管理する	82
■スケジュールグループ管理エリア	82
■スケジュールグループを作成する	83
スケジュールを管理する	84
■スケジュール管理エリア	84

スケジュール作成 85

基本画面について	85
■スケジュール作成エリア	86
スケジュールを作成する	87
■割り当てたコンテンツフォルダー / 番組 / パネル制御コマンドを調整する	89
■同期できるタイムテーブルを登録する	89
■タイムテーブルを同期する	90
■パネル制御コマンド	90

配信編

配信 92

基本画面について	92
■配信データ選択エリア	92
■パネル表示エリア	93
配信する／配信を予約する	96
配信状況	98

USB メモリー /SD メモリーカード配信 99

■WEB クライアント使用時の配信	100
-------------------------	-----

緊急配信 101

臨時番組	101
■臨時番組を配信する	101
■配信状況	102
■臨時番組を停止する	102
緊急テロップ	103
■配信状況	103
■緊急テロップを停止する	104

状態監視・制御編

監視・制御 106

基本画面について	106
■表示用端末 / パネルを制御する	108
■システムファイルを取得する	109
■状態監視設定を行う	110

パネル側データ確認 111

基本画面について	111
■配信データの状況を確認する	112

ユーザー管理編

ユーザー管理 114

基本画面について	114
ユーザーグループを管理する	115
■ユーザーグループ管理エリア	115
ユーザーグループを作成する	116
ユーザーを管理する	117
■ユーザー管理エリア	117
ユーザーを作成する	118

パネル管理編

パネル管理 120

基本画面について	120
パネルグループを管理する	121
■パネルグループ管理エリア	121
■パネルグループを作成する	122
パネルを管理する	123
■パネル管理エリア	123

パネル登録 124

■パネルを登録する	124
■承認待ちパネル（表示用端末）を登録する	126

システムログ編

システムログの確認 128

基本画面について	128
システムログを確認する	129
■システムログを出力する（TXT 形式 / CSV 形式）	130

プレイヤー更新編

プレイヤー更新 132

更新操作について	132
基本画面について	133
■配信データ選択エリア	134
■パネル表示エリア	135
■配信する	137

インポート / エクスポート編

インポート 139

基本画面について	139
■インポートファイル表示エリア	140
インポートする	141

エクスポート 142

基本画面について	142
■エクスポートファイル選択エリア	142
■エクスポートファイル表示エリア	143
エクスポートする	144

プレーヤー編

スケジュール受信・番組表示 146

FTP サーバーについて	146
■FTP サーバーの起動	146
e-Signage クライアントスケジューラについて	146
■e-Signage クライアントスケジューラの起動	146
■e-Signage クライアントスケジューラのメニュー	147
e-Signage クライアントスケジューラについて (WEB クライアント)	157
USB メモリーなどの外部記憶装置を利用してコンテンツを直接配信する	158
番組ビューア	159
e-Signage S プレーヤー A1 の設定	159
■e-Signage S プレーヤー A1 の設定画面について	159

キー／マウス連携 162

キー／マウス連携ツールの画面について	162
■キー／マウス連携ツールを起動する	162
■キー／マウス連携ツールのメニュー	162

e-Signage 編

e-Signage ランチャーについて 167

付録

プレゼンテーションファイル変換ツール 169

本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報 170

ソフトウェアの構成	170
-----------------	-----

はじめに

このたびは、インフォメーションディスプレイ マネージメントソフト e-Signage S（イーサイネージ エス）をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。

e-Signage S について

インフォメーションディスプレイ マネージメントソフト e-Signage S には、WEB サーバー版、Pro 版、ネットワーク版、スタンドアロン版があります。各タイプで使用制限や機能の違いがあります。（[次ページ](#)）
また、コンテンツを表示する端末（表示用端末）には e-Signage S プレーヤー（Windows 用）または e-Signage S プレーヤー A1（Android 用）のインストールが必要です。

- **スタンドアロン版 PN-SS21**

1 台の PC 内で番組やスケジュール作成から配信までを実施。USB メモリーを使用することで、表示用端末に配信することも可能。

オペレーター数： 1 名

- **ネットワーク版 PN-SS22**

管理用 PC からネットワーク経由で表示用端末に、作成した番組やスケジュールを配信。

オペレーター数： 1 名

配信台数： 最大 100 台

- **Pro 版 PN-SS25**

最大 1000 台まで配信可能。多数のパネルをパネルグループで管理。

オペレーター数： 1 名

配信台数： 最大 1000 台

- **WEB サーバー版 PN-SW25**

マルチユーザー機能でさまざまな PC 環境からアクセスして、コンテンツフォルダー、番組、スケジュール編集が行えます。

オペレーター数： 1 ~ 50 名

配信台数： 最大 1000 台

■ 機能一覧表

形名	e-Signage S WEB サーバー版	e-Signage S Pro 版	e-Signage S ネットワーク版	e-Signage S スタンドアロン版
	PN-SW25	PN-SS25	PN-SS22	PN-SS21
運用グループ管理 (☞ 36 ページ)	○	×	×	×
マルチユーザー管理 (☞ 114 ページ)	○	×	×	×
ユーザー権限管理 (☞ 116 ページ)	○	×	×	×
パネルグループ管理 (☞ 120 ページ)	○	○	×	×
番組作成・編集 (☞ 69 ページ)	○	○	○	○
スケジュール作成・編集 (☞ 80 ページ)	○	○	○	○
配信	USB メモリー配信 (☞ 99 ページ)	○	○	○
	ネットワーク配信 (PUSH 型) (☞ 22 ページ)	○	○	○
	ネットワーク配信 (PULL 型) (☞ 22 ページ)	○	○	○
	配信台数 (☞ 8 ページ)	最大 1,000 台	最大 1,000 台	最大 100 台
	臨時番組配信 (☞ 101 ページ)	○	○	○
	配信予約 (☞ 96 ページ)	○	○	○
	緊急テロップ配信 (☞ 103 ページ)	○	○	×
	遠隔プレーヤー アップデート (☞ 131 ページ)	○	○	○
ディスプレイ状態監視 (パネルの状態監視) (☞ 105 ページ)	○	○	○	×
ディスプレイ制御 (パネル制御) (☞ 105 ページ)	○	○	○	×

e-Signage S を使用するための注意事項

- e-Signage S は厳重な品質管理のもとで出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、お買いあげの販売店までご連絡ください。
- お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- e-Signage S を利用して著作権の対象となっている著作物を複製・編集等を行うことは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。
利用者自身が複製対象物について著作権などを有しているか、あるいは複製等について著作者等から許諾を受けているなどの事情がないにも関わらず、この範囲を越えて複製・編集した場合や、複製物・編集物を使用した場合には、著作権等を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。
また、e-Signage S において写真の画像データ、DVD 映像、TV 放映等を利用する場合は、上記著作権侵害にあたる利用方法は厳重にお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用・改変などをすると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法も厳重にお控えください。
- TV、DVD など、著作権のある番組を上映する際は、著作者の許諾を取得してください。
- 本取扱説明書および e-Signage S の内容の全部および一部を、当社に無断で転記、あるいは複製することはお断りします。
- 本取扱説明書および e-Signage S は、改良のため予告なく変更することがあります。

商標について

- Microsoft、Microsoft Edge、Windows、Windows Media、Windows Server、PowerPoint、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Adobe、Flash は、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。
- Google、Android、Google Chrome は Google LLC の商標です。

その他、製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

この取扱説明書の見かた

■ 表記について

- キーを押す操作は、押すキーを「[]」で表記しています。
例：【Shift】キー、【Ctrl】キーなど
- メニューやウィンドウ、ダイアログボックス、ボタン、タブなどを「[]」で表記しています。
例： **4** [変更の保存] をクリックする。
[電源オプション] ダイアログボックスに戻ります。
- 項目やチェックボックス、ラジオボタンなどを「[]」で表記しています。
例：「座標-X」、「プリセット画面サイズ」ラジオボタンなど
- 本書では、e-Signage S が次のフォルダーにインストールされている場合を例に説明します。
異なる場合は、必要に応じて読み換えて操作してください。
C:\Program Files (x86)\SHARP\e-Signage (デフォルト)
- 本書に記載されている画面サンプルや操作手順は、1つの例です。
お使いの表示デバイスや画面の設定、お使いになる OS やブラウザ、またそのバージョンによって内容が異なる場合があります。
また、本書に記載されているコンテンツファイルやフォントなどは、作成例です。すべて搭載されているものではありません。
- 本書では、Windows、Android の基本的な操作については説明していません。

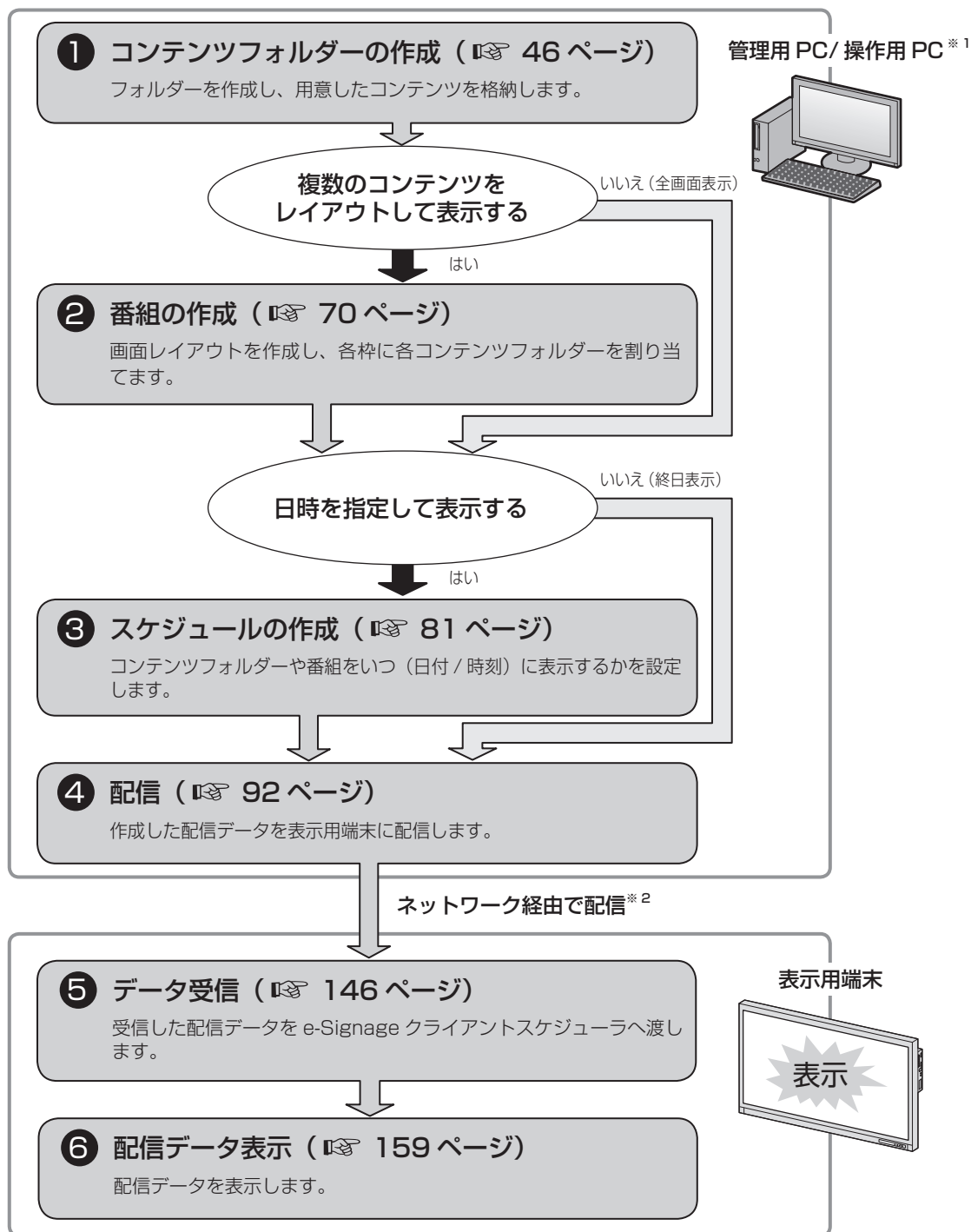
用語解説

本書で使用されている用語について説明します。

用語	意味
管理用 PC	画面全体のレイアウトやコンテンツの再生順序などを設定し、再生スケジュールを作成して、配信するパソコン。
操作用 PC	WEB ブラウザなどで管理用 PC にアクセスして、配信指示や状態監視などを行うパソコン。
表示用端末	配信されたスケジュールに従ってコンテンツを再生する端末。
サーバーソフトウェア	管理用 PC にインストールされるソフトウェアです。
クライアントソフトウェア	操作用 PC にインストールされるソフトウェアです。
プレーヤーソフトウェア	表示用端末にインストールされるソフトウェアです。
コンテンツ (ファイル)	動画、静止画、音声など、再生する素材 (ファイル) です。 通常は、ユーザー側で用意します。
コンテンツフォルダー	コンテンツを格納します。パネル、番組、スケジュールに割り当てることができます。
プレイリスト	再生するコンテンツのリストです。
表示枠	表示画面を複数に分割したときの表示単位となる子画面を示します。
番組	表示枠レイアウトと、表示枠にそれぞれ割り当てられたコンテンツフォルダーの情報を組み合わせたものです。
タイムテーブル	コンテンツフォルダーや番組を 1 日のうちで再生したい時間帯に割り当てたものです。
スケジュール	コンテンツフォルダーや番組を再生したい日付に割り当てたものです。
パネル	ディスプレイ (コンテンツデータを表示するインフォメーションディスプレイ)
テロップ	スクロールメッセージです。 e-Signage S では、テロップは 2 つまで表示できます。
添付ファイル	HTML ファイルなどを表示するときに必要な画像ファイルなどの総称を示します。
割り付け	どの配信データ (スケジュール、臨時番組、緊急テロップ、プレーヤー更新データ) をどのパネルに配信するか設定することです。
配信	管理用 PC / 操作用 PC で作成したコンテンツデータを表示用端末に送信すること。 スタンドアロン版では、すべてを表示用端末のみで行います。
配信データ	表示用端末に配信するコンテンツデータ。
ユーザー	e-Signage S を管理するオペレーター。
運用グループ	ユーザーやパネル、スケジュール、番組などを管理する単位です。 ※ WEB サーバー版では最大 50 グループ作成できます。その他は 1 グループです。
スーパーバイザー	すべての運用グループにまたがった操作を行うことができるユーザーです。 ※ WEB サーバー版のみ

配信データ表示までの流れ

表示するコンテンツの選択から表示用端末にデータを表示するまでの流れについて説明します。



ご参考

クライアントスケジューラは、読み取った配信データを予定時刻に表示するように番組ビューアを管理します。

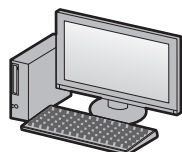
※1 スタンドアロン版では、すべての流れを表示用端末のみで行います。

※2 スタンドアロン版を除きます。

■ e-Signage ランチャーを使用した配信

番組作成からパネルに番組を表示するまでの流れについて説明します。

e-Signage ランチャーについては 167 ページをご覧ください。



管理用PC/
操作用PC※1

1 番組の作成

番組エディタで用意したコンテンツをレイアウトし、番組を作成します。

2 タイムテーブルの作成

タイムテーブルエディタで、作成した番組を1日のどの時間に表示するかを割り当てます。

3 スケジュールの作成

スケジュールエディタで、作成した1日ごとのタイムテーブルをいつ（日付）表示するかを割り当てます。

4 アップロード

作成したスケジュール、番組を管理用PCの e-Signage S へアップロードします。

5 配信予約

ブラウザで管理用PCにログインし、アップロードしたデータを、表示用端末に配信する予約を行います。(☞92ページ)

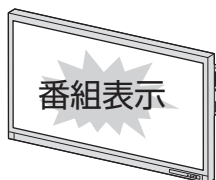
ネットワーク経由で配信※2

6 データ受信

受信したスケジュール、番組をe-Signage クライアントスケジューラへ渡します。(☞146ページ)

7 番組表示

e-Signageクライアントスケジューラの指示で番組を表示します。(☞159ページ)



表示用端末

ご参考

クライアントスケジューラは、読み取ったスケジュール、番組を予定時刻に表示するように番組ビューアを管理します。

※ 1 スタンドアロン版では、すべての流れを表示用端末のみで行います。

※ 2 スタンドアロン版を除きます。

システム運用上の注意事項

■ コンテンツや番組を作成するときの留意点

システム運用前には、番組を実際に表示して、正しく表示されるかどうか確認してください。パソコンの処理能力が不足すると、コンテンツが正しく再生できない場合があります。

• 各ソフトウェアのバージョンについて

管理用 PC のサーバーソフトウェア / 操作用 PC のクライアントソフトウェア / 表示用端末のプレーヤーソフトウェアのバージョンを統一してください。バージョンアップによって追加された機能を使用している部分が正しく動作しない場合があります。

• 動画再生について

同時に複数の動画を再生しないことを推奨します。

コンテンツ内容によって異なりますが、一般的には、Flash Player より Windows Media Player の方が、CPU 負荷が高くなります。

ご参考

- 表示コンテンツによっては、コーデックやプレーヤーソフトのインストールが必要です。搭載 OS での動作が表明されていないコーデックやソフトについては導入前に確認してください。
- Flash コンテンツについて
画像の透過処理（画像のフェードイン / フェードアウト）を多用したコンテンツを表示すると、GPU 負荷が非常に高くなる可能性がありますので、注意してください。
- 動画および静止画の拡大 / 縮小表示について
画像サイズや表示サイズが大きくなるほど、CPU 負荷が高くなります。また、画像を拡大 / 縮小して表示すると、CPU 負荷が高くなります。できる限り、コンテンツ表示領域のサイズ（表示枠サイズ）を小さくしてください。また、コンテンツは表示サイズと同じ画像サイズで作成してください。
- 静止画切替について
静止画切替を使用すると、CPU 負荷が高くなります。また効果は、ビデオカードの性能に依存します。
- テロップコンテンツについて
テロップの表示には、高い CPU 処理能力を必要とします。テロップ使用の際には、運用前に番組を実際に表示してテストすることをお勧めします。
 - 背景色を透過させると、負荷が大きくなります。
 - テロップの表示領域が大きくなるほど負荷が大きくなります。必要以上に大きくしないでください。
 - テロップ 1 行の文字数が多くなると、表示が乱れる場合があります。その場合は途中で改行してください。（1 列全角 100 文字程度を推奨）
- PowerPoint について
PowerPoint コンテンツを表示する場合は、「プレゼンテーションファイル変換ツール」を使用してください。（☞ 169 ページ）

PowerPoint Viewer は 2018 年 5 月に Microsoft からの提供が終了しています。本取扱説明書内での PowerPoint および PowerPoint Viewer の説明は、2018 年 5 月以前より PowerPoint Viewer をご使用いただいているお客様向けのもので、e-Signage S には、PowerPoint Viewer が必要です。お使いのパソコンに Microsoft PowerPoint がインストールされていても、別途 PowerPoint Viewer をインストールする必要があります。お使いのパソコンに 64 ビット版の Office がインストールされている場合、PowerPoint Viewer はインストールできません。PowerPoint のデータは、自動的に画面切り換え（自動スライドショー）するように設定し、繰り返し再生するように設定してください。
PowerPoint Viewer は、同時に複数表示することはできません。1 つの番組内では、複数の表示枠に PowerPoint 形式のファイルを割り当てないでください。
PowerPoint コンテンツを表示中は、他の表示枠部分をマウス等でクリックすることができません。

PowerPoint Viewer 2010 は、再生開始までに時間がかかります。特に、パソコンの起動後、1回目の再生時には、時間がかかります。再生時間は、余裕をもたせるようにしてください。

拡張子が (*.pptx、*.ppsx) のファイルを、PowerPoint Viewer 2007 で再生することは可能ですが、再生開始までに時間がかかります。PowerPoint Viewer 2007 で再生する場合は、拡張子が (*.ppt、*.pps) のファイルを使用することを推奨します。

コンテンツ切り換え時の表示について

コンテンツのサイズや表示用端末のパフォーマンスによって、切り換え時に黒画面が表示されることがあります。

使用するブラウザについて

1.5GB 以上のコンテンツを使用する場合は、Internet Explorer もしくは Google Chrome を使用してください。

ブラウザの操作

ブラウザの [戻る] キーは使用しないようにしてください。操作が正常に行われなくなる可能性があります。ブラウザで表示される「このページにこれ以上メッセージの作成を許可しない」のチェックボックスにチェックを入れないでください。確認画面が表示されなくなり、削除等の一部操作が行えなくなります。誤ってメッセージが表示されなくなった場合は、ブラウザを再起動させてください。

表示用端末の連続運転

表示用端末は、24 時間連続使用を想定しておりません。必ず毎日、表示用端末の電源を OFF するような運用をしてください。(150 ページの「[電源管理] タブ」を参照してください。)

管理用 PC の連続運転

管理用 PC の連続運転は、最長 1 週間となるよう運用してください。

パソコンの内部時計

e-Signage S は、パソコンの内部時計を元にスケジュールなどを実行します。インターネット時刻サーバーと同期するなどの方法で、パソコンの内部時計を常に正確な状態に保ってください。

番組表示時間の精度

番組の表示は、毎分 0 秒に起動するタイマーによって制御しています。1 分より短い時間での番組切り換えや、1 分途中 (秒単位) での番組切り換えはできません。

また、コンテンツを表示するアプリケーションの起動時間やコンテンツファイルの読み込み時間などによって、実際の表示時間と多少の誤差が発生することがあることを、あらかじめご了承ください。

バックアップについて

e-Signage S には、データのバックアップ機能はありません。運用中は、運用グループデータ格納フォルダー (C:\ProgramData\SHARP\e-Signage 以下) を、データの更新頻度に応じて定期的にバックアップしてください。

複数台のパネル接続 (デジチェーン接続の場合)

e-Signage S では、数珠つなぎに接続したインフォメーションディスプレイ (PN シリーズ) に対して、異なるパネル制御コマンド (パネル電源 ON/OFF やパネル入力ソース切換コマンド) を送信することができません。

静止画について

背景や表示枠に静止画を設定する場合、長時間同じ場所に表示すると、ディスプレイに残像現象が起こる場合があります。一定時間ごとに静止画を変更したり、レイアウトを変更するなどの配慮をした番組や 1 日の再生スケジュールを作成してください。

■ サーバーソフトウェアのエディション変更について

- 上位エディションがインストールされていた環境に下位エディションをインストールすると、サーバーソフトウェアが正しく動作しない場合があります。
例：Pro WEB サーバー版から Pro 版、Pro 版からネットワーク版、ネットワーク版からスタンドアロン版
- 上位エディションがインストールされていた環境に下位エディションをインストールする場合は、e-Signage S のデータフォルダーと運用グループの格納フォルダー（通常は e-Signage S のデータフォルダーと同一）を削除してから、下位エディションのインストールを行ってください。
e-Signage S のデータフォルダー：C:\ProgramData\Sharp\e-Signage
- e-Signage S のデータフォルダーや運用グループの格納フォルダーを削除する場合は、移行が必要なデータをエクスポートしてから実施してください。

■ e-Signage S プレーヤー A1 の制限事項

e-Signage S プレーヤー A1 (Android 表示用端末用) では、以下の制限事項があります。ご利用前に必ず確認してください。

機能	e-Signage S プレーヤー A1 での制限事項	
コンテンツ	使用できないファイル形式	以下のファイル形式はプレーヤー A1 では使用できません。 <ul style="list-style-type: none"> • PowerPoint • Flash • 実行ファイル • 対応形式以外の動画ファイル (56 ページ) • サイネージパーツコンテンツファイル • 条件付きコンテンツファイル
	画面サイズ	最大 1920 × 1080, 1080 × 1920
	表示用端末側パスの指定	使用できません。
	PIP による画面分割	
	静止画切替 (遷移効果)	プレーヤーとプレーヤー A1 は使用できる静止画切替効果が異なります。プレーヤー A1 では以下の静止画切替効果が使用できます。 [ワイプ/引き伸ばし/スライド/フェード/円形/パースペクティブ/パルス/回転/トランスフォーム/ランダム]
動画再生	同時に複数の動画を再生することはできません。	
状態監視・制御	表示用端末の時計合わせ	PULL 型配信を設定しているパネルは [端末/パネル制御] の [表示用端末の時計合わせ] が使用できません。
配信	配信に必要なストレージサイズ (表示用端末)	(配信ファイルサイズ) × 3 + 200MB
	表示用端末の電源 ON/OFF	使用できません。
パネル	RS-232C 接続	対応していません。
	USB 接続	
端末設定	FTP ポート番号の初期値	2121 ポート番号を初期値から変更する場合は 1024 から 32000 の間で設定を行う必要があります。
緊急テロップ		対応していません。
マイコンテンツ/マイコンテンツリスト取得		対応していません。
キー/マウス連携ツール		対応していません。
状態監視	表示用端末の電源 ON/OFF	使用できません。
クライアントスケジューラ		搭載していません。 クライアントスケジューラ機能である "ログを表示"、"番組表示を一時中断"、"スケジュール情報を削除"、"管理用 PC からデータを取得" 機能は使用できません。

- USB メモリーや SD メモリーカードをマウント/アンマウントした際には、プレーヤー A1 を再起動してから、データの配信を行ってください。再起動を行っていない状態では、データの配信に失敗する場合があります。
- USB メモリーや SD メモリーカードは同時に 1 つまでしか利用できません。
- 端末からプレーヤー A1 をアンインストールすると、設定や配信されているデータはすべて失われます。
- e-Signage S は、ファイルの拡張子によりコンテンツタイプを認識します。記載されている形式のコンテンツでも、コーデックが未対応等の理由により正しく再生されない場合があります。動画ファイルや音声ファイル等は正しく再生されることを事前に確認してください。
- 表示テロップにカクツキが発生する場合があります。サイネージ運用前に動作を確認してください。
- 番組の切り換え時や表示用端末の時計合わせ時などに画面がちらつくことがあります。
- サイズの大きいデータを配信した際には、番組の切り換えに時間がかかることがあります。

- 表示用端末の時刻が午前 0 時になると再生データの切り換えが発生します。続けて同じデータを再生する場合でも、午前 0 時の時点より再生データの最初から表示を行います。
- テロップを作成する場合、最大 20 行まで、1 行あたり最大 96 文字までで作成してください。
- プレーヤー A1 用のコンテンツフォルダー / 番組を Windows 上でプレビューする場合、実際の再生と一部が異なる場合があります。正確に表示内容を確認する場合は、実際にプレーヤー A1 を搭載した表示用端末に配信して表示を確認してください。また、お使いの管理用 PC に動画 (MPEG-2 等) のプレビューに必要なコーデックが搭載されていない場合、動画のプレビューが行われません。
- プレーヤー A1 で URL (WEB サイト) の表示を行った場合、Windows OS の端末や管理用 PC とは異なる内容が表示されることがあります。また、ブラウザのフレーム内での表示が許可されていない WEB サイトについては、プレーヤー A1 で表示を行うことができません。正確に表示内容を確認する場合は、実際にプレーヤー A1 を搭載した表示用端末に配信して表示を確認してください。
- 以下の機種に搭載されている内部メモリーに配信可能なコンテンツのサイズには、下記の上限があります。上限よりも大きなサイズのデータを配信する場合は、USB メモリーや SD メモリーカードをご利用ください。
 - PN-B401、PN-B501、PN-M401、PN-M501、SC-BX2 : 最大 1GB
 - PN-HB651、PN-HB751、PN-HB851、PN-HM651、PN-HM751、PN-HM851 : 最大 4GB
- プレーヤー A1 は各表示枠で再生するコンテンツの同期を行わないため、再生タイミングのズレが発生します。非表示部 (無音部) をプレイリスト上で使用してコンテンツの再生タイミングをそろえようとした場合は、意図しないタイミングでコンテンツの切り換わりが発生する可能性があります。各表示枠でコンテンツの再生タイミングをそろえる必要がある場合は、番組を分けることで各表示枠の頭出しを行ってください。実際の運用にあたっては、表示用端末にデータを配信して表示を確認したうえでサイネージの運用を行ってください。

インストール

e-Signage S をご使用いただくために必要な環境やインストール方法などについて説明します。ご使用前に必ずお読みください。

動作環境※ 1

形名		e-Signage S WEB サーバー版	e-Signage S Pro 版	e-Signage S ネットワーク版	e-Signage S スタンドアロン版	
		PN-SW25	PN-SS25	PN-SS22	PN-SS21	
導入端末		管理用 PC	操作用 PC	管理用 PC	管理用 PC	
パソコン	CPU	1.6GHz 以上				
	OS ※2	Microsoft Windows 7/8.1/10	○	○	○	○
		Microsoft Windows Server 2008/2008 R2/2012/2012 R2/2016	○	○	○	○
	メモリー	2GB 以上				
	ハードディスク	空き容量 500MB 以上 (別途データ保存のための空き容量が必要)				
ディスプレイ (管理用) ※3	解像度	1,280 × 1,024 ドット 以上				
	色数	フルカラー				
対応ブラウザ (操作画面)		Microsoft Internet Explorer 11 / Microsoft Edge / Google Chrome				
その他のソフトウェア		Microsoft Internet Explorer / Microsoft Powerpoint Viewer / Microsoft Windows Media Player*4 / Adobe Flash Player				

※ 1 OS が動作する最低条件を満たす必要があります。また、コンテンツによっては正しく再生を行うために記載以上の性能が必要になる場合があります。

※ 2 32 ビット版 / 64 ビット版が対象です。

※ 3 番組やスケジュールの作成・編集に使用するパソコンのディスプレイです。

※ 4 表示コンテンツによってはコーデックやプレーヤーソフトのインストールが必要です。搭載 OS での動作が表明されていないコーデックやソフトについては、導入前にご確認をお願いいたします。

■ 動作環境（表示用端末）※ 1

形名		e-Signage S プレーヤー	
		PN-SV21	
導入端末		表示用端末	
パソコン	CPU	1.6GHz 以上	
	OS ※ 2	Microsoft Windows 7/8.1/10※ 3	○
		Microsoft Windows Server 2008/ 2008 R2/2012/2012 R2/2016	—
	メモリー	2GB 以上	
ハードディスク	空き容量 500MB 以上（別途データ保存のための空き容量が必要）		
パネル（表示用端末用）※ 4		インフォメーションディスプレイ（PN シリーズ） LB-46GX35、LB-52GX35、LB-1085※ 5、LB-T401、LB-T461、LB-T601、 タッチディスプレイ（LL-P202V、LL-S242A）、LED ディスプレイ（VF-S シリーズ）	
その他のソフトウェア		Microsoft Internet Explorer / Microsoft Powerpoint Viewer / Microsoft Windows Media Player※ 6 / Adobe Flash Player	

表示用端末のユーザーアカウント制御を無効にしてください。※ 7

- ※ 1 OS が動作する最低条件を満たす必要があります。また、コンテンツによっては正しく再生を行うために記載以上の性能が必要になる場合があります。
- ※ 2 32 ビット版 / 64 ビット版が対象です。
- ※ 3 Windows 10 は、デスクトップモードで使用してください。
- ※ 4 表示用端末は、パネルを制御することができます。パネルを制御するためには、表示用端末とパネルを RS-232C ケーブルで接続するまたは、パネルを LAN に接続する必要があります。タッチディスプレイの場合は、ディスプレイに付属の USB ケーブルでタッチパネルと表示用端末を接続し、「設定」メニューの「その他」の「サイネージ」を「ON」にしてください。パネルの仕様や接続方法、設定については、ご使用のパネルの取扱説明書をご覧ください。
- ※ 5 LB-1085 でパネルを制御する場合は、最初に e-Signage クライアントスケジューラで「接続確認」を 1 度行ってください。（P. 153 ページ）
- ※ 6 表示コンテンツによってはコーデックやプレーヤーソフトのインストールが必要です。搭載 OS での動作が表明されていないコーデックやソフトについては、導入前にご確認をお願いいたします。
- ※ 7 ユーザー アカウント制御が有効な場合、以下の機能は正常に動作しません。
 - ・ 遠隔プレーヤーアップデート
 - ・ 外部記憶装置からのプレーヤーアップデート
 - ・ 表示用端末の時刻合わせ

表示用端末でユーザーアカウント制御を無効にする方法について

Windows 7 の場合

- ① [コントロールパネル] で [ユーザー アカウントと家族のための安全設定] を選択する
- ② [ユーザー アカウント] を選択する
- ③ [ユーザー アカウント制御設定の変更] を選択する
- ④ スライダーを一番下にする

Windows 8.1/10 の場合

! ご注意

この設定を行うと Windows ストアアプリが動作しなくなりますのでご注意ください。

e-Signage S プレーヤーをインストールしたあとで、クライアントスケジューラからユーザーアカウント制御を無効にできます。

- ① e-Signage クライアントスケジューラのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから [設定] をクリックして、[クライアントスケジューラの設定] ダイアログボックスを表示する
- ② [UAC 設定] タブをクリックし、[ユーザーアカウント制御を無効にする] をクリックする
- ③ 確認メッセージが表示されるので、[OK] をクリックする
- ④ [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示されるので、[[はい] をクリックする
- ⑤ ユーザーアカウント制御を無効にした旨のメッセージが表示されるので、[OK] をクリックし、PC を再起動する

ご参考

- 表示用端末をネットワークから制御（電源 ON）する場合は、表示用端末のマジックパケットによる WakeOnLAN 機能が有効になっている必要があります。
- 表示用端末が、同一セグメント LAN の外にある場合、使用しているルータの仕様や設定によっては、マジックパケットが通過できない場合があります。詳しくは、ネットワーク管理者に相談してください。
- 操作用 PC と表示用端末には、「Flash Player」、「Windows Media Player」および「PowerPoint Viewer」がインストールされている必要があります。
- プログラムをインストールしていない場合やバージョンが異なる場合など、インストールを促すメッセージが表示されたときは、プログラムを提供しているホームページからダウンロードし、インストールしてください。
- 表示コンテンツによっては、コーデックやプレーヤーソフトのインストールが必要です。搭載 OS での動作が表明されていないコーデックやソフトについては導入前に確認してください。

配信方法について

本ソフトウェアでは、以下の配信方法を選ぶことができます。

配信方法	通信プロトコル	管理用 PC	表示用端末
PUSH 型配信 (固定 IP アドレス)	FTP	FTP クライアント	FTP サーバー
PULL 型配信	HTTP	HTTP サーバー	HTTP クライアント

PUSH 型配信 (固定 IP アドレス)

管理用 PC 側から FTP で配信データを提供します。表示用端末に固定 IP アドレスが必要です。

表示用端末がファイアウォールの中にあるときは、配信データが通信できるように、ファイアウォールの設定が必要です。

PULL 型配信

表示用端末側が管理用 PC 側から HTTP プロトコルを使って、定期的に配信データを取得します。表示用端末がファイアウォールの中にあるときでも、ファイアウォール側の設定を変更しないで、配信データを取得できます。

e-Signage S をインストールする

- 管理者権限で操作してください。
- サーバーソフトウェアとプレーヤーソフトウェアのインストールには、ライセンスコードが必要です。

- 1** パソコンを起動する。
- 2** すべてのアプリケーションソフトを終了する。
- 3** Setup.exe をダブルクリックして、セットアッププログラムを起動する。
- 4** 以降、画面の指示に従って操作する。
 - インストール中、セキュリティの警告画面（発行元は確認できませんでした。）が表示された場合は、[実行] をクリックしてください。
 - ユーザーアカウント制御画面が表示されたときは、「はい」をクリックしてください。

ご参考

- サーバーソフトウェアとプレーヤーソフトウェアのインストール時に、仮のライセンスコードを入力した場合は、2ヶ月間の試用となります。試用期間が終わるまでにライセンスコードを入手し、登録してください。
- 「サーバー設定ツール」の [ヘルプ] - [バージョン情報] から登録します。（☞ 38 ページ）

■ インストール後の設定

デスクトップの e-Signage S ショートカットアイコンをダブルクリックしてください。サーバー設定の画面が表示されます。(🔍 33 ページ)

設定後の操作については以下をご覧ください。

- サーバーソフトウェア/クライアントソフトウェア (🔍 41 ~ 144 ページ)
[e-Signage クライアントスケジューラ (🔍 157 ページ)]
- プレーヤーソフトウェア (🔍 145 ~ 165 ページ)

■ 表示用端末の環境を設定する

インストールが完了したら、e-Signage S をご使用になる前に、表示用端末の設定を変更してください。

自動ログインの設定

表示用端末が無人運転を前提としている場合、Windows 起動時に自動ログインされるように設定します。

- 1** Windows タスクバーの [スタート] ボタンから [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] の順にクリックする。
Windows8.1 の場合は [Windows] キー + [X] キーを押し、コンテキストメニューより [コマンドプロンプト] をクリックする。
Windows10 の場合は、Windows タスクバーの [スタート] ボタンから [Windows システムツール] - [コマンドプロンプト] の順にクリックする。
[コマンドプロンプト] 画面が表示されます。
- 2** 「control userpasswords2」と入力し、[Enter] キーを押す。
- 3** ユーザーアカウント制御画面が表示されるときは [続行] をクリックする。
[ユーザーアカウント] ダイアログが表示されます。
- 4** 「ユーザーがこのコンピュータを使うには、ユーザー名とパスワードの入力が必要」チェックボックスのチェックをはずす。
- 5** [OK] をクリックする。
- 6** 自動ログオンまたは自動サインイン画面で「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、[OK] をクリックする。
- 7** 「exit」と入力し、[Enter] キーを押す。

スクリーンセーバーの設定

プレーヤーで配信データを表示中に、パネルにスクリーンセーバーが表示されないように、スクリーンセーバーが起動しないように設定します。

• Windows 7/8.1 の場合

1 デスクトップのなにもない場所を右クリックし、表示されたメニューから【個人設定】 - 【スクリーンセーバー】の順にクリックする。

[スクリーンセーバーの設定] ダイアログボックスが表示されます。

2 「スクリーンセーバー」のメニューから「(なし)」を選択する。

3 [OK] をクリックする。

• Windows 10 の場合

1 デスクトップのなにもない場所を右クリックし、表示されたメニューから【個人用設定】 - 【ロック画面】 - 【スクリーンセーバー設定】の順にクリックする。

[スクリーンセーバーの設定] ダイアログボックスが表示されます。


2 「スクリーンセーバー」のメニューから「(なし)」を選択する。

3 [OK] をクリックする。


電源管理

プレーヤーで配信データを表示中に、パネルやハードディスクの電源が切れたり、システムスタンバイに移行したりしないように設定します。

• Windows 7 の場合

- 1** Windows タスクバーの [スタート] ボタンから [コントロールパネル] - [システムとセキュリティ] - [電源オプション] の順にクリックする。
[電源オプション] ダイアログボックスが表示されます。
- 2** 「追加のプランを表示します」をクリックして、「高パフォーマンス」を選択し、[プラン設定の変更] をクリックする。
- 3** 「ディスプレイの電源を切る」、「コンピューターをスリープ状態にする」をそれぞれのプルダウンメニューから「なし」を選択する。
- 4** [変更の保存] をクリックする。
[電源オプション] ダイアログボックスに戻ります。
- 5** 右上の  ボタンをクリックして、[電源オプション] ダイアログボックスを閉じる。

• Windows 8.1 の場合


- 1** [Windows] キー + [C] キーを押し、「設定」 - 「コントロールパネル」 - 「システムとセキュリティ」 - 「電源オプション」の順にクリックする。
[電源オプション] ダイアログボックスが表示されます。
- 2** 「高パフォーマンス」を選択し、「プラン設定の変更」をクリックする。
- 3** 「ディスプレイの電源を切る」、「コンピューターをスリープ状態にする」をそれぞれのプルダウンメニューから「適用しない」を選択する。
- 4** [変更の保存] をクリックする。
[電源オプション] ダイアログボックスに戻ります。
- 5** 右上の  ボタンをクリックして、[電源オプション] ダイアログボックスを閉じる。

• Windows10 の場合

- 1 Windows タスクバーの [スタート] ボタンから [Windows システムツール] - [コントロールパネル] の順にクリックする。
[コントロールパネル] 画面が表示されます。
- 2 [システムとセキュリティ] をクリックし、[電源オプション] をクリックする。
[電源オプション] ダイアログボックスが表示されます。
- 3 [追加プランの表示] をクリックして、「高パフォーマンス」を選択し、[プラン設定の変更] をクリックする。
- 4 [ディスプレイの電源を切る]、「コンピューターをスリープ状態にする」をそれぞれのプルダウンメニューから「適用しない」を選択する。
- 5 [変更の保存] をクリックする。
[電源オプション] のダイアログボックスに戻ります。
- 6 右上の × ボタンをクリックして、[電源オプション] ダイアログボックスを閉じる。

IME ツールバー設定

プレーヤーで配信データを表示しているとき、IME ツールバーが表示されないよう、IME ツールバーをタスクバー内に移動します。

- 1 IME ツールバーを右クリックして表示されたメニューから [最小化] をクリックする。
または  をクリックする。



通知設定 (Windows 10 のみ)

プレーヤーで配信データを表示しているとき、アプリケーションによる通知が表示されないように設定します。

- 1 [Windows] キー + [A] キーを押し、アクションセンターの「集中モード」を「オフ」にする。

Windows Update の設定

プレーヤーで番組を表示中に Windows Update の自動更新が起動し、パネルにポップアップメッセージ（ダイアログボックス）などが表示されないように、Windows Update が自動更新されないように設定します。

ご参考

Windows Update 自動更新を無効に設定した場合は、定期的に Windows Update の WEB サイト (<http://windowsupdate.microsoft.com/>) に接続して、手動でダウンロードおよびインストールしてください。最新の更新プログラムをインストールしないと、セキュリティの危険性が高まったり、パフォーマンスに問題が発生したりする場合があります。

• Windows 7/8.1 の場合

- 1 Windows 7 の場合は、Windows タスクバーの [スタート] ボタンから [コントロールパネル] - [システムとセキュリティ] - [自動更新の有効化または無効化] の順にクリックする。
Windows 8.1 の場合は、[Windows] キー + [C] キーを押し、[設定] - [コントロールパネル] - [システムとセキュリティ] - [自動更新の有効化または無効化] の順にクリックする。
[設定の変更] ダイアログボックスが表示されます。
- 2 「重要な更新プログラム」のメニューから「更新プログラムを確認しない (推奨されません)」を選択する。
- 3 [OK] をクリックする。
- 4 ユーザーアカウント制御画面が表示されるときは [はい] をクリックする。
[設定の変更] ダイアログが終了します。

• Windows 10 の場合

- 1** Windows タスクバーの [スタート] ボタンから [Windows システムツール] - [コマンドプロンプト] の順にクリックする。
- 2** 「gpedit.msc」と入力し、[Enter] キーを押す。
- 3** ユーザーアカウント制御画面が表示されるときは [続行] をクリックする。
- 4** [ローカルグループポリシーエディター] 左側のツリーより [コンピューターの構成] - [管理用テンプレート] - [Windows コンポーネント] - [Windows Update] の順にクリックする。
- 5** [ローカルグループポリシーエディター] 右側の画面より [自動更新を構成する] をダブルクリックする。
[自動更新を構成する] ダイアログボックスが表示されます。
- 6** 「無効」のラジオボタンを選択して [OK] をクリックする。
- 7** 右上の × ボタンをクリックして、[ローカルグループポリシーエディター] ダイアログボックスを閉じる。
- 8** [コマンドプロンプト] に「gpupdate」と入力し、[Enter] キーを押す。
- 9** 「ユーザー ポリシーの更新が正常に完了しました。」「コンピューター ポリシーの更新が正常に完了しました。」の表示を確認し、右上の × ボタンをクリックして、[コマンドプロンプト] ダイアログボックスを閉じる。

ご参考

Windows 10 Home エディションでは、Windows Update を無効にすることはできません。



常駐アプリケーションソフトの設定

プレーヤーで番組を表示中に、OS や常駐アプリケーションソフトのポップアップメッセージ（ダイアログボックス）などが表示されないように、常駐アプリケーションソフトを設定してください。


Windows ファイアウォールの設定

ネットワーク経由で配信する場合で、使用するポートに Windows ファイアウォールを設定しているときは、プレーヤーが使用する TCP/IP ポートを開放しておいてください。

ご参考

e-Signage S では、独自の WEB サーバーがインストールされます。デフォルトの TCP/IP ポート番号は 80 になっています。ポート番号を変更する場合は、管理用 PC の HTTP 通信設定（ 37 ページ）と、表示用端末の e-Signage クライアントスケジューラの HTTP 通信設定（ 152 ページ）を同じポート番号に設定しておく必要があります。

状態監視機能のファイアウォール設定

- 1** Windows 7 の場合は、Windows タスクバーの [スタート] ボタンから [コントロールパネル] - [システムとセキュリティ] - [管理ツール] の順にクリックする。
Windows 8.1 の場合は、[Windows] キー + [C] キーを押し、[設定] - [コントロールパネル] - [システムとセキュリティ] - [管理ツール] の順にクリックする。
Windows 10 の場合は、Windows タスクバーの [スタート] ボタンから [Windows システムツール] - [コントロールパネル] の順にクリックし、表示された画面で [システムとセキュリティ] - [管理ツール] の順にクリックする。
 - 2** 「セキュリティが強化された Windows ファイアウォール」または「セキュリティが強化された Windows Defender ファイアウォール」をダブルクリックする。
 - 3** ユーザーアカウント制御画面が表示されるときは [はい] をクリックする。
[セキュリティが強化された Windows ファイアウォール] または [セキュリティが強化された Windows Defender ファイアウォール] ダイアログが表示されます。
 - 4** 画面左側の [受信の規則] をクリックし、画面右側の [操作] から [新しい規則] をクリックする。
[新規の受信の規則ウィザード] ダイアログボックスが表示されます。
 - 5** 「カスタム」ラジオボタンを選択して、[次へ] をクリックする。
 - 6** 「すべてのプログラム」ラジオボタンを選択して、[次へ] をクリックする。
 - 7** 「プロトコルの種類」のメニューから [ICMPv4] を選択する。
 - 8** 「プロトコルおよびポート」、「スコープ」、「操作」、「プロファイル」の順に必要なに応じて設定する。
[次へ] をクリックすると、次の項目の設定画面に進む。
- ご参考**
- これらの項目については、ネットワーク管理者に確認の上、設定するようにしてください。
- 9** 「名前」として “e-Signage S 状態監視機能用” と入力し、[完了] をクリックする。
 - 10** 右上の  ボタンをクリックして、ダイアログボックスを順に閉じる。

e-Signage S をアンインストールする

- サーバソフトウェアとプレーヤソフトウェアを再インストールする場合、ライセンスコードを再度入手する必要があります。
- サーバソフトウェアをアンインストールしても、作成した運用グループやユーザーおよびサーバーにアップロードしたデータは削除されません。サーバソフトウェアをインストールすると再び利用できます。
- クライアントソフトウェアをアンインストールしても、作成した番組やスケジュール、コンテンツファイルは削除されません。クライアントソフトウェアをインストールすると再び利用できます。なお、サーバーにアップロードした番組は、サーバー上に保存されているため、削除されません。
- ライセンスコードは、本製品に付属の「はじめにお読みください」に記載されている手順に従って再入手してください。
- e-Signage S セットアッププログラム (Setup.exe) の入手については、本製品に付属の「はじめにお読みください」をご覧ください。

1 パソコンを起動する。

2 すべてのアプリケーションソフトを終了する。

3 e-Signage S セットアッププログラム (Setup.exe) を起動する。

- Setup.exe をダブルクリックすると、セットアッププログラムが起動されます。
- インストール中、セキュリティの警告画面（発行元は確認できませんでした。）が表示された場合は、**[実行]** をクリックしてください。

ユーザーアカウント制御画面が表示されたときは、「はい」をクリックします。

4 「削除」ラジオボタンを選び、**[次へ]** をクリックする。

5 **[はい]** をクリックする。

アンインストールが始まります。

ご参考

配信スケジューラ、クライアントスケジューラ、WEB サーバーが起動している場合は、メッセージが表示されます。その場合は、**[はい]** をクリックしてください。配信スケジューラ、クライアントスケジューラ、WEB サーバーを終了し、アンインストールを続けます。

6 **[完了]** をクリックする。

これで、アンインストールは完了です。

サーバー設定

e-Signage S をインストール後、サーバー設定を行います。設定する項目はインストールしたソフトウェアにより異なります。



WEB サーバーの設定（初回設定ウィザード）

WEB サーバー版の例で説明します。設定画面はインストールしたソフトウェアにより異なります。

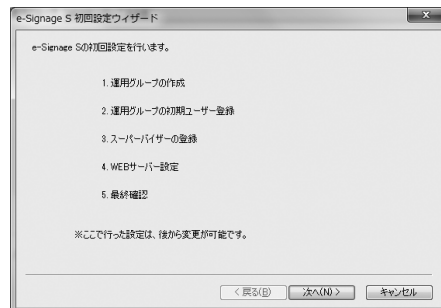
1 デスクトップの e-Signage S ショートカットアイコンをダブルクリックする。

設定ツールが起動します。初回起動時は設定ウィザードに従って、WEB サーバーの設定を行います。タスクバーの [スタート] ボタンから [すべてのプログラム] - [SHARP e-Signage S] - [サーバー設定ツール] の順にクリックして表示することもできます。

ご参考

- 運用グループが作成されている場合、WEB サーバー版では、e-Signage S ショートカットアイコンをダブルクリックすると、ブラウザが起動しログインページ（ 42 ページ）が表示されます。その他のソフトウェアではダッシュボード画面（ 43 ページ）が表示されます。

2 [次へ] をクリックする。



3 運用グループを作成する。

ユーザーやパネル、スケジュールデータを管理する単位である運用グループを作成します。運用グループ名、運用グループ ID（半角英数 30 文字以内）を入力します。WEB サーバー版では最大 50 グループ作成できます。その他は 1 グループです。

「既定の運用グループデータ格納フォルダー」

ユーザーやパネル、スケジュールデータを格納するフォルダーです。変更する場合は [参照] をクリックし、フォルダーを指定してください。

「使用するプレーヤー」

使用するプレーヤーの種類を設定します。「プレーヤーのみ」や「プレーヤー A1 のみ」を選択すると、コンテンツフォルダー / 番組 / スケジュールの作成や配信などで、プレーヤーの選択画面や選択肢がなくなります。スタンドアロン版は「プレーヤー A1 のみ」を選択できません。

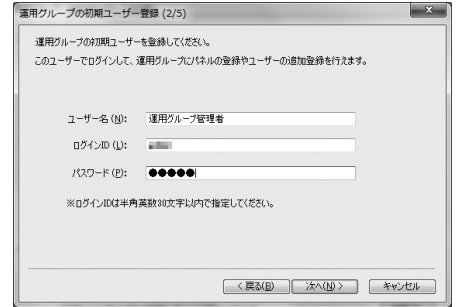
入力後、[次へ] をクリックします。



4 初期ユーザーを登録する。

サーバーにログインするためのユーザー情報です。ユーザー名、ログイン ID (半角英数 30 文字以内)、パスワード (半角英数 30 文字以内) を入力します。

入力後、[次へ] をクリックします。

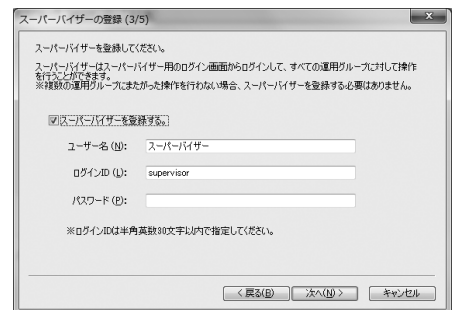


5 複数の運用グループを運用するときは、スーパーバイザーを登録する。(WEB サーバー版のみ)

1 つの運用グループのみを運用するときは、スーパーバイザーの登録は、不要です。

- ① 「スーパーバイザーを登録する」チェックボックスをチェックして、ユーザー名、ログイン ID (半角英数 30 文字以内)、パスワード (半角英数 30 文字以内) を入力します。

設定後、[次へ] をクリックします。



6 WEB サーバー設定を行う。

- ① 「PC の起動時に自動的に WEB サーバーを起動する」チェックボックス
通常は変更しません。
- ② HTTP 通信設定
ポート番号を設定します。表示用端末から接続できないときは、ファイアウォールを管理しているネットワーク管理者に設定内容を確認してください。
- ③ PULL 型配信用フォルダー設定
PULL 型配信時の配信データを格納するフォルダーを設定します。変更する場合は、[参照] をクリックし、フォルダーを指定してください。

設定後、[次へ] をクリックします。



7 設定内容の最終確認を行う。

設定内容が画面に表示されるので、確定する場合は [完了] を、修正する場合は [戻る] をクリックしてください。確定後も、サーバー設定ツールを起動して内容を変更することができます。

設定の確認後、[完了] をクリックします。

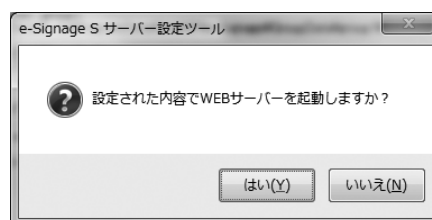
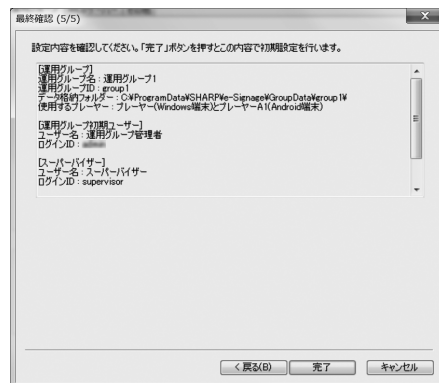
サーバー設定ツール画面が表示されます。

8 [はい] をクリックする。

9 [OK] をクリックする。

WEB サーバーが起動します。

運用グループ登録後、運用グループに所属するパネルやユーザーの登録を行います。複数の運用グループが登録できるのは WEB サーバー版のみです。(36 ページ)



Windows ファイアウォールの設定

- ネットワーク経由で配信する場合で、使用するポートに Windows ファイアウォールを設定しているときは、e-Signage S が使用する TCP/IP ポートを開放しておいてください。
- なお、Windows のコントロールパネルの「Windows ファイアウォール」でこのポート番号を例外指定して接続を許可することもできますが、代わりに「Windows ファイアウォール」で実行ファイル "C:\Program Files (x86)\sharp\e-Signage\www\w3d.exe" を例外プログラムに指定して接続を許可することも可能です。

WEB サーバーの設定

■ 運用グループを追加する

1 管理用 PC の Windows タスクバーの [スタート] ボタンから [すべてのプログラム] - [SHARP e-Signage S] - [サーバー 設定ツール] の順にクリックする。

設定ツールが起動し、e-Signage S サーバー 設定ツール画面が表示されます。

2 [運用グループ] タブをクリックし、「運用グループの管理」の [追加] をクリックする。

WEB サーバー版は最大 50 まで、その他は 1 つの運用グループを設定できます。



3 画面に従って登録を行う。

運用グループ名：運用グループの名称です。

運用グループ ID：運用グループの ID です。PULL 型配信の表示用端末のネットワーク設定を行う際に設定する ID です。既に同じ ID が登録されている場合は、登録できません。

説明：運用グループの説明です。

「管理者ユーザー」

ユーザー名：管理者ユーザーの名称です。

ログイン ID：管理者ユーザーの ID です。

パスワード：管理者ユーザーがログインするときのパスワードです。

説明：管理者ユーザーの説明です。



「データ格納フォルダー」

ユーザーやパネル、スケジュールデータを格納するフォルダーです。変更する場合は [参照] をクリックし、フォルダーを指定してください。

「使用するプレーヤー」

使用するプレーヤーの種類を設定します。

「表示用端末からの HTTP アクセスの制限 (IP アドレスの通知 / PULL 型配信)」

表示用端末から管理用 PC へアクセスする際のユーザー名とパスワードを設定します。

表示用端末のネットワーク設定では、ここで設定したユーザー名とパスワードを設定してください。

デフォルトでは次の値に設定されています。ユーザー名：http、パスワード：http

変更する場合は [設定] をクリックし、設定してください。

4 [OK] をクリックする。

ご参考

- 登録した運用グループを修正するときは、「運用グループの管理」の対象の運用グループをクリックして「編集」をクリックします。
- 登録した運用グループを削除するときは「運用グループの管理」の対象の運用グループをクリックして「削除」をクリックします。
運用グループを削除すると、所属するユーザー、パネル、スケジュールの情報がすべて削除されますので注意してください。

■ WEB サーバーを設定する

1 サーバー設定ツール画面で「WEB サーバー」タブをクリックする。

2 「PC の起動時に自動的に WEB サーバーを起動する」にチェックする。

管理用 PC を起動したときに、WEB サーバーも起動します。

3 「HTTP 通信設定」の「ポート番号」を入力する。

初期設定では 80 に設定されています。

4 「PULL 型配信用フォルダー設定」の「参照」をクリックし、フォルダーを指定する。

PULL 型配信時の配信データを格納するフォルダーを設定します。

5 「手動で WEB サーバーを起動」をクリックする。

WEB サーバーが起動します。



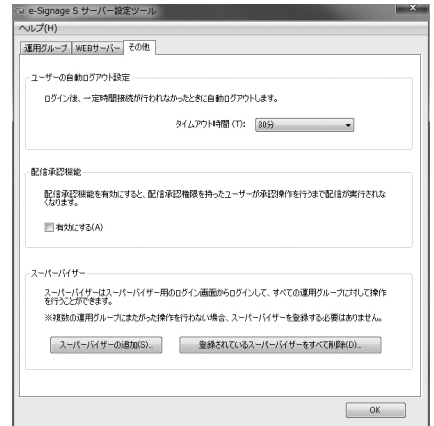
ご参考

WEB サーバーのサーバープログラムは、ユーザープロセスとして動作しますので、サービスとしては動作できません。管理者権限を含むユーザーアカウントで Windows にログインし、WEB サーバープログラム (WEB サーバーや配信スケジューラ) がスタートアップから起動されている状態で使用してください。

■ 自動ログアウト時間を設定する

ログイン後に一定時間操作が行われなかったときに自動ログアウトする時間を設定します。デフォルトでは 30 分に設定されています。

- 1 サーバー設定ツール画面で [その他] タブをクリックする。
- 2 プルダウンメニューより、タイムアウト時間を選択する。
自動ログアウトさせない場合は「なし」を選択します。
- 3 [OK] をクリックする。

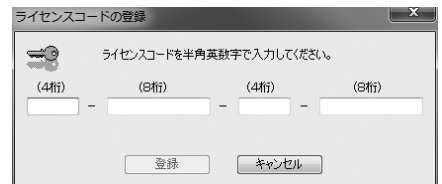


■ ライセンス登録する

ご参考


- ・ インストール時に正式なライセンスコードを入力している場合は、別途ライセンス登録を行う必要はありません。

- 1 サーバー設定ツール画面で [ヘルプ] の [バージョン情報] をクリックする。
バージョン情報画面が表示されます。
- 2 [登録] をクリックする。
ライセンスコードの登録画面が表示されます。
- 3 入手したライセンスコードを入力し、[登録] をクリックする。



■ 配信スケジューラについて

配信スケジューラは、e-Signage の通信などを管理するためのツールです。配信スケジューラは、Windows ログイン時に「スタートアップ」より自動的に起動します。

起動すると、タスクトレイにアイコン () が表示され、常駐します。通常は、終了しないでください。

■ 配信承認機能を有効にする (WEB サーバー版のみ)

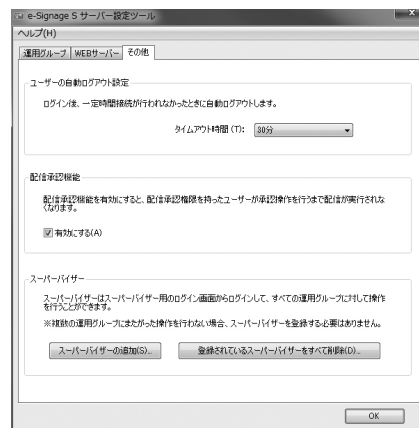
1 サーバー設定ツール画面で [その他] タブをクリックする。

2 「有効にする」にチェックする。

配信承認機能が有効になります。

配信承認機能を有効にすると、コンテンツを配信しても、配信の承認権限を持つユーザーが配信を承認するまでコンテンツは配信されません。

承認権限は、ユーザーグループ作成画面で設定します。



■ スーパーバイザーを登録する (WEB サーバー版のみ)

2 つ以上の運用グループを運用するときは、スーパーバイザーを登録します。(運用グループ管理)

1 つの運用グループのみを運用するときは、スーパーバイザーの登録は、不要です。

1 サーバー設定ツール画面で [その他] タブをクリックする。

2 [スーパーバイザーの追加] をクリックする。

スーパーバイザーの追加画面が表示されます。

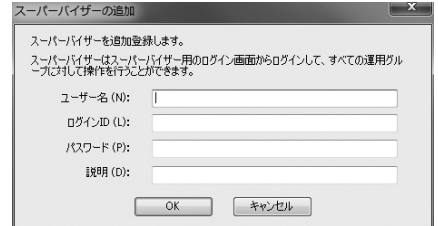
3 スーパーバイザーを登録する。

ユーザー名： スーパーバイザーの名称です。

ログイン ID： スーパーバイザーの ID です。

パスワード： スーパーバイザーがログインするときの
パスワードです。

説明： スーパーバイザーの説明です。



4 [OK] をクリックする。

■ スーパーバイザーをすべて削除する

1 サーバー設定ツール画面で [その他] タブをクリックする。

2 [登録されているスーパーバイザーをすべて削除] をクリックする。

3 [はい] をクリックする。

4 [OK] をクリックする。

ログイン編

ログイン

WEB サーバーにログインする

■ 管理用 PC からユーザーとしてログインする場合

- 1 デスクトップの e-Signage S ショートカットアイコンをダブルクリックする。
運用グループが作成されていない場合、サーバー設定が起動します。(☞ 33 ページ)
- 2 運用グループを選択し、ログイン ID とパスワードを入力してログインボタンをクリックする。



■ 操作用 PC からユーザーとしてログインする場合

- 1 以下の URL にアクセスする。
`http://(サーバーの IP アドレス : ポート番号)/login/`
- 2 ログイン ID とパスワードを入力してログインボタンをクリックする。

■ スーパーバイザーとしてログインする場合

- 1 以下の URL にアクセスする。
`http://(サーバーの IP アドレス : ポート番号)/supervisor/`
- 2 ログイン ID とパスワードを入力してログインボタンをクリックする。

ご参考

- ログイン可能なユーザーは、運用グループ作成時に作成した初期ユーザー (☞ 34 ページ)、管理者ユーザー (☞ 36 ページ)、およびユーザー管理にて登録したユーザー (☞ 114 ページ) です。
- ログイン可能なスーパーバイザーは、初回起動時に設定ウィザードで登録したスーパーバイザー (☞ 34 ページ)、サーバー設定ツールで登録したスーパーバイザー (☞ 40 ページ) です。
- スーパーバイザーとしてログインしたときは、各管理画面などで「運用グループの選択」が表示されますので、運用グループを選択します。
- 複数個所から同じログイン ID でログインした場合、後からのログインが優先され、先にログインしていたユーザーのセッションは切断されます (ログアウトする)。ログイン ID は複数ユーザーで共有せず 1 人に 1 つ付与するようにしてください。
- Windows Server 2008/2008 R2/2012/2012 R2/2016 にインストールされた Internet Explorer では、セキュリティを高めるため、ページリダイレクションなどの機能が制限されます。
- うまく動作しないときには Internet Explorer の「インターネットオプション」 - 「セキュリティ」 - 「信頼済みサイト」に WEB サーバーの URL `http://(サーバーの IP アドレス : ポート番号)/` を追加してください。

画面の見かた

WEB サーバー版の例で説明します。その他の版では対応していない機能は表示されません。

■ ツールバー



① ホームボタン

各画面からダッシュボード画面へ戻ります。

② 機能選択ボタン

各機能を選択して表示できます。

③ ユーザー

現在ログインしているユーザー名です。
パスワードを変更することができます。

④ ログアウトボタン

クリックするとサーバーからログアウトします。

■ ダッシュボード画面



■ システム管理画面



⑤ 機能ボタン

タブ名	内容		参照ページ
ダッシュボード画面			
コンテンツフォルダー管理	コンテンツフォルダーと、コンテンツフォルダーに格納するコンテンツ（映像、音声、テロップ）のリストを作成・管理します。		45
番組管理	コンテンツをレイアウトして表示するための番組を作成・管理します。		69
スケジュール管理	コンテンツフォルダーや番組の再生スケジュールを作成・管理します。		80
配信	コンテンツフォルダー、番組、スケジュールを配信します。配信の予約や配信状況の確認ができます。 [配信]をクリックすることで、次のメニューが表示されます。		91
	臨時番組配信	臨時にコンテンツを配信することができます。	101
	緊急テロップ配信	臨時にテロップを配信することができます。	103
	USB メモリー /SD メモリーカード配信	USB メモリー /SD メモリーカードを利用して配信することができます。	99
状態監視・制御	表示用端末の状態を表示したり、電源などを制御します。 [監視]をクリックすることで、次のメニューが表示されます。		105
	パネル側データ確認	表示用端末の状態を確認します。	111
システム管理画面			
ユーザー管理	ユーザーの登録・管理を行います。		113
パネル管理	パネルの登録・管理を行います。		119
システムログ	操作・配信の履歴情報を閲覧します。		127
プレーヤー更新	プレーヤーソフトウェアのアップデートや、設定変更などを行うことができます。 (将来のアップデートをお約束するものではありません。)		132
インポート	他のパソコンでエクスポートしたコンテンツフォルダー / 番組 / スケジュールを利用するために、読み込みます。あらかじめ登録されているサンプルデータをインポートすることもできます。 [インポート]をクリックすることで、次のメニューが表示されます。		139
	エクスポート	他のパソコンで利用するために、保存されているコンテンツフォルダー / 番組 / スケジュールを書き出します。	142

⑥ 画面切換ボタン

ダッシュボード画面とシステム管理画面を切り換えます。

⑦ データ使用量表示ボタン

e-Signage S のデータ使用量を表示します。

コンテンツ編

コンテンツフォルダー管理

基本画面について

再生するコンテンツをフォルダー（コンテンツフォルダー）で管理します。

コンテンツフォルダーグループ管理エリアのコンテンツフォルダーグループ名をクリックすると、そのコンテンツフォルダーグループに属するコンテンツフォルダーがコンテンツフォルダー管理エリアに表示されます。

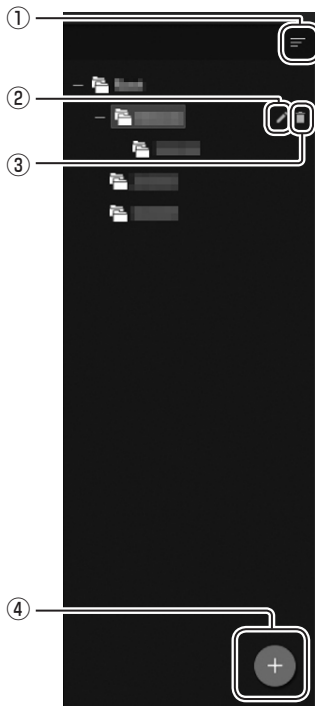


コンテンツフォルダーグループ管理エリア

コンテンツフォルダー管理エリア

コンテンツフォルダーグループを管理する

■ コンテンツフォルダーグループ管理エリア



① 折りたたみボタン

メニューを折りたたみます。

② 編集ボタン

コンテンツフォルダーグループの登録情報を編集します。

③ 削除ボタン

コンテンツフォルダーグループを削除します。

④ 追加ボタン

コンテンツフォルダーグループを追加します。

■ コンテンツフォルダーグループを作成する

1 コンテンツフォルダーグループ管理エリアの **+** をクリックする。
コンテンツフォルダーグループ作成画面が表示されます。

2 各項目を入力する。

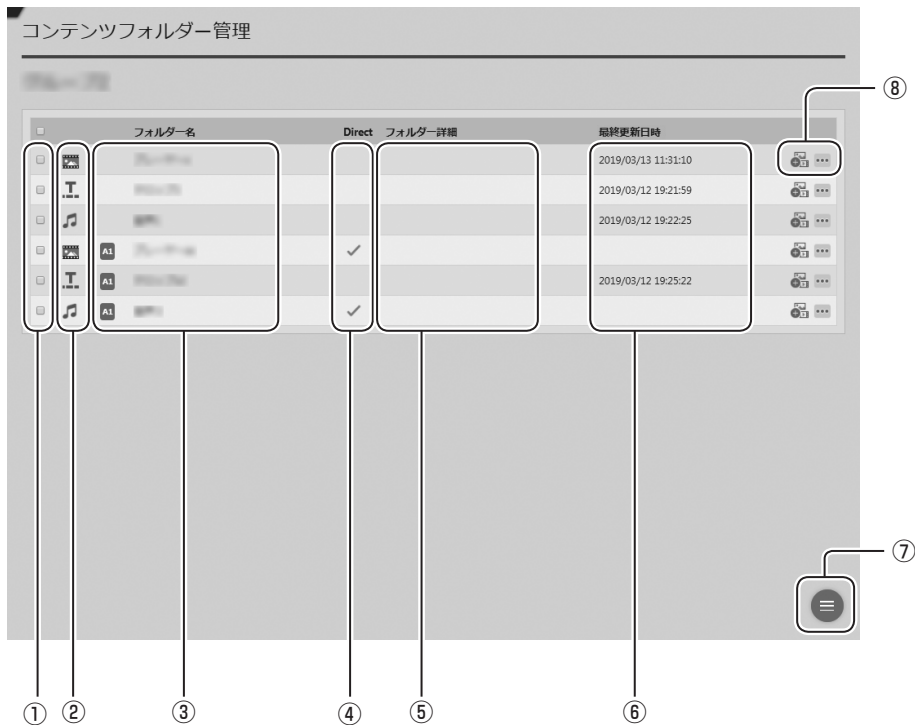
The screenshot shows a dialog box titled 'フォルダーグループの追加' (Add Folder Group). It contains a text input field labeled 'フォルダーグループ名' (Folder Group Name) and a tree view labeled '親グループ' (Parent Group) with a '+' icon. Below the tree view are two buttons: '追加' (Add) and 'キャンセル' (Cancel).

項目名	説明
フォルダーグループ名 (必須)	グループの名称です。
親グループ (必須)	属するフォルダーを設定します。

3 [追加] をクリックする。

コンテンツフォルダーを管理する

■ コンテンツフォルダー管理エリア



① チェックボックス

複数のコンテンツフォルダーを削除するとき
に使用します。

② コンテンツフォルダー種別アイコン

コンテンツフォルダー種別を表示します。

③ フォルダー名

コンテンツフォルダー名を表示します。
プレーヤー A1 用のデータの場合は、フォル
ダー名の横に **A1** が表示されます。

④ Direct

フォルダーモードで「Direct モード」を選ん
だ場合にチェックマークが表示されます。

⑤ フォルダー詳細

コンテンツフォルダー作成時に入力した詳細情
報が表示されます。

⑥ 最終更新日時

コンテンツフォルダーの更新された日時が表示
されます。

⑦ メニューボタン

コンテンツフォルダーを追加するとき
に使用し
ます。
複数のチェックボックスにチェックを入れて選
択すると、一括削除のメニューが表示されます。

⑧

クリックすると、コンテンツフォルダーにコン
テンツを追加したり、削除することができます。
⋮ をクリックすると、次のボタンが表示されます。

(プロパティの設定ボタン)

(削除ボタン)

(プレビューボタン) ※ 1.2.3

(Windows のフォルダーを開くボタン) ※ 1.4

- ※ 1 管理用 PC での操作時のみ。
- ※ 2 **[Esc]** キーでプレビューを終了します。
- ※ 3 プレーヤー A1 データを PC 上でプレビュー
する場合、実際の再生と一部が異なる場合が
あります。また、一部の動画ファイルや音声
ファイルでプレビューできない場合があります。
- ※ 4 フォルダーモードが「Direct モード」の
ときのみ。

コンテンツフォルダー作成

コンテンツフォルダーを作成する流れ

- ① コンテンツフォルダーを作成する。(☞ 下記)
再生するプレーヤーソフトウェアとコンテンツの種類から、コンテンツフォルダー種別を指定します。
- ② 作成したコンテンツフォルダーにコンテンツファイルをアップロードする。(☞ 53 ページ)
作成したコンテンツフォルダーは、次の機能で割り当てて使用します。
 - 配信 (☞ 92 ページ)
 - 番組管理 (☞ 70 ページ)
 - スケジュール管理 (☞ 81 ページ)

コンテンツフォルダーを作成する

コンテンツを管理するコンテンツフォルダーを作成します。

- 1 コンテンツフォルダーを追加したいコンテンツフォルダーグループを選択する。
- 2 コンテンツフォルダー管理エリアの ☰ をクリックし、「追加」を選択する。
- 3 配信先のプレーヤーソフトウェアの種類を選択する。
コンテンツフォルダー追加画面が表示されます。
- 4 各項目を設定する。

コンテンツフォルダーの追加 (プレーヤー)

① フォルダー名

② フォルダー種別 メディア

③ フォルダー詳細

④ 格納できる拡張子 JPEG, JPG, GIF, PNG, BMP, WMV, MP4, MOV, AVI, SWF, PPT, PPTX, PPS, PPSX, HTM, HTML, MHT, ANC, DGI, ERC, TWT, WHR リセット

⑤ ユーザーグループ 管理者
ユーザー

⑥ 再生時間 00:00:10

※ 動画・音声コンテンツ追加時は再生時間が自動取得されます。

⑦ 遷移効果 なし 秒

⑧ 遷移方向

⑨ フォルダーモード Directモード

追加 キャンセル

※ 「プレーヤー - メディア」の画面例です。

項目名	説明	
① フォルダー名	コンテンツフォルダー名を入力します。	
② フォルダー種別	メディア	配信先のプレーヤソフトウェアと配信するコンテンツの組み合わせから、コンテンツフォルダーの種類を選択します。 番組作成の背景枠・表示枠 1～4、スケジュール、配信で割り当てることができます。(77,87,96 ページ)
	テロップ	番組作成のテロップ枠に割り当てることができます。(77 ページ)
	音声	番組作成の音声枠に割り当てることができます。(77 ページ)
③ フォルダー詳細	情報を自由に入力できます。	
④ 格納できる拡張子	コンテンツフォルダーにアップロードできるコンテンツの拡張子を入力します。 テロップでは入力できません。「リセット」でデフォルトの値に戻ります。	
⑤ ユーザーグループ	アクセス権限を設定します。権限を持たないユーザーにはコンテンツフォルダーが表示されません。 ユーザーグループ名をクリックすることで、アクセス権限の有無を切り換えます。	
⑥ 再生時間	コンテンツが追加されたときに設定されるデフォルトの再生時間を入力します。	
⑦ 遷移効果	静止画コンテンツの場合のデフォルトの遷移効果を選択します。 また、遷移効果を反映する時間を設定します。 ※「メディア」のみ	
⑧ 遷移方向	静止画コンテンツの場合のデフォルトの遷移方向を選択します。 遷移効果の種類によって、遷移方向の有無や種類が異なります。 ※「メディア」のみ	
⑨ フォルダーモード	コンテンツフォルダーのコンテンツをエクスプローラー画面によって直接管理する場合は「Direct モード」をチェックします。 ※「Direct モード」が設定されている場合、コンテンツフォルダー管理画面からコンテンツの編集を行うことはできません。	

5 [追加] をクリックする。


! ご注意

- 「Direct モード」が設定されていないコンテンツフォルダーに対して途中から「Direct モード」を設定した場合、以下の項目がコンテンツフォルダーから削除されます。削除された項目は、復元できません。
コンテンツのコピーによって追加されたコンテンツファイル、非表示部、無音部、URL 指定のコンテンツ、表示用端末側パス指定のコンテンツ、各コンテンツファイルに設定されたプロパティ、コンテンツの再生条件、コンテンツの再生順序

ご参考

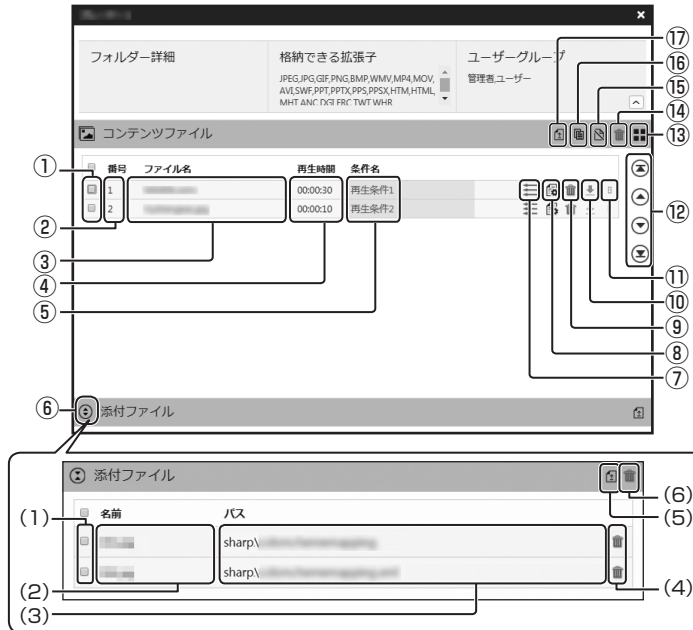
- 作成したコンテンツフォルダーは、フォルダー名やフォルダー種別の変更、フォルダーのコピーを行うことはできません。再度コンテンツフォルダーを作成してください。
- コンテンツフォルダー名には Windows のエクスプローラーで作成できないフォルダー名は使用できません。（“AUX”、“CON”、“NUL”、“PRN”、“COM0”～“COM9”、“LPT0”～“LPT9”など）

コンテンツフォルダーのコンテンツファイルを編集する

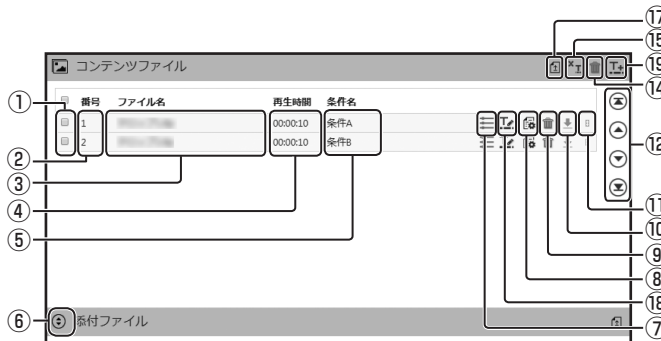
コンテンツフォルダーにコンテンツファイルをアップロードし、再生するプレイリストを作成します。コンテンツフォルダー管理エリアの  をクリックし、コンテンツフォルダーのコンテンツファイルを編集します。

■ コンテンツファイル編集画面

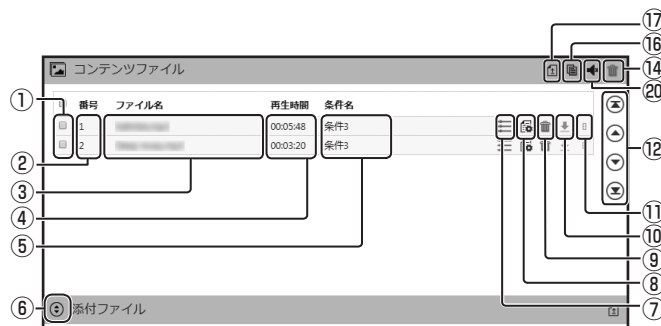
「メディア」フォルダー




「テロップ」フォルダー



「音声」フォルダー



コンテンツフォルダー作成

項目名	説明
① チェックボックス	複数のファイルを削除するときに使用します。
② 番号	ファイル番号が表示されます。
③ ファイル名	ファイル名が表示されます。
④ 再生時間	ファイルを再生する時間が表示されます。
⑤ 条件名	再生条件名が表示されます。
⑥ 表示切替ボタン	添付ファイルの詳細を表示します。
(1) チェックボックス	複数の添付ファイルを削除するときに使用します。
(2) 名前	添付ファイルの名前が表示されます。
(3) パス	添付ファイルが保存されているパスが表示されます。 <div style="background-color: #cccccc; padding: 2px;">ご参考</div> <ul style="list-style-type: none"> HTML コンテンツを使用する場合、HTML 内部で使用している画像や動画などを、必ず対象のHTML ファイルと同じ位置か、下位の Windows フォルダ位置に置いてください。 添付ファイルは、すべて相対パスで記述するように HTML ファイルを作成する必要があります。
(4) 削除ボタン	添付ファイルを削除します。
(5) アップロードボタン	指定したコンテンツフォルダーに添付ファイルをアップロードします。
(6) 一括削除ボタン	複数の添付ファイルを削除します。
⑦ 再生条件設定ボタン	再生条件を設定します。(🔍 67 ページ)
⑧ 編集ボタン	コンテンツのプロパティを編集します。 ※ フォルダモードに「Direct モード」が設定されていないときのみ
⑨ 削除ボタン	ファイルを削除します。
⑩ ダウンロードボタン	ファイルをダウンロードします。(🔍 66 ページ)
⑪ 並べ換えボタン	ドラッグすることで、ファイルの再生順を入れ換えます。 ※フォルダモードに「Direct モード」が設定されていないときのみ
⑫ 移動ボタン	チェックボックス (①) でチェックしたファイルを移動し、再生順を入れ換えます。 ▲ / ▼ をクリックすることで、上下に 1 行ずつ移動します。⬆ / ⬇ をクリックすることで、先頭または末尾に移動します。 ※フォルダモードに「Direct モード」が設定されていないときのみ
⑬ 表示切替ボタン	ファイルの表示をサムネイル表示 / リスト表示で切り換えます。 サムネイル表示にすると、全選択ボタン  が表示されます。 ※「メディア」フォルダのみ
⑭ 一括削除ボタン	複数のファイルを削除します。
⑮ 非表示部の追加ボタン	指定した再生時間の間、非表示になります。表示枠が表示されなくなり、その後ろに配置された表示枠を表示することができます。 ※ フォルダモードに「Direct モード」が設定されていないときのみ
⑯ コピーボタン	選択したファイルのコピーをプレイリストに追加します。 ※ フォルダモードに「Direct モード」が設定されていないときのみ

項目名		説明
⑰	アップロードボタン	ファイルをアップロードします。(☞ 58,65 ページ) ※ フォルダー種別が「プレーヤー A1 - テロップ」のときは表示されません。
⑱	テロップ設定ボタン	テロップの内容を編集します。 ※ 「テロップ」フォルダーのみ
⑲	テロップ作成ボタン	テロップを作成します。(☞ 62 ページ) ※ 「テロップ」フォルダーのみ
⑳	無音部の追加ボタン	指定した再生時間の間、音声の再生を行いません。 ※ フォルダーモードに「Direct モード」が設定されていないときのみ

■ コンテンツフォルダーに格納できるファイル

コンテンツとして使用できるファイル形式は次の通りです。

プレーヤー用コンテンツフォルダー

フォルダー種別	ファイル形式
メディア	MPEG、MPEG1、MPEG2、WMV (Windows Media Video (Windows Media Player で再生可能な形式))、Flash (Flash Player で再生可能な形式)、MOV、MPEG4 (Windows Media Player で再生可能な形式)、PowerPoint、HTML、JPEG、BMP、GIF、PNG、実行ファイル (.exe)、サイネージパーツ
テロップ	テロップエディタで作成したテロップ
音声	WAVE、MP3、AU、AIFF、WMA (Windows Media Audio (Windows Media Player で再生可能な形式))、MOV、MPEG4 (Windows Media Player で再生可能な形式)、MIDI

プレーヤー A1 用コンテンツフォルダー

フォルダー種別	ファイル形式
メディア	MPEG2、MPEG4、WMV、WEBM、HTML、JPEG、BMP、GIF、PNG
テロップ	テロップエディタで作成したテロップ
音声	WAVE、MP3、WMA、MPEG4

ご参考

- ・ 音声ファイルは音声枠に割り当てます。番組の表示時に再生される音声および音楽 (BGM) として使用されます。
- ・ 表示用端末が Window OS の場合、MPEG ファイルの再生にはコーデックが必要です。

コンテンツファイルは拡張子によって、タイプを認識します。

表示用端末が Window OS の場合、タイプに応じて、各ソフトウェアをパソコンにインストールしておく必要があります。

拡張子	コンテンツタイプ	表示ソフトウェア
.avi .mpeg .mpg .wmv .asf .mov .mp4	動画	Windows Media Player
.swf	Flash	Flash Player
.ppt .pps .pptx .ppsx	PowerPoint	PowerPoint Viewer
.htm .html	HTML	Internet Explorer、 e-Signage WEB ブラウザ
.tlp	テロップ	なし
.wav .mp3 .au .aif .aiff .wma .mid .midi .mov .mp4	音声	Windows Media Player
.exe	実行ファイル	なし
.jpeg .jpg .gif .png .bmp	静止画	なし

搭載 OS での動作が表明されていないコーデックやソフトについては導入前に確認してください。

ご参考

- JPEG ファイルは RGB 形式に対応しています。CMYK 形式には対応していません。
また、JPEG2000 には対応していません。
- アニメーション GIF には対応していません。
- PowerPoint のコンテンツを同時に2つ以上表示することはできません。
- PowerPoint のコンテンツでは、以下のことはできません。
マクロの実行、プログラムの実行、リンクオブジェクトの表示、埋め込みオブジェクトの表示
- PowerPoint のコンテンツでアニメーションを多用すると、文字がつぶれて表示されることがあります。
- コンテンツで使用するフォントは、表示用端末にもインストールされている必要があります。
- HTML ファイルや WEB ページを拡大・縮小して表示することはできません。
- 再生音量の調整は、動画や音声に対応しています。Flash や PowerPoint などには対応していません。

コンテンツファイルをアップロードする

作成したコンテンツフォルダーにファイルをアップロードします。

- 「メディア」フォルダー (🔗 下記)
- 「テロップ」フォルダー (🔗 62, 65 ページ)
- 「音声」フォルダー (🔗 65 ページ)

■ 「メディア」フォルダーにファイルをアップロードする

1 コンテンツファイル編集画面の  をクリックする。

コンテンツファイル追加画面が表示されます。

2 各項目を設定する。

「コンテンツ」タブ



プロパティ

① コンテンツ URL 表示用端末側パス

② ファイル選択 参照...

③ 再生時間 00:00:10
再生時間をファイルから取得する

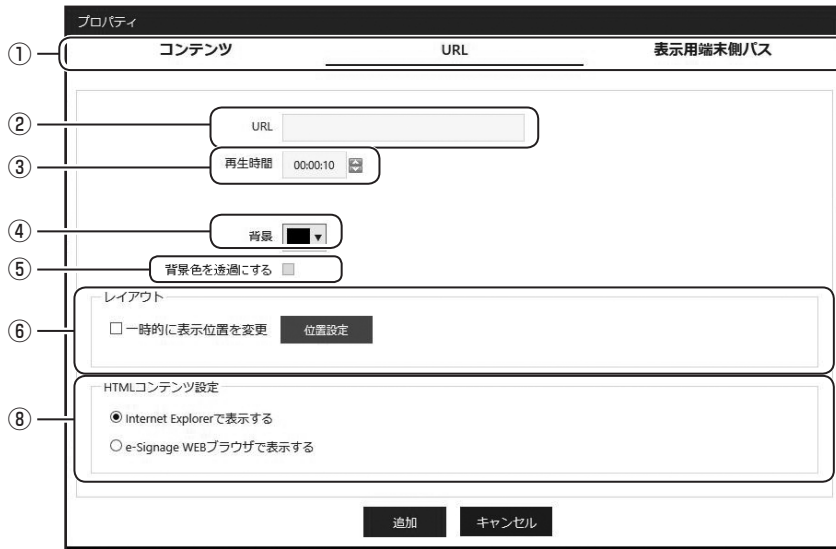
④ 背景

⑤ 背景色を透過にする

⑥ レイアウト
 コンテンツの縦横比を保持する 一時的に表示位置を変更
 コンテンツの縦横比を保持しない
 原寸で並べて表示

⑦ 画像遷移
 効果 なし 秒
 方向
 背景色を経由

「URL」タブ



「表示用端末側パス」タブ（プレーヤーのみ）



項目名	説明	
① ファイル種別	コンテンツ	アップロードするファイルの種別を選択します。 静止画や動画などのコンテンツをアップロードする場合に選択します。
	URL	指定した URL をコンテンツとして表示する場合に選択します。
	表示用端末側パス	プレーヤーに配置したコンテンツファイルや実行ファイル (.exe) を表示する場合に選択します。

項目名	説明	
②	ファイル選択	アップロードするファイルを選択します。 ※「コンテンツ」タブのみ
	URL	表示する HTML の URL を入力します。 ※「URL」タブのみ 表示用端末から参照できる「URL」を入力してください。 ご参考 <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページには著作権がありますので、注意してください。 ・ 表示するページにエラーがある場合は、正しく表示できません。 ・ 表示するページにプラグインなどが必要な場合は、対象のプラグインが表示用端末にインストールされている必要があります。
	表示用端末側のファイルパス	表示する実行ファイルのファイルパスを指定します。 ※「表示用端末側パス」タブのみ EXE ファイルを指定することができます。表示用端末から参照できるパスを入力してください。EXE ファイルの場合、「パラメータ」を付加することもできます。 ご参考 <ul style="list-style-type: none"> ・ 頻繁に更新されないファイルサイズの大きなコンテンツファイルを表示する場合には、そのファイルをあらかじめ表示用端末に配置し、それぞれを参照するパスのみを送信することで番組コンテンツ送信にかかる時間を短縮できます。 ・ 表示用端末の絶対パスまたは、マイコンテンツフォルダー（☞ 148 ページ）からの相対パスで指定してください。 ・ EXE ファイルを指定した場合「パラメータ」では、次の引数が利用できます。 %L：表示枠の左上 X %T：表示枠の左上 Y %W：表示枠の幅 %H：表示枠の高さ ・ e-Signage S では、指定された実行形式ファイルを指定時間に起動 / 終了するのみで、起動された実行形式ファイルの動作を保証するものではありません。 ・ 実行するプログラムの仕様によっては、正常に起動 / 終了できなかつたり、正しい位置にウィンドウを表示できない場合があります。
③	再生時間	再生時間を設定します。 再生時間をファイルから取得する 動画ファイルの場合、ファイルの情報から再生時間を取得します。 ※「コンテンツ」タブのみ
以下はフォルダーモードに「Direct モード」が設定されていないときのみ設定できます。		
④	背景	背景の色を選択します。 コンテンツの余白部分を指定した色で塗りつぶして表示します。 色が表示されている四角形をクリックすると表示されるダイアログボックスで、背景色を変更できます。
⑤	背景色を透過にする	チェックボックスをチェックすると、コンテンツの余白部分が透明になります。 ご参考 コンテンツフォルダーを番組の「背景枠」に割り当てる場合、透過に設定しないでください。

項目名		説明	
⑥	レイアウト	コンテンツのレイアウトを設定します。 「コンテンツの縦横比を保持する」 / 「コンテンツの縦横比を保持しない」 / 「原寸で並べて表示」 ラジオボタンは、コンテンツタイプが静止画のとき選択できます。	
		一時的に表示位置を変更	コンテンツフォルダーを番組の表示枠に割り当てた場合にコンテンツの表示位置を一時的に変えたいときは、このチェックボックスをチェックし、[位置設定] をクリックしてください。コンテンツごとに表示枠の位置とサイズを指定することができます。表示位置は、背景表示枠を超えて設定できません。
⑦	画像遷移	画像の遷移を選択します。 ※「コンテンツ」タブのみ	
		効果	遷移効果を選択します。 また、遷移効果を反映する時間を設定します。
		方向	遷移方向を選択します。 遷移効果の種類によって、遷移方向の有無や種類が異なります。
		背景色を経由	背景色を経由の有無を選択します。
⑧	HTML コンテンツ設定	コンテンツを表示するブラウザを選択します。 ※「URL」タブのみ	
		Internet Explorer で表示する	HTML コンテンツを Internet Explorer で表示します。
		e-Signage WEB ブラウザで表示する	HTML コンテンツを e-Signage WEB ブラウザで表示します。

3 [追加] をクリックする。

4 必要に応じて手順 1 ～ 3 を繰り返し、プレイリストを作成する。

プレイリストの上から順にコンテンツファイルが再生されます。
コンテンツフォルダーのフォルダーモードが「Direct モード」に設定されている場合、ファイル名の昇順で再生されます。

ご参考

- フォルダーモードが「Direct モード」の場合、ファイル名の末尾に再生時間を追加することで、再生時間を指定することができます。
例) image1_30s.jpg : 30 秒
image2_1m15s.jpg : 1 分 15 秒
image3_1h.jpg : 1 時間
- e-Signage WEB ブラウザで表示を行う場合には、HTML が先読み設定されている場合でも先読み処理は行われません。また、表示枠に関わらず最前面に表示されます。

テロップを作成する

1 コンテンツファイル編集画面の **T+** をクリックする。

テロップファイルの作成画面が表示されます。

2 各項目を設定する。

項目名	説明																
① テロップ名	テロップ名を入力します。																
② テロップ	<p>テロップに流す文章を入力します。</p> <p>ご参考</p> <p>テロップの 1 行の文字数が多いほど、メモリーを消費します。文字列長が長くなり過ぎないように、適当な箇所で行改行することをお勧めします。</p>																
③ テロップの記述に HTML タグを使用する	<p>チェックを入れると、「テロップ」内で、次の HTML タグを使用して、フォントの色や大きさなどを指定できます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>タグ</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>テキストの色 (COLOR)、大きさ (SIZE)、種類 (FACE) を指定できます。 ご参考 ・ フォントサイズは、SIZE="数字" でポイント数を指定してください。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>テキストを太字にします。</td> </tr> <tr> <td><I></td> <td>テキストを斜体 (イタリック) にします。</td> </tr> <tr> <td><U></td> <td>テキストに下線 (アンダーライン) を引きます。</td> </tr> <tr> <td><S></td> <td>打ち消し線を引きます。</td> </tr> <tr> <td><BIG></td> <td>テキストのサイズをひとまわり大きくします。</td> </tr> <tr> <td><SMALL></td> <td>テキストのサイズをひとまわり小さくします。</td> </tr> </tbody> </table>	タグ	説明		テキストの色 (COLOR)、大きさ (SIZE)、種類 (FACE) を指定できます。 ご参考 ・ フォントサイズは、SIZE="数字" でポイント数を指定してください。		テキストを太字にします。	<I>	テキストを斜体 (イタリック) にします。	<U>	テキストに下線 (アンダーライン) を引きます。	<S>	打ち消し線を引きます。	<BIG>	テキストのサイズをひとまわり大きくします。	<SMALL>	テキストのサイズをひとまわり小さくします。
タグ	説明																
	テキストの色 (COLOR)、大きさ (SIZE)、種類 (FACE) を指定できます。 ご参考 ・ フォントサイズは、SIZE="数字" でポイント数を指定してください。																
	テキストを太字にします。																
<I>	テキストを斜体 (イタリック) にします。																
<U>	テキストに下線 (アンダーライン) を引きます。																
<S>	打ち消し線を引きます。																
<BIG>	テキストのサイズをひとまわり大きくします。																
<SMALL>	テキストのサイズをひとまわり小さくします。																

項目名	説明	
④ 書式	書式を設定します。	
	文字方向	文字方向の「横書き」または「縦書き」を選択します。
	フォント	フォントを変更します。 ご参考 ・表示用端末にも同じフォントがインストールされている必要があります。 ・フォントの種類によっては、文字サイズを正確に取得できないものがあり、テロップが表示途中で途切れる場合があります。
	文字色	文字色を設定します。
	文字装飾	文字装飾を「なし」、「縁取り」、「影付き」から選択します。「縁取り」または「影付き」を選択した場合は、装飾色を設定します。
⑤ 背景	背景を設定します。	
	背景色	背景色を設定します。
	背景色を透過させる	チェックを入れると、背景色を透過させることができます。 透過率のスライダーを左右にドラッグして、透過率を設定します。 ご参考 ・背景色を透過させない場合は、チェックしないでください。スライダーを右端の非透過にしても、完全に非透過にはなりません。 ・チェックすると、背景色に設定されている色自体が透過されますので、「文字色」や「装飾色」が「背景色」と同じ場合は、「文字色」や「装飾色」も透過されます。 ・動画の上に透過 / 半透過テロップを配置した場合は、効果が得られない場合があります。

項目名	説明
⑥ スクロール	スクロール方向と速度を設定します。
	<p>方向</p> <p>方向を「右から左」、「左から右」、「下から上」または「動かない」から選択します。</p> <p>ご参考</p> <ul style="list-style-type: none"> 「書式」で「縦書き」を選択した場合は、「右から左」、「左から右」を選択することはできません。 「動かない」を選択した場合は、テロップが指定された範囲の中央に1行ずつ表示されます。(はみ出した部分は表示されません。)
	<p>速度</p> <p>速度のスライダーを左右にドラッグして、スクロール速度を設定します。</p> <p>※「動かない」を選択した場合は表示されません。</p> <p>ご参考</p> <ul style="list-style-type: none"> テロップの速度は、同じ設定でもパソコンの性能によって異なる場合があります。 縦書きのテロップを使用する場合、すべての文字を全角にしてください。 「背景色を透過させる」チェックボックスをチェックした場合、非透過のテロップと比較してスクロール速度が遅くなる場合があります。運用前にテロップを表示してテストすることをお勧めします。
	<p>表示切替時にフェードイン/アウトする</p> <p>「動かない」を選択した場合、フェードイン・フェードアウトするかどうかが設定します。</p> <p>テロップの表示が切り換わるとき、現在表示されているテロップが徐々に消え、次のテロップが徐々に表示されるようにする場合はチェックボックスをチェックしてください。</p> <p>ご参考</p> <p>動画の上にフェードイン/フェードアウトするテロップを配置した場合は、効果が得られない場合があります。</p> <p>1行ごとの表示時間</p> <p>「動かない」を選択した場合、テロップが1行ずつ表示されます。その表示時間を設定します。</p>

ご参考

- プレイヤー A1 用のテロップを HTML タグを使用して作成した場合、プレビューが正しく表示されないことがあります。正確に表示内容を確認する場合は、実際にプレイヤー A1 を搭載した表示用端末に配信して表示を確認してください。

3 [追加] をクリックする。

■「テロップ」フォルダー／「音声」フォルダーにファイルをアップロードする

ご参考

- 「テロップ」フォルダーへのアップロードはプレーヤーのみ。また、アップロードファイルは e-Signage で作成します。(167 ページ)

1 コンテンツファイル編集画面の  をクリックする。

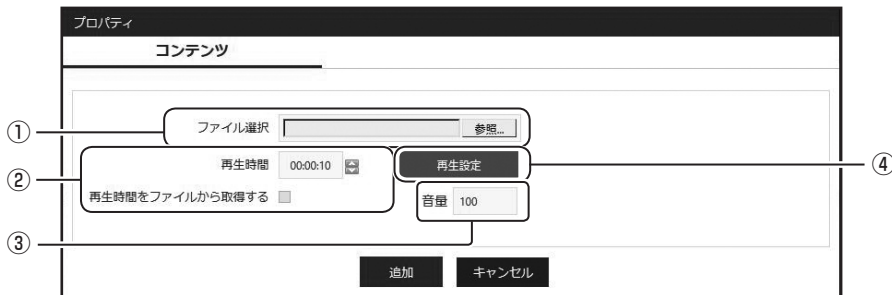
コンテンツファイル追加画面が表示されます。

2 各項目を設定する。

「テロップ」フォルダー



「音声」フォルダー



項目名	説明	
① ファイル選択	アップロードするファイルを選択します。	
② 再生時間	再生時間を設定します。	
	再生時間が過ぎてもテロップを最後まで表示する	チェックすると、再生時間が過ぎてもテロップを最後まで表示します。 ※「テロップ」フォルダーのみ
	再生時間をファイルから取得する	ファイルの情報から再生時間を取得します。 ※「音声」フォルダーのみ
③ 音量	再生音量を選択します。 ※「音声」フォルダーのみ	

項目名	説明	
④ 再生設定	再生終了後の動作を選択します。	
	ご参考 <ul style="list-style-type: none"> 設定した再生時間よりも前にコンテンツ再生が終了した場合の動作を設定することができます。設定するときは、[再生設定] をクリックしてください。 「再生時間が過ぎてもテロップを最後まで表示する」チェックボックスのチェックをはずした場合、テロップの再生時間が過ぎると再生が途中で強制的に終了します（コンテンツタイプがテロップのとき有効）。 	
	コンテンツを繰り返し	このコンテンツを繰り返します。／再生を停止します。
	背景色を表示して停止／停止	再生を停止して、背景色を表示します。
	次のコンテンツを再生	次のコンテンツを再生します。
⑤ レイアウト	コンテンツのレイアウトを設定します。 ※「テロップ」フォルダーのみ	
	一時的に表示位置を変更	コンテンツの表示位置を一時的に変えたいときは、このチェックボックスをチェックし、[位置設定] をクリックしてください。コンテンツごとに表示枠の位置とサイズを指定することができます。表示位置は、背景表示枠を超えて設定できません。

3 [追加] をクリックする。

4 必要に応じて手順 1 ～ 3 を繰り返し、プレイリストを作成する。

コンテンツファイルをダウンロードする

コンテンツフォルダーのファイルをダウンロードします。

1 コンテンツファイル編集画面でダウンロードするファイルの  をクリックする。

再生条件設定

コンテンツファイルに再生する条件を設定することができます。
複数の条件を設定した場合、すべての条件に一致した時に再生を行います。

再生条件を設定する

1 コンテンツファイル編集画面で設定するファイルの  をクリックする。

2 各項目を設定する。

設定する項目のチェックボックスにチェックを入れて設定します。



再生条件

条件名

再生開始時刻

期間 2017/10/23 00:00:00 から 2017/10/23 00:00:00

時刻 00:00:00 から 00:00:00

日付

日、又は月/日を区切って入力してください。例:1,15,10/5はそれぞれ毎月1日、毎月15日、10月5日を表します

曜日: 日 月 火 水 木 金 土

週: 1 2 3 4 5 6

プレイヤーのパネル属性

パネル名 含む 含まない

グループ 含む 含まない

コメント1 含む 含まない

コメント2 含む 含まない

コメント3 含む 含まない

OK キャンセル

項目名	説明	
① 条件名	再生条件に名前を付けることができます。	
② 再生条件	再生条件の期間を設定できます。	
	期間	開始日と終了日を設定できます。
	時刻	開始時間と終了時間を設定できます。
	日付	再生する日を設定できます。
	曜日	再生する曜日を設定できます。(複数選択可)
週	毎月の何週目に再生するかを設定できます。(複数選択可)	
③ プレーヤーのパネル属性	パネルに設定されている属性で再生条件を設定します。	
	パネル名	入力した文字を含むパネル名で再生する、または含まれないパネルで再生する、を設定できます。
	グループ	入力した文字を含むグループで再生する、または含まれないグループで再生する、を設定できます。
	コメント1～3	入力した文字を含むコメントが設定されたパネルで再生する、または含まれないパネルで再生するを設定できます。

3 [OK] をクリックする。

ご参考

- 再生条件設定のうち、パネル名、グループ、コメントの条件は、再生時に表示用端末側に設定されているパネル属性情報が参照されます。
- あらかじめ表示用端末にパネル属性情報を設定しておくことで、複数の表示用端末に同一のコンテンツを配信して表示用端末毎にコンテンツを再生させることができます。
- 表示用端末にパネル属性情報を設定する方法は、148,159 ページを参照ください。

番組編

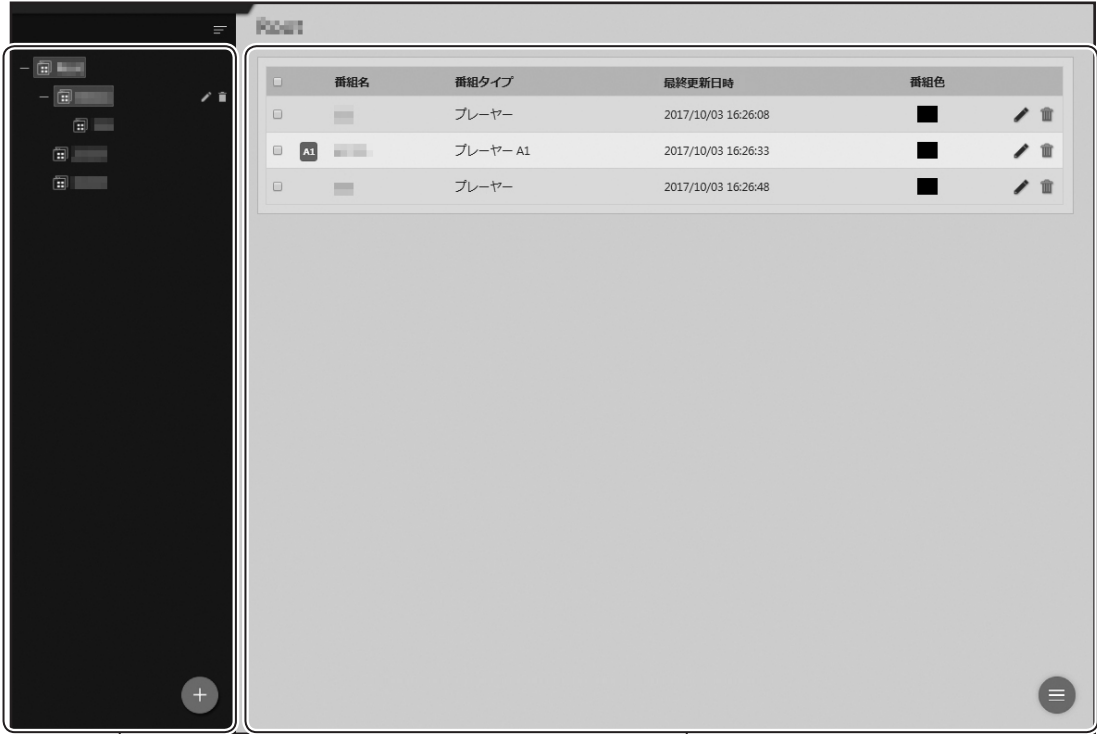
番組管理

基本画面について

パネルに表示する番組を管理します。

番組の枠にコンテンツフォルダーを割り当てることで、画面分割して表示することができます。

番組グループ管理エリアの番組グループフォルダーをクリックすると、その番組グループに属する番組が番組管理エリアに表示されます。

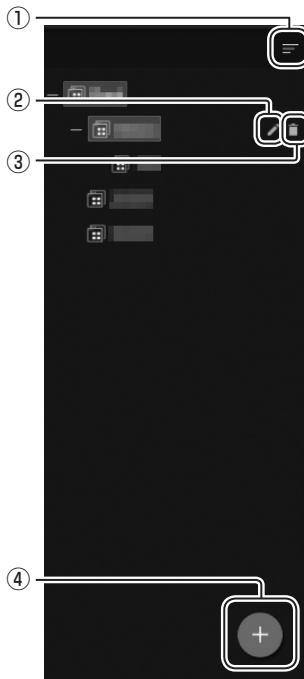


番組グループ管理エリア

番組管理エリア

番組グループを管理する

■ 番組グループ管理エリア



① 折りたたみボタン

メニューを折りたたみます。

② 編集ボタン

番組グループの登録情報を編集します。

③ 削除ボタン

番組グループを削除します。

④ 追加ボタン

番組グループを追加します。

■ 番組グループを作成する

1 番組グループ管理エリアの **+** をクリックする。
番組グループ作成画面が表示されます。

2 各項目を入力する。

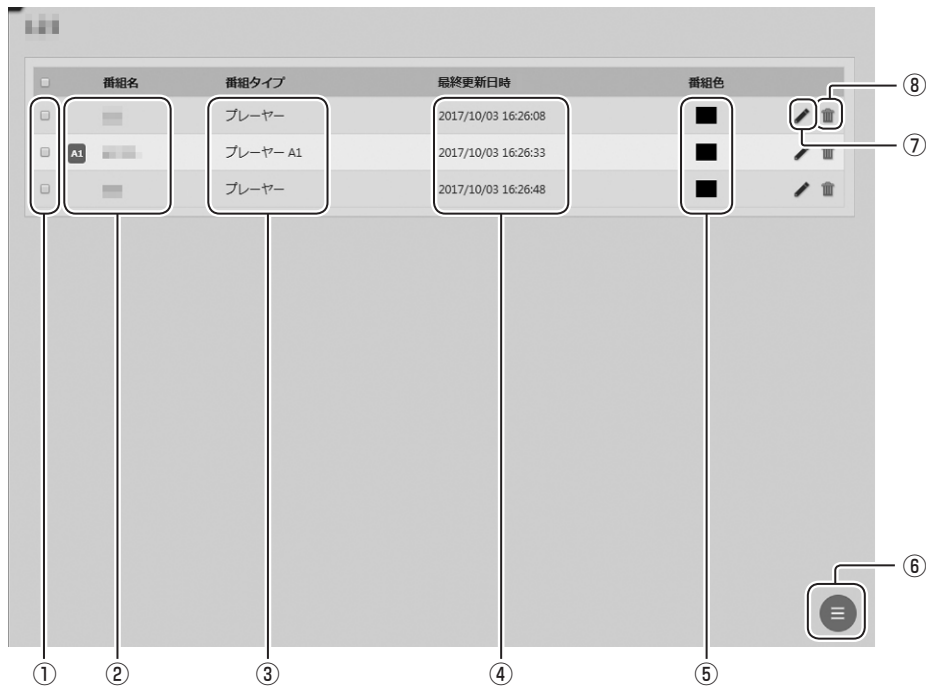


項目名	説明
番組グループ名 (必須)	グループの名称です。(1～50文字)
親グループ (必須)	属するフォルダーを設定します。

3 [追加] をクリックする。

番組を管理する

■ 番組管理エリア



① チェックボックス

複数の番組を削除するとき 사용합니다。

② 番組名

番組名を表示します。

③ 番組タイプ

番組のタイプを表示します。

④ 最終更新日時

番組が更新された日時を表示します。

⑤ 番組色

番組に設定した色を表示します。

⑥ メニューボタン

番組を追加するとき 사용합니다。

複数のチェックボックスにチェックを入れて選択すると、一括削除のメニューが表示されます。

⑦ 編集ボタン

番組を編集します。

⑧ 削除ボタン

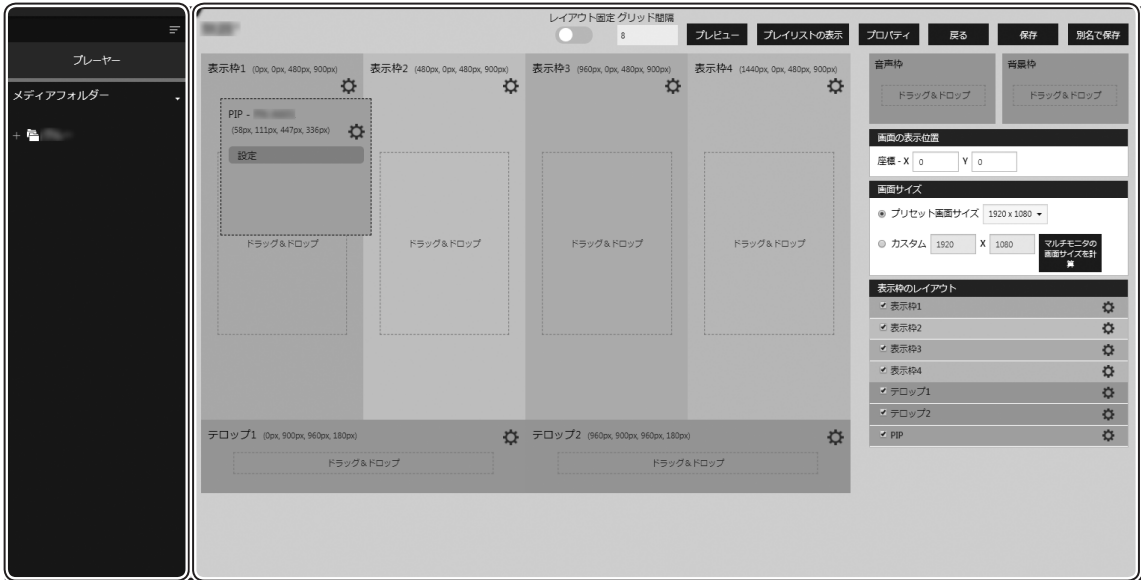
番組を削除します。

番組作成

基本画面について

パネルに表示する番組を作成します。

番組作成エリアの破線枠（表示枠、テロップ枠、音声枠、背景枠）へフォルダー選択エリアのコンテンツフォルダーをドラッグ & ドロップして割り当てることができます。




コンテンツフォルダー選択エリア

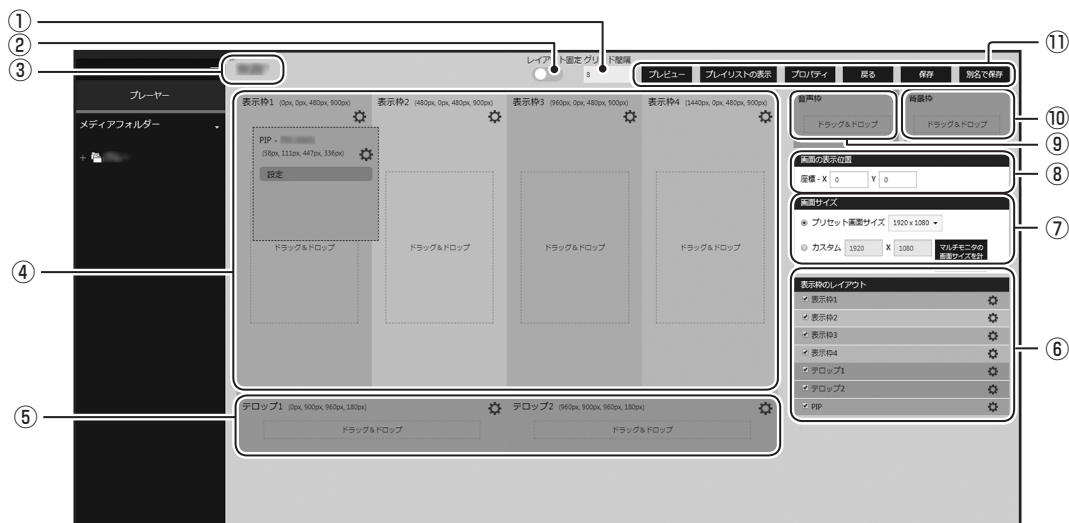
番組作成エリア






番組を作成する

■ レイアウトを設定する

画面全体のレイアウトを設定します。


- 1 番組管理エリアの  をクリックし、「追加」を選択する。
- 2 配信先のプレーヤーソフトウェアの種類を選択する。
- 3 各項目を設定する。



項目名	説明
① グリッド間隔	グリッドの単位を設定します。 グリッドを利用すると、マウスのドラッグ時にグリッド単位で移動でき、正確に位置を合わせることができます。
② レイアウト固定	操作ミスによるレイアウトの変更を防ぐときに使用します。
③ 番組名	番組名が表示されます。開いた番組の内容が変更されると、番組名の後ろに「* (アスタリスク)」が表示されます。
④ 表示枠 1～4	表示枠 1～4 の表示内容や表示位置を設定します。
PIP	PIP 枠の表示内容や表示位置を設定します。( 78 ページ) ※ PIP 枠は、表示枠のレイアウトにチェックを入れることで表示されます。
⑤ テロップ 1～2	テロップ 1～2 の表示内容や表示位置を設定します。( 62, 65 ページ)
⑥ 表示枠のレイアウト	各枠の表示／非表示を選択します。
⑦ 画面サイズ	番組がパネルに表示されるサイズを設定します。( 79 ページ)
⑧ 画面の表示位置	番組がパネルに表示される開始位置を設定します。( 79 ページ)
⑨ 音声枠	番組の表示時に再生される音声および音楽を設定します。( 65 ページ)
⑩ 背景枠	番組の背景を設定します。


項目名	説明
① プレビュー	作成した番組をプレビューします。【Esc】キーでプレビューを終了します。 ※ プレビューの前に【保存】で番組を保存してください。 ※ プレビュー方法（オリジナルサイズ、画面にフィット）を選択します。 ※ 設定した条件でプレビューを行うことができます。 ※ プレーヤー A1 データを PC 上でプレビューする場合、実際の再生と一部が異なる場合があります。また、一部の動画ファイルや音声ファイルでプレビューできない場合があります。
プレイリストの表示	各表示枠に割り当てられているコンテンツフォルダーの詳細を確認できます。コンテンツフォルダーの再生順を入れ換えることができます。（表示枠 1～4、テロップ枠 1～2、音声枠、背景枠、PIP 枠）
プロパティ	番組のプロパティ（番組名、番組色）を設定します。
戻る	編集内容を保存せずに、番組管理の基本画面に戻ります。
保存	現在編集中の番組を保存します。
別名で保存	現在編集中の番組に名前を付けて保存します。

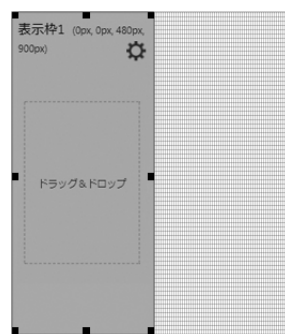
4 各枠のサイズを調整する。

表示 / テロップ / PIP 枠は  をクリックして設定を変更し、【OK】をクリックします。

項目	説明
座標 -X	表示する位置を設定します。
座標 -Y	
幅	表示する大きさを設定します。
高さ	
コンテンツを使用して いないときの背景色	コンテンツを使用していないときの背景色を設定します。 ※ 表示枠のみ
表示する	表示 / 非表示を選択します。

ご参考

- 枠をクリックすると、周りに 8 箇所のグリップが表示され、選択状態になります。このグリップをマウスでドラッグすることで、枠のサイズ変更を視覚的に操作することができます。
また、グリップ以外をマウスでドラッグすることで、枠を移動することができます。
- 【Shift】キーを押しながらドラッグすると、縦横比を保持したままサイズ変更ができます。
- 「グリッド間隔」を利用して、グリッド単位で正確に操作することができます。（ 75 ページ）
- PIP 枠は 1pt 単位での移動はできません。利用するインフォメーションディスプレイにより配置可能な位置は異なります。



5 [別名で保存] をクリックする。

保存画面が表示されます。

項目	説明
番組名	番組名を設定します。
番組色	番組色を設定します。

6 各項目を設定して [保存] をクリックする。

■ コンテンツフォルダーを割り当てる

1 割り当てる枠に応じて、コンテンツフォルダー選択エリアのメニューからコンテンツフォルダーの種類を選択する。

表示 / 背景枠は「メディアフォルダー」、テロップ枠は「テロップフォルダー」、音声枠は「音声フォルダー」を選択します。

2 フォルダーグループを選び、割り当てるコンテンツフォルダーをドラッグ&ドロップする。

- 使用できるファイル形式は、56 ページを参照してください。
- 1 つの枠に複数のコンテンツフォルダーを配置できます。配置したコンテンツフォルダー / コンテンツの一覧は、「プレイリストの表示」で確認します。



3 必要に応じて、手順 1 ~ 2 を繰り返し、番組を設定する。

PIP 枠については、78 ページをご覧ください。

4 [保存] をクリックする。

ご参考

- 割り当てたコンテンツフォルダーは、「プレイリストの表示」で削除することができます。

■ PIP 枠を設定する

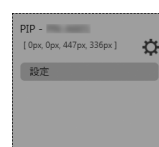
PIP 枠のサイズ、入力ソース、音声ソース等を設定します。インフォメーションディスプレイ（PN シリーズ）のみ使用できます。
プレーヤーのみの機能です。

- 1 [表示枠のレイアウト] で「PIP」のチェックボックスにチェックを入れる。



- 2 [設定] をクリックして各項目を設定する。

項目	説明
パネルのモデル名	パネルのモデル名を設定します。 ※ 表示される項目、値は選択されているモデルにより異なります。
サイズ	サイズを選択します。 アスペクト比によってサイズが異なります。
アスペクト比	画面比率を選択します。 ※ 表示する映像に合わせて選択してください。
入力ソース	入力ソースを選択します。
音声ソース	音声ソースを選択します。
方向	パネルの設置方向を選択します。 ※ インフォメーションディスプレイ本体の設定を変更することはできません。ディスプレイの設定に合わせて値を選択してください。



- 3 [OK] をクリックする。

■ 画面の表示位置を設定する

1 「画面の表示位置」を設定する。

背景の左上座標をパネルのどの位置（座標：-99999～99999）にするかを設定します。
通常は、「座標-X」、「座標-Y」とも「0」を指定します。

画面の表示位置

座標-X: 0 Y: 0

■ 画面サイズを設定する

1 「画面サイズ」を設定する。

画面サイズが背景のサイズになります。
「プリセット画面サイズ」ラジオボタンを選択し、プルダウンメニューからサイズを選択します。
通常は、パネルのサイズ（解像度）を設定してください。

画面サイズ

プリセット画面サイズ 1920 x 1080

カスタム 1920 X 1080

マルチモニタの画面サイズを計算

ご参考

- プルダウンメニューに設定したいサイズがない場合は、「カスタム」ラジオボタンを選択し、サイズを入力します。
- 複数のパネルを組みあわせて、1つのパネルのように表示するときは、「カスタム」ラジオボタンを選択して [マルチモニタの画面サイズを計算] をクリックし、モニター設置方向をそれぞれ設定します。

モニター設定

モデル名: [選択済み]

構成: 1 X 1

方向: 横 縦

OK キャンセル

表示優先順位について

番組を表示したときに、各表示枠が重なっている場合は、次の順で前面から背面に表示されます。

「PIP 枠」→「テロップ枠」→「表示枠 4」→「表示枠 3」→「表示枠 2」→「表示枠 1」→「背景」

ご参考

- 各枠や背景のコンテンツが PowerPoint や EXE ファイル、サイネージパーツ、e-Signage WEB ブラウザの場合、表示優先順位に関係なく前面に表示されます。
- 背景に動画を表示させた場合、その動画が他の表示枠よりも前面に表示されることがあります。動画は背景ではなく、表示枠 1～4 のいずれかに設定してください。

スケジュール編

スケジュール管理

基本画面について

パネルにコンテンツフォルダーや番組を表示する「スケジュール」を管理します。
スケジュールグループ管理エリアのスケジュールグループ名をクリックすると、そのスケジュールグループに
属するスケジュールがスケジュール管理エリアに表示されます。

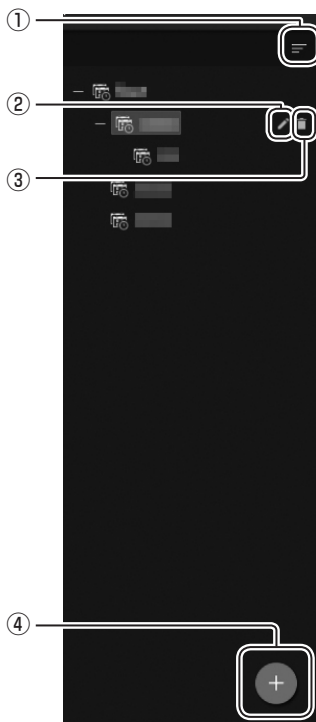


スケジュールグループ管理エリア

スケジュール管理エリア

スケジュールグループを管理する

■ スケジュールグループ管理エリア



① 折りたたみボタン

メニューを折りたたみます。

② 編集ボタン

スケジュールグループの登録情報を編集します。

③ 削除ボタン

スケジュールグループを削除します。

④ 追加ボタン

スケジュールグループを追加します。

■ スケジュールグループを作成する

1 スケジュールグループ管理エリアの **+** をクリックする。
スケジュールグループ作成画面が表示されます。

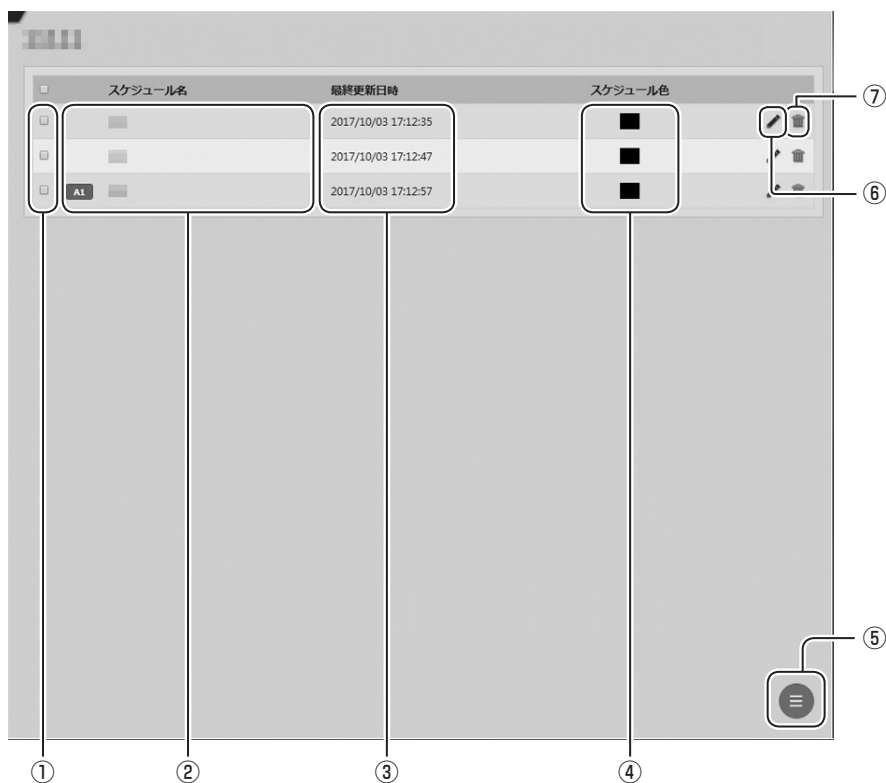
2 各項目を入力する。

項目名	説明
スケジュールグループ名 (必須)	グループの名称です。
親グループ (必須)	属するフォルダーを設定します。

3 [追加] をクリックする。

スケジュールを管理する

■ スケジュール管理エリア



① チェックボックス

複数のスケジュールを削除するときを使用します。

② スケジュール名

スケジュール名を表示します。

③ 最終更新日時

スケジュールが更新された日時を表示します。

④ スケジュール色

スケジュールに設定した色を表示します。

⑤ メニューボタン

スケジュールを追加するときを使用します。

複数のチェックボックスにチェックを入れて選択すると、一括削除のメニューが表示されます。

⑥ 編集ボタン

スケジュールを編集します。

⑦ 削除ボタン

スケジュールを削除します。

スケジュール作成

基本画面について

パネルにコンテンツフォルダーや番組を表示する「スケジュール」を作成します。
コンテンツ選択エリアのコンテンツ（コンテンツフォルダー / 番組 / パネル制御コマンド）をスケジュールエリアへドラッグ & ドロップで配置し、表示 / 制御する時間帯の設定ができます。

The screenshot displays a scheduling interface. On the left is a dark sidebar labeled 'コンテンツ選択エリア' (Content Selection Area) containing a 'プレーヤー' (Player) section and a 'コンテンツフォルダー' (Content Folder) section with a 'グループなし' (No Group) option. The main area is labeled 'スケジュール作成エリア' (Schedule Creation Area) and contains a grid for scheduling. The grid has columns for dates from 03/03 (Sun) to 03/09 (Sat) and rows for time slots from 00:00 to 23:00. A 'タイムテーブル' (Time Table) label is on the left of the grid. Above the grid are controls for '表示単位: 60分' (Display Unit: 60 min) and a date range '2019年3月3 - 9日' with navigation icons for '今日' (Today), '日' (Day), '週' (Week), and '月' (Month). At the top right of the grid are buttons for '削除' (Delete), '対応情報' (Response Info), '期間を設定' (Set Period), 'プロ/ライ' (Pro/Live), '戻る' (Back), '保存' (Save), and '別名で保存' (Save with Alias). Below the grid is a label 'スケジュールエリア' (Schedule Area).

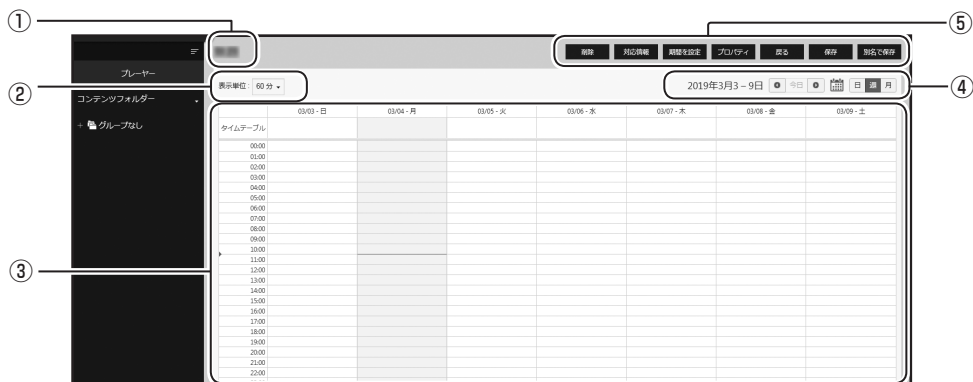
	03/03 - 日	03/04 - 月	03/05 - 火	03/06 - 水	03/07 - 木	03/08 - 金	03/09 - 土
タイムテーブル							
00:00							
01:00							
02:00							
03:00							
04:00							
05:00							
06:00							
07:00							
08:00							
09:00							
10:00							
11:00							
12:00							
13:00							
14:00							
15:00							
16:00							
17:00							
18:00							
19:00							
20:00							
21:00							
22:00							
23:00							

コンテンツ選択エリア

スケジュール作成エリア

スケジュールエリア



■ スケジュール作成エリア



※「週」表示の画面例です。

項目名	説明	
① スケジュール名	スケジュール名が表示されます。開いたスケジュールの内容が変更されると、スケジュール名の後ろに「* (アスタリスク)」が表示されます。	
② 表示単位	スケジュールエリアの表示単位を選択できます。	
③ スケジュールエリア	再生スケジュールを設定します。(🔊 87ページ)	
④	表示範囲	スケジュールエリアの表示範囲を設定します。
		表示範囲を移動します。 <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">◀</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">今日</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">▶</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">◀</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">今日</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">▶</div> </div>
		<div style="text-align: center;">📅</div>
		<div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">日</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">週</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">月</div> </div>
⑤	削除	割り当てたコンテンツを削除します。削除条件の設定ができます。
	対応情報	パネル（インフォメーションディスプレイ）の各モデルが対応している機能や、入力切替時の入力番号を表示します。
	期間を設定	スケジュールエリアに表示する時間帯の範囲を設定します。
	プロパティ	スケジュールのプロパティ（スケジュール名、スケジュール色）を設定します。
	戻る	編集内容を保存せずに、スケジュール管理の基本画面に戻ります。
	保存	現在編集中のスケジュールを保存します。
	別名で保存	現在編集中のスケジュールに名前を付けて保存します。

スケジュールを作成する

- 1 スケジュール管理エリアの  をクリックし、「追加」を選択する。
- 2 配信先のプレーヤーソフトウェアの種類を選択する。
- 3 「コンテンツフォルダー」「番組」「パネル制御コマンド」から割り当てるコンテンツを選択する。
「コンテンツフォルダー」「番組」の場合は、グループを選択し、割り当てるコンテンツを表示します。
- 4 割り当てるコンテンツをスケジュールエリアにドラッグ&ドロップする。
「月」表示の場合、または、時間帯枠の上のタイムテーブル枠にドラッグすると終日再生となります。
制御コマンドについては 90 ページを参照してください。
コンテンツ（コンテンツフォルダー / 番組）の繰り返し登録をすることができます。コンテンツ選択エリアの  をクリックし、「繰り返し」タブで表示される画面で繰り返す条件を設定します。
再生開始時刻： 繰り返し登録の開始時刻
再生終了時刻： 繰り返し登録の終了時刻
再生開始間隔： コンテンツの再生が開始される間隔
再生時間： コンテンツの再生時間

ご参考

- ・「再生終了時刻」までに 1 回分の再生を終了できない回は、スケジュールに登録されません。「再生終了時刻」までに終了できる回までが登録されます。
- ・非常に短い再生開始間隔と再生時間によって 1 日に繰り返し登録を行った場合、それらをタイムテーブルとして保存して長期間に割り当てを行おうとすると、ソフトウェアの動作が不安定になることがあります。以下の程度での実施をお勧めします。
例) ・再生開始時刻： 00:00 再生終了時刻：24:00 再生開始間隔：5 分 再生時間：5 分
・タイムテーブルの割り当て期間： 再生期間：2019/1/1 ~ 2019/12/31 (1 年間)

- 5 必要に応じて、時間帯を変更する。
配置した内容をドラッグまたはクリックして変更します。

- 6** 必要に応じて、手順 3～5 を繰り返し、1 日の再生スケジュールを設定する。
- 7** 設定した 1 日のスケジュールを他の日に使用したい場合、タイムテーブルとして登録する。(☞ 89 ページ)

- 8** [別名で保存] をクリックする。

保存画面が表示されます。

項目	説明
スケジュール名	スケジュール名を設定します。
スケジュール色	スケジュール色を設定します。



- 9** 各項目を設定して [保存] をクリックする。

■ 割り当てたコンテンツフォルダー / 番組 / パネル制御コマンドを調整する

再生開始時間を変更する

スケジュールエリアに割り当てたコンテンツフォルダー / 番組 / パネル制御コマンドは、ドラッグして移動できます。

再生終了時間を変更する

スケジュールエリアに割り当てたコンテンツフォルダー / 番組にマウスカーソルを重ねると、下部にグリップが表示されます。

グリップをマウスでドラッグすることで、コンテンツフォルダー / 番組の再生終了時間を視覚的に操作することができます。

再生期間を変更する / 削除する

スケジュールエリアに割り当てたコンテンツフォルダー / 番組 / パネル制御コマンドをクリックし、表示された画面で変更できます。表示された画面で削除することもできます。

■ 同期できるタイムテーブルを登録する

すでに作成した1日の再生スケジュールをタイムテーブルとして登録することで、別の日付のスケジュールとして使用（同期）できます。



- 1 保存したいタイムテーブルの日付の時間帯枠上のタイムテーブル枠をクリックする。

保存画面が表示されます。

項目	説明
タイムテーブル名	タイムテーブル名を設定します。
タイムテーブル色	タイムテーブル色を設定します。



- 2 各項目を設定して [OK] をクリックする。

■ タイムテーブルを同期する

1 タイムテーブルを同期したい日付のタイムテーブル枠をクリックする。

同期画面が表示されます。

項目	説明
既存のタイムテーブル	同期するタイムテーブル名を選択します。
再生期間	同期する期間を選択します。
上書き	チェックを入れると、すでに設定されているスケジュールをタイムテーブルで上書きします。
オプション設定	同期するタイムテーブルを、繰り返して登録することができます。曜日、週を指定します。

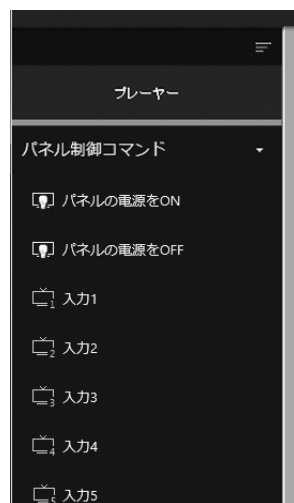


2 各項目を設定して [OK] をクリックする。

■ パネル制御コマンド

パネル制御コマンド一覧

コマンド名	内容
パネルの電源を ON	パネル（ディスプレイ）の電源を ON にします。
パネルの電源を OFF	パネル（ディスプレイ）をスタンバイ状態にします。
入力“番号”	パネル（ディスプレイ）の入力ソースを切り換えます。
TV	パネル（ディスプレイ）の入力ソースを「TV 入力」に切り換えます。 TV に切り換えたときのチャンネル指定はできません。 TV で直前まで選択されていたチャンネルが表示されます。



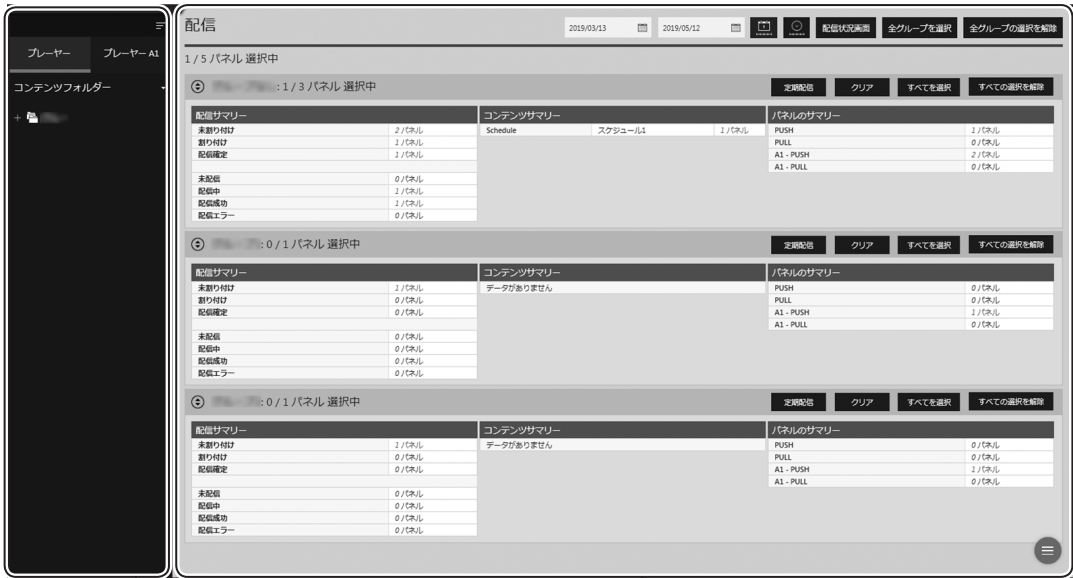
配信編

配信

登録しているパネルに配信データを割り付けて配信します。
パネルごとに今すぐ / 日時指定配信、パネルグループごとに定期配信することができます。

基本画面について

パネルグループごとの配信情報を確認することができます。



配信データ選択エリア

パネル表示エリア

■ 配信データ選択エリア



① 折りたたみボタン

メニューを折りたたみます。

② カテゴリ選択ボタン

コンテンツフォルダー、番組、スケジュール、e-Signage 形式スケジュールからパネルに割り付けるカテゴリを選択します。

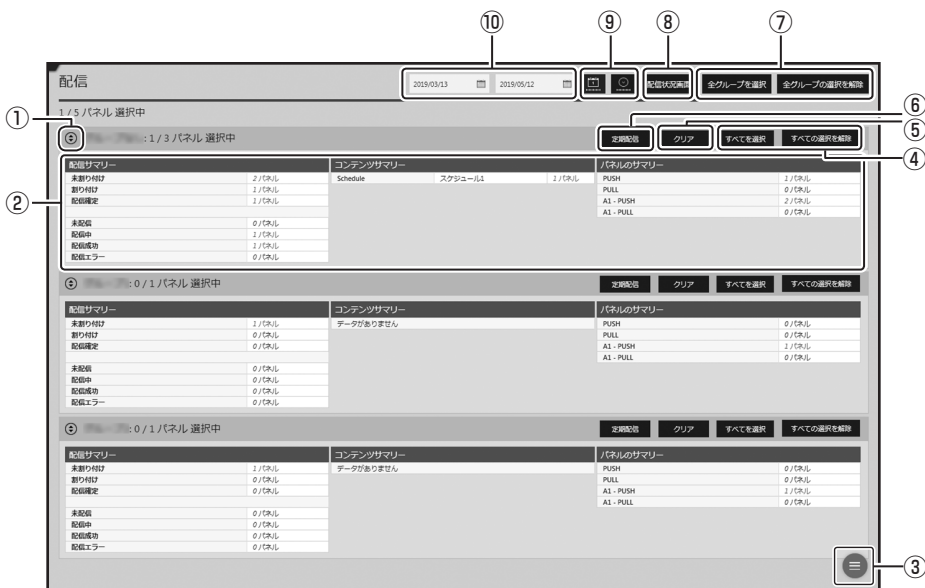
③ 選択エリア

割り付ける配信データを選択します。

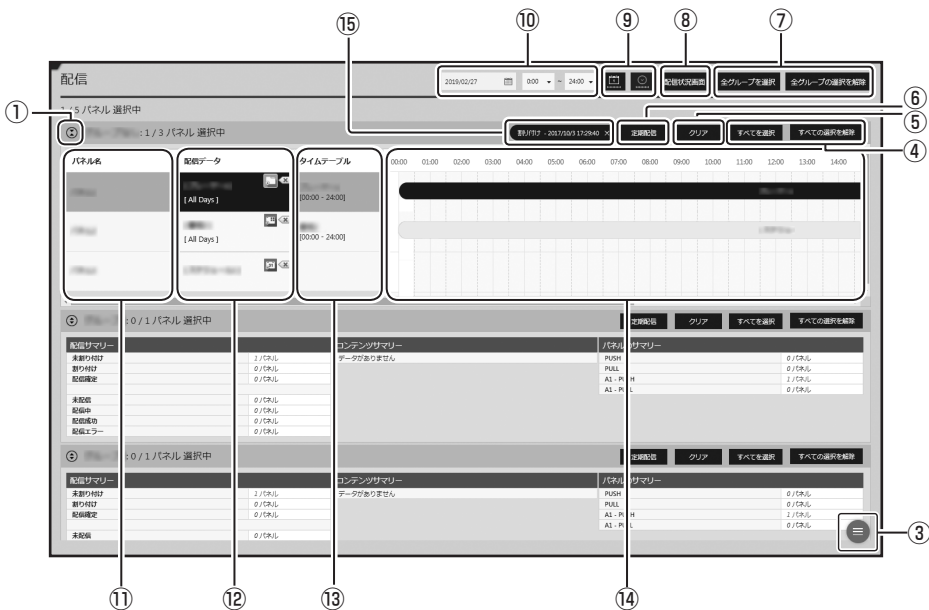
選択しているカテゴリの配信データのみが表示されます。

■ パネル表示エリア

パネルグループ表示画面



パネル表示画面



※ 時間単位表示の画面例です。

① 表示切替ボタン（パネルグループ / パネル）




パネルグループ表示画面とパネル表示画面を切り換えます。

② 表示エリア

「①表示切替ボタン」をクリックすることで表示が切り換わります。
 パネルグループ表示画面では、パネルグループの配信状況（配信サマリー）の他、コンテンツやパネルの情報を表示します。パネル数をクリックすると、該当するパネルのみを絞り込んだパネル表示画面が表示されます。
 パネル表示画面で、各パネルに配信データを割り付けます。（☞ 96 ページ）

③ メニューボタン

クリックすると、次のメニューが表示されます。

	スケジュールを確定し、配信を予約します。 スケジュールを確定するパネルを選び、このアイコンをクリックします。
	パネルに割り付けられ確定したスケジュールの確定を解除します。 確定を解除するパネルを選び、このアイコンをクリックします。
	配信エラーとなったパネルに配信データを送信し直します。

ご参考

配信待ち・配信中のスケジュールを解除するときは、でキャンセルしてください。

④ すべてを選択 / すべての選択を解除ボタン

パネルグループのすべてのパネルを選択または非選択状態にします。

⑤ クリアボタン

スケジュールを割り付ける前の状態に戻します。
 割り付け前の状態に戻したいパネルを選び、このアイコンをクリックします。配信が確定しているスケジュールは、解除してから操作してください。

⑥ 定期配信ボタン

選択したパネルグループに定期配信を設定します。曜日と時間を選択し「追加」をクリックします。
 配信承認機能を有効にしている場合（☞ 39 ページ）は表示されません。

⑦ 全グループを選択 / 全グループの選択を解除ボタン

全グループを選択または非選択状態にします。

⑧ 表示切替ボタン（配信画面 / 配信状況画面）




配信画面と配信状況画面を切り換えます。

⑨ 表示単位

パネル表示画面の日単位表示（）と時間単位表示（）を切り換えます。

⑩ 表示範囲

配信スケジュールを表示する範囲を選択します。

日単位表示		表示する日（開始日と終了日）を指定します。 クリックして表示されるダイアログボックスから選択してください。
2017/08/24 	2017/10/23 	
時間単位		表示する日時を指定します。 クリックして表示されるダイアログボックスから表示する日をクリックし、開始時刻と終了時刻をプルダウンメニューから選択してください。
2017/08/24 	0:00 ▼ ~ 24:00 ▼	

⑪ パネル名

パネル名が表示されます。

パネル名の横にパネル種別、配信方式がアイコンで表示されます。

⑫ 配信データ

割り付けられている配信データの情報が表示されます。

⑬ タイムテーブル（時間単位表示のみ）

対象日に設定されているタイムテーブルが表示されます。

⑭ 配信スケジュール

パネルに割り付けられている配信スケジュールの情報が表示されます。

⑮ 絞り込み表示条件

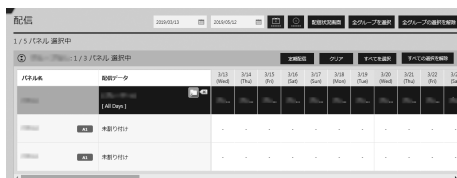
②で絞り込み表示をしている場合に、絞り込みされた条件が表示されます。「×」をクリックすると絞り込みを解除します。

配信する／配信を予約する

配信データをパネルに割り付けて配信したり、配信を予約したりします。

1 パネル表示画面に切り換え、配信データを割り付けたいパネルを表示する。(☞ 93 ページ)

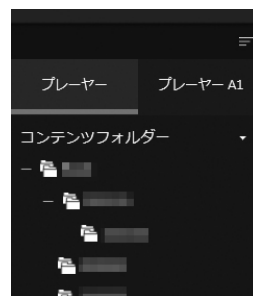
- 条件に合ったパネルのみを表示させることができます。(☞ 94 ページ)



2 配信データ選択エリアで割り付けたい配信データを表示する。(☞ 92 ページ)

ご参考

e-Signage 形式のスケジュールをアップロードしておくことで、割り付けることができます。(☞ 167 ページ)



3 配信対象のパネルをすべてクリックし、選択状態にする。

4 配信データをパネル表示エリアの配信するパネル名にドラッグ & ドロップする。

5 → の順にクリックする。

設定画面が表示されます。

6 すぐに配信する場合は、「今すぐ配信する」を選択する。配信を予約する場合は、「指定した日時に配信する」を選択し、日時を指定する。

 A screenshot of the '配信日時とオプションの選択' (Select Distribution Date and Options) dialog box. It has two main sections: '配信方式' (Distribution Method) and '配信オプション' (Distribution Options). Under '配信方式', there are two radio buttons: '今すぐ配信する' (Distribute immediately) which is selected, and '指定した日時に配信する' (Distribute at the specified date and time). The second option has a date field set to '2017/10/17', a time dropdown set to '11', and a duration dropdown set to '50'. Under '配信オプション', there are three checkboxes: '配信開始前に表示用端末の電源をONする(PUSH型配信のパネルのみ)' (Turn on display terminal power before distribution (PUSH-type distribution panels only)), '配信終了後に表示用端末の電源をOFFする' (Turn off display terminal power after distribution), and '配信済みコンテンツとの差分データだけを配信する' (Distribute only differential data from distributed content). At the bottom, there are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.


7 必要に応じて配信オプションにチェックをつける。

項目名	説明
配信開始前に表示用端末の電源を ON する	表示用端末が起動していないとき、表示用端末の電源を入れた後で配信します。 PULL 型配信では選択できません。
配信終了後に表示用端末の電源を OFF する	配信を終了した後で、表示用端末の電源を切ります。
配信済みコンテンツとの差分データだけを配信する	未配信コンテンツ（ファイル名、ファイル作成日時、データサイズ等が異なるデータ）のみを配信し、配信済みコンテンツは配信しません。

8 [OK] をクリックする。

配信が確定し、割り当てられたコンテンツに確定マーク（）が表示されます。

ご参考

- 配信が正しく行われたかどうか、配信状況画面で確認してください。（ 98 ページ）
- 配信には時間がかかります。また、複数パネルに同時配信でも、実際は順番に配信されます。そのため、配信には時間差が発生します。
- 過去の配信データは配信されません。本日以降の配信データが配信されます。

配信状況

配信状況を確認・キャンセル・再送することができます。



- 1 パネル表示エリアで⑧表示切換ボタン（配信画面／配信状況画面）をクリックする。



- 2 配信状況を確認する。

フェイズ 1（配信確定）	割り付けられた配信データと配信が確定した日時が表示されます。
フェイズ 2（配信 スケジュール）	配信が予約されている日時が表示されます。
フェイズ 3（配信開始）	配信を開始した日時が表示されます。
フェイズ 4（配信完了）	配信が完了した日時が表示されます。 配信が正しく行われなかった場合は、その理由が表示されます。


- 3 必要に応じて  をクリックし、操作を行う。

	配信が完了したパネルに対して、配信確定状態を解除します。または、配信が完了していない配信データの配信を中止し、確定を解除します。 配信を中止するパネルを選び、このアイコンをクリックします。
	配信エラーとなったパネルに配信データを送信し直します。 再送信するパネルを選び、このアイコンをクリックします。

USB メモリー /SD メモリーカード配信

- 1 左のエリアで「プレーヤー」または「プレーヤー A1」を選択する。
- 2 「コンテンツフォルダー」、「番組」または「スケジュール」を選択する。
- 3 配信するデータを表示する。
- 4 配信するデータを右のエリアの破線枠内にドラッグ & ドロップする。
- 5 右上の [更新] ボタンをクリックする。
- 6 「ユーティリティの起動」に表示されたアイコンをクリックする。
配信データによってはパッケージ（書庫）ファイルの作成に時間がかかり、すぐにアイコンが表示されない場合があります。その場合は、再度 [更新] ボタンをクリックしてみてください。
- 7 書き出し先のドライブを選択し、[OK] をクリックする。
- 8 デバイスの停止を確認する画面が表示されるため、[はい] をクリックし、デバイスを取り出す。
- 9 配信する表示用端末に、書き込みを行った外部記憶装置を挿入する。
自動的にデータが配信され、完了すると USB メモリーなどの外部記憶装置は自動的に停止します。メッセージを確認し、取り外してください。

ご参考

- 転送が完了するまで、USB メモリーなどの外部記憶装置をパソコンから取り外さないでください。
- USB メモリーなどの外部記憶装置によっては、正常に配信できない場合があります。
- 「通常モード」に設定してください。「コンテンツ直接配信モード」に設定していると配信できません。（ 155 ページ）
- プレーヤー A1 の場合、他のアプリケーションの画面が表示されていると、表示用端末に USB メモリー / SD カードを挿入しても配信が行われません。プレーヤー A1 を起動し、プレーヤー A1 の設定画面やサイネージ再生画面を表示させてから、USB メモリー /SD カードを挿入してください。
- 1 つの外部メモリーに対して、プレーヤーとプレーヤー A1 向けのデータを同時に格納することはできません。既にプレーヤー向けのデータが格納されている外部メモリーに対してプレーヤー A1 向けのデータを配信すると、プレーヤー向けのデータは外部メモリーから削除されます。

■ WEB クライアント使用時の配信


- 1** 左のエリアで「プレーヤー」または「プレーヤー A1」を選択する。
- 2** 「コンテンツフォルダー」、「番組」または「スケジュール」を選択する。
- 3** 配信するデータを表示する。
- 4** 配信するデータを右のエリアの破線枠内にドラッグ & ドロップする。
- 5** 右上の [更新] ボタンをクリックする。
- 6** 「ダウンロード」に表示されたアイコンをクリックする。
書庫ファイル（拡張子 .cab）をダウンロードします。ダウンロード先は、使用しているブラウザの設定を確認してください。
- 7** SHARP e-Signage S 各種ツールから外部メモリー書き出しツールを起動します。
- 8** 表示されたダイアログからダウンロードした書庫ファイルを開きます。
- 9** 書き出し先のドライブを選択し、[OK] をクリックする。
- 10** デバイスの停止を確認する画面が表示されるため、[はい] をクリックし、デバイスを取り出す。
- 11** 配信する表示用端末に、書き込みを行った外部記憶装置を挿入する。
自動的にデータが配信され、完了すると USB メモリーなどの外部記憶装置は自動的に停止します。メッセージを確認し、取り外してください。

緊急配信

臨時番組


臨時に番組を配信したり、その配信状況を確認したりすることができます。
番組停止コマンドを配信し、臨時番組を途中で止めることもできます。

ご参考

- ・画面と操作方法は、「配信」と共通です。（「配信」 92 ページ）
- ・WEB サーバー版、Pro 版、ネットワーク版のみの機能です。

■ 臨時番組を配信する

臨時番組をパネルに割り付けて配信します。

1 臨時番組配信画面で、「配信する／配信を予約する」手順 1～5（ 96 ページ）と同様に操作を行う。
設定画面が表示されます。

2 臨時番組の表示開始方法を選択する。

項目名	説明
配信終了後、すぐに臨時番組の表示を開始する	配信終了後、すぐに番組を表示します。
指定時刻に臨時番組の表示を開始する	設定した時刻に番組を表示します。
再生時間	再生時間を設定します。



3 必要に応じて配信オプションにチェックをつける。

項目名	説明	
配信済みコンテンツとの差分データだけを配信する	未配信コンテンツ（ファイル名、ファイル作成日時、データサイズ等が異なるデータ）のみを配信し、配信済みコンテンツは配信しません。	
配信データ再生前後にパネル制御を行う	チェックを入れると、下記の項目が表示されます。	
	配信データ再生前にパネルの電源を ON する	パネルの電源を入れた後、臨時番組を再生します。
	配信データ再生前にパネルの入力を以下に切り換える	指定の入力に変えた後で、臨時番組を再生します。
	配信データ再生後にパネルの電源を OFF する	臨時番組の再生が終了した後、パネルの電源を切ります。
配信データ再生後にパネルの入力を以下に切り換える	臨時番組の再生が終了した後、指定の入力に変えます。	

4 [OK] をクリックする。

配信が確定し、割り付けデータに確定マーク（）が表示されます。

ご参考

- ・既に時刻が過ぎていた場合、臨時番組は表示されません。
- ・臨時番組の表示終了後、通常番組の表示に変わります。臨時番組が終了した時刻に本来表示されているはずの番組が始めから表示されます。
- ・臨時番組の終了は、毎分丁度（00 秒）に確認されます。臨時番組の表示が終わり本来の番組が始まるのは、臨時番組終了後の最初の 00 秒時点となります。
- ・臨時番組は、1 パネルにつき 1 つしか割り付けできません。
- ・配信には時間がかかります。また、複数パネルに同時配信でも、実際は順番に配信されます。そのため、配信には時間差が発生します。



■ 配信状況

配信状況を確認・キャンセル・再送することができます。

1 配信状況を確認する。


フェイズ 1（配信確定）	割り付けられた配信データと配信が確定した日時が表示されます。
フェイズ 2（配信開始）	配信を開始した日時が表示されます。
フェイズ 3（配信完了）	配信が完了した日時が表示されます。 配信が正しく行われなかった場合は、その理由が表示されます。

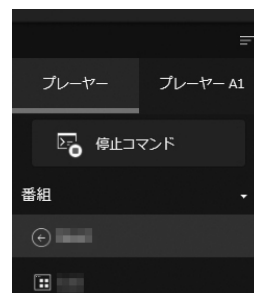
2 必要に応じて をクリックし、操作を行う。

	配信が完了したパネルに対して、配信確定状態を解除します。または、配信が完了していない配信データの配信を中止し、確定を解除します。 配信を中止するパネルを選び、このアイコンをクリックします。
	配信エラーとなったパネルに配信データを送信し直します。 再送信するパネルを選び、このアイコンをクリックします。

■ 臨時番組を停止する

表示用端末で再生されている臨時番組を停止することができます。

- 1 対象のパネルをすべてクリックし、選択状態にする。
- 2 確定を解除する（ 98 ページ）
- 3 配信データ選択エリアから、[停止コマンド] をパネル表示エリアヘドラッグ&ドロップする。
- 4 配信する。








緊急テロップ



臨時にテロップを配信したり、その配信状況を確認したりすることができます。

ご参考

WEB サーバー版、Pro 版のみの機能です。

- 1 配信データ選択エリア（左側）で、 →  の順に選択する。
テロップファイル追加の画面が表示されます。
- 2 緊急テロップ用ファイルを作成する。
作成手順は、「テロップを作成する」（[62 ページ](#)）と同様です。
- 3 配信データをパネル表示エリア（右側）の配信するパネル名にドラッグ & ドロップする。
- 4 パネル表示エリアで、 →  の順に選択する。
配信が確定し、割り付けデータに確定マーク（）が表示されます。

ご参考

- ・ 緊急テロップの表示位置は、表示用端末の e-Signage クライアントスケジューラで指定します。
- ・ 緊急テロップ表示中は、もとの番組で表示されていたテロップは表示されません。
- ・ 配信には時間がかかります。また、複数パネルに同時配信でも、実際は順番に配信されます。そのため、配信には時間差が発生します。
- ・ 配信データ選択エリア（左側）で、 →  の順に選択して、e-Signage 形式の緊急テロップをアップロードすることができます。



■ 配信状況

配信状況を確認・キャンセル・再送することができます。

- 1 配信状況を確認する。

フェイズ 1（配信確定）	割り付けられた配信データと配信が確定した日時が表示されます。
フェイズ 2（配信開始）	配信を開始した日時が表示されます。
フェイズ 3（配信完了）	配信が完了した日時が表示されます。 配信が正しく行われなかった場合は、その理由が表示されます。

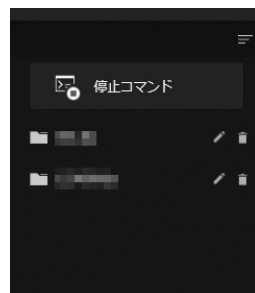
- 2 必要に応じて  をクリックし、操作を行う。

	配信が完了したパネルに対して、配信確定状態を解除します。または、配信が完了していない緊急テロップの配信を中止し、確定を解除します。 配信を中止するパネルを選び、このアイコンをクリックします。
	配信エラーとなったパネルに緊急テロップを送信し直します。 再送信するパネルを選び、このアイコンをクリックします。

■ 緊急テロップを停止する

表示用端末で再生されている緊急テロップを停止することができます。

- 1** 対象のパネルをすべてクリックし、選択状態にする。
- 2** 確定を解除する (🗑️ 98 ページ)
- 3** 配信データ選択エリアから、[停止コマンド] をパネル表示エリアへドラッグ&ドロップする。
- 4** 配信する。



状態監視・制御編

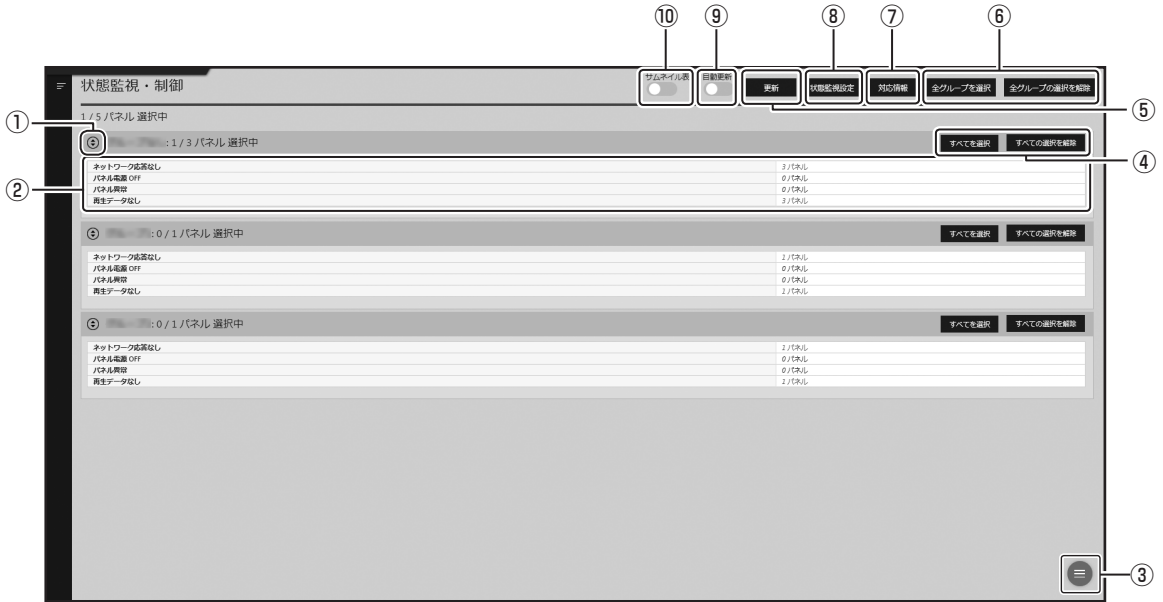
監視・制御

パネルの状態を取得し、確認することができます。
また、表示用端末やパネルの電源などを制御することができます。

ご参考

- パネルの状態監視（ディスプレイ状態監視）は、インフォメーションディスプレイ（PN シリーズ）、タッチディスプレイで利用できます。
- WEB サーバー版、Pro 版、ネットワーク版のみの機能です。

基本画面について



① 表示切換ボタン

クリックすると、パネルグループごとに状態を表示します。

パネル名	プレーヤーID ホスト名またはIPアドレス	状態監視設定	通信状態	ネットワーク応答	パネル状態	現在表示中のデータ	ファイル ソフトウェア
		自動更新する(毎5分) 画面をキャプチャーする	監視完了 2019/03/13 12:07 制御-	応答	不明		
A1		自動更新しない 画面をキャプチャーしない	監視- 制御-	不明	不明	不明	不明
A1		自動更新しない 画面をキャプチャーしない	監視- 制御-	不明	不明	不明	不明

次の項目が表示されます。

パネル名	パネル名が表示されます。パネル名の横にパネル種別、配信方式がアイコンで表示されます。	
プレーヤー ID	パネルのホスト名または IP アドレスと更新日時が表示されます。	
状態監視設定	パネルごとに状態監視設定の内容が表示されます。 設定の変更は、クリックで表示されるメニューで行います。	
	自動更新する	パネルの自動監視を行う際、自動更新をするかしないかを設定します。
	自動更新しない	
	画面キャプチャする	パネルの状態を取得する際、表示用端末が表示している内容を画像として取得するかしないかを設定します。 取得した画像はサムネイル表示の際に表示されます。
画面キャプチャしない		
通信状態	状態監視と制御の通信状態が表示されます。	
ネットワーク応答	通信の結果、応答の有無が表示されます。	
パネル状態	取得したパネルの状態が表示されます。	
現在表示中のデータ	現在表示中のデータ名が表示されます。	
ファイルバージョン、ソフトウェアライセンス情報	表示用端末にインストールされている e-Signage S プレーヤーのバージョンおよびソフトウェアライセンス情報が表示されます。	
PC システム情報	表示用端末のシステム情報が表示されます。	
システムファイル、最終取得日時	表示用端末からシステムファイルを取得した日時を表示します。	

② 表示エリア

パネルの状態（ネットワーク応答なし、パネル電源 OFF、パネル異常、再生データなし）ごとのパネル数を表示します。

パネル数をクリックすると、該当するパネルのみを絞り込んだ状態表示の画面が表示されます。

③ メニューボタン

制御メニューが表示されます。

システムファイルを取得	表示用端末のシステムファイルを取得することができます。(109 ページ)
端末 / パネル制御	表示用端末やパネルの制御を行います。(108 ページ)
手動で状態を取得	監視通信を手動で実行します。
キャンセル	状態監視または制御を一時中断します。

④ すべてを選択 / すべての選択を解除ボタン

パネルグループのすべてのパネルを選択または非選択状態にします。

⑤ 更新ボタン

状態の表示を更新します。

⑥ 全グループを選択 / 全グループの選択を解除ボタン

すべてのパネルグループを選択または非選択状態にします。

⑦ 対応情報ボタン

パネル（インフォメーションディスプレイ）の各モデルが対応している機能や、入力切替時の入力番号を表示します。

⑧ 状態監視設定ボタン

状態監視設定を行います。

⑨ 自動更新 ON/OFF ボタン

自動更新の ON/OFF を切り換えます。

[自動更新する] に設定されているパネルの情報を定期的を取得し、表示します。

情報を取得する間隔は、状態監視設定で変更することができます。(☞ 110 ページ)

⑩ サムネイル表示 ON/OFF ボタン

サムネイル表示とリスト表示を切り換えます。

サムネイル表示では、画面をキャプチャする設定の場合、状態の表示画面で取得したパネルの画面がアイコンやサムネイルで表示されます。

■ 表示用端末 / パネルを制御する

1 制御したいパネルを選択する。

2  → [端末 / パネル制御] の順に選択し、メニューを選んでクリックする。

メニュー名	内容
表示用端末の電源を ON	選択したパネルの表示用端末の電源を ON します。 PULL 型配信では行えません。
表示用端末の電源を OFF	選択したパネルの表示用端末の電源を OFF します。
表示用端末の再起動	選択したパネルの表示用端末を再起動します。
表示用端末の時計合わせ	表示用端末の時計を管理用 PC の時刻に合わせます。
パネルの電源を ON	選択したパネルの電源を ON します。
パネルの電源を OFF	選択したパネルの電源を OFF します。
再生を一時中断	選択したパネルの再生を一時中断します。
再生を再開	選択したパネルで一時中断されている再生を再開します。
入力“番号”、TV	選択したパネルの入力を切り換えます。

確認メッセージが表示されます。

3 [OK] をクリックする。

処理が実行されます。

■ システムファイルを取得する

表示用端末のシステムファイルを取得することができます。(システムファイルはサービス技術者が使用します。)

1 システムファイルを取得したいパネルを選択する。

2  → [システムファイルを取得] の順に選択し、メニューを選んでクリックする。

メニュー名	内容
ログファイルの取得	ログファイルを取得します。
設定ファイルを取得	設定ファイルを取得します。
マイコンテンツリストを取得	マイコンテンツリストを取得します。
ネットワーク情報を取得	ネットワーク情報を取得します。
DirectX 情報を取得	DirectX 情報を取得します。
すべて取得	すべてのシステムファイルを取得します。

処理が実行されます。

ご参考

- 最新のシステムファイルのみ取得することができます。
- 表示用端末の状態、取得するファイルによっては、取得に時間がかかる場合があります。
- パネル状態の取得中は、システムファイルを取得することはできません。パネルの自動監視を行っている場合は、自動監視を停止してください。

■ 状態監視設定を行う

1 [状態監視設定] をクリックする。
状態監視設定画面が表示されます。

2 各項目を設定する。



メニュー名	内容
使用する状態取得機能	
パネル (PN シリーズ) の状態取得	チェックすると、表示用端末からパネルの情報を取得します。
現在表示中のデータ	チェックすると、表示用端末から現在表示している番組の情報を取得します。
ライセンス情報とファイルバージョンの取得	チェックすると、ライセンスコードと e-Signage S プレーヤーのファイルバージョンを取得します。
PC システム情報の取得	チェックすると、表示用端末から PC システム情報を取得します。
自動更新時の状態取得間隔	
取得間隔	自動更新時に状態取得する間隔を選びます。


ご参考

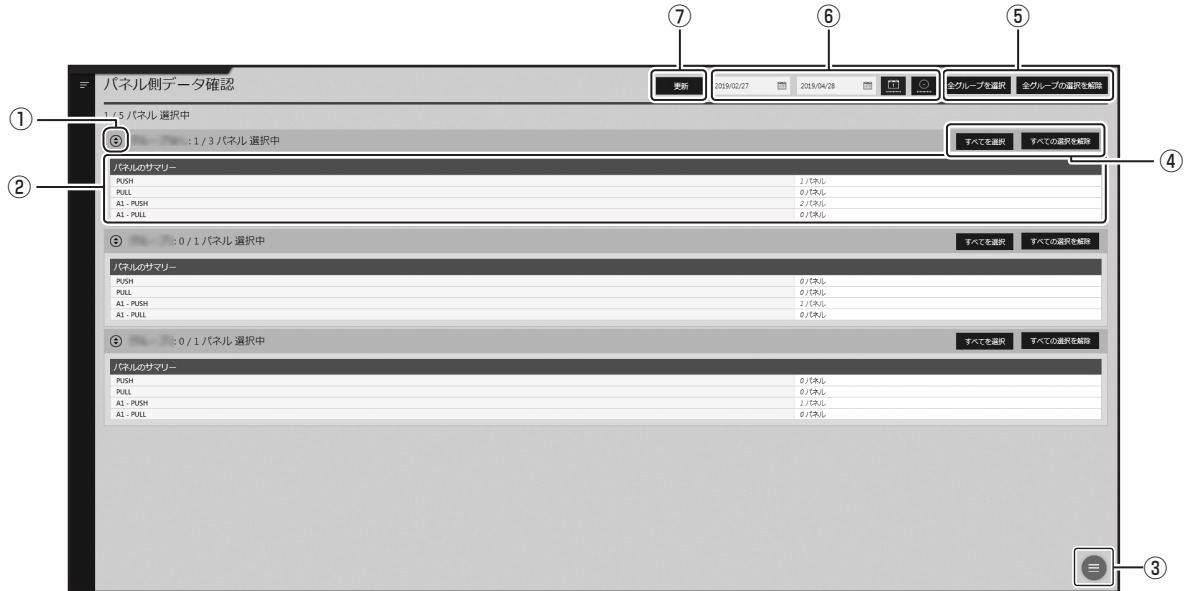
パネルの登録台数が多い場合、取得間隔内に状態の取得が行えない場合があります。その場合は、取得間隔をより広く設定してください。

パネル側データ確認

パネルに割り付けられた配信データの状況を取得し、確認することができます。

基本画面について

ダッシュボード画面で [状態監視・制御] の  をクリックし、[パネル側データ確認] を選択します。



① 表示切換ボタン

クリックすると、パネルグループごとに配信データ確認画面を表示します。



② 表示エリア

種別や配信方式ごとのパネル数を表示します。

パネル数をクリックすると、該当するパネルのみを絞り込んだ配信データ確認画面が表示されます。

③ メニューボタン

クリックすると、次のメニューが表示されます。

	選択したパネルの配信データ状況を取得します。
	選択したパネルの配信データ状況の取得を中止します。



④ すべてを選択 / すべての選択を解除ボタン


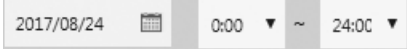
パネルグループのすべてのパネルを選択または非選択状態にします。

⑤ 全グループを選択 / 全部グループの選択を解除ボタン

すべてのパネルグループを選択または非選択状態にします。

⑥ 表示単位

確認画面の日単位表示（）と時間単位表示（）を切り換えます。

日単位表示	
	確認画面に表示する日（開始日と終了日）を指定します。 クリックして表示されるダイアログボックスから開始日（終了日）をクリックしてください。
時間単位	
	確認画面に表示する日時を指定します。 クリックして表示されるダイアログボックスから表示する日をクリックし、開始時刻と終了時刻をプルダウンメニューから選択してください。

⑦ 更新ボタン

確認画面の状態表示を更新します。

■ 配信データの状況を確認する

1 確認したいパネルを選択する。

2  →  の順に選択する。

ユーザー管理編

ユーザー管理

ご参考

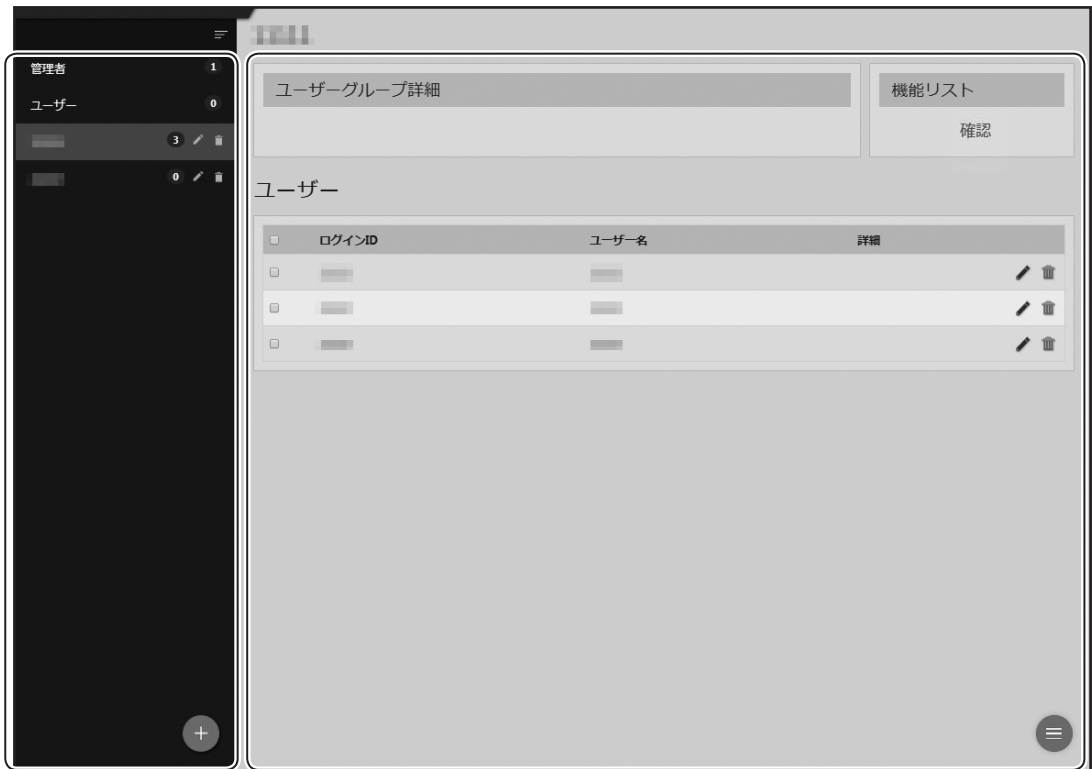
WEB サーバー版のみの機能です。

基本画面について

管理用 PC にログインするユーザー情報を管理します。

ユーザーグループを作成し、ユーザーを管理することができます。(マルチユーザー管理)

ユーザーグループ管理エリアのユーザーグループ名をクリックすると、そのユーザーグループに属するユーザーがユーザー管理エリアに表示されます。

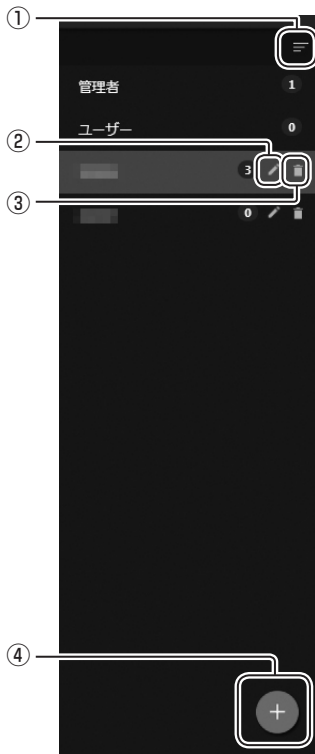


ユーザーグループ管理エリア

ユーザー管理エリア

ユーザーグループを管理する

■ ユーザーグループ管理エリア



① 折りたたみボタン

メニューを折りたたみます。

② 編集ボタン

ユーザーグループの登録情報を編集します。

③ 削除ボタン

ユーザーグループを削除します。

④ 追加ボタン

ユーザーグループを追加します。

ユーザーグループを作成する

ユーザーグループごとに操作権限を設定することができます。

- 1 ユーザーグループ管理エリアの **+** をクリックする。
ユーザーグループ作成画面が表示されます。
- 2 各項目を入力する。

ユーザーグループ作成

ユーザーグループ名

詳細

全機能

- 配信 詳細
- 臨時番組配信 詳細
- 緊急テロップ配信 詳細
- コンテンツフォルダー管理 詳細
- 番組管理 詳細
- スケジュール管理 詳細
- 状態監視・制御 詳細
- パネル側データ確認 詳細
- USBメモリー/SDメモリーカード配信 詳細
- ユーザー管理 詳細
- パネル管理 詳細
- システムログ 詳細
- プレーヤー更新 詳細
- インポート 詳細
- エクスポート 詳細

項目名	説明
ユーザーグループ名 (必須)	グループの名称です。
詳細	ユーザーグループに関するコメントです。
全機能	チェックすると以下のすべての操作権限がチェックされます。
<input type="checkbox"/> 配信 <input type="checkbox"/> 臨時番組配信 <input type="checkbox"/> 緊急テロップ配信 <input type="checkbox"/> コンテンツフォルダー管理 <input type="checkbox"/> 番組管理 <input type="checkbox"/> スケジュール管理 <input type="checkbox"/> 状態監視・制御 <input type="checkbox"/> パネル側データ確認 <input type="checkbox"/> USBメモリー / SDメモリーカード配信 <input type="checkbox"/> ユーザー管理 <input type="checkbox"/> パネル管理 <input type="checkbox"/> システムログ <input type="checkbox"/> プレーヤー更新 <input type="checkbox"/> インポート <input type="checkbox"/> エクスポート	チェックすると各項目を管理する権限が設定されます。(ユーザー権限管理) 「詳細」をクリックすることで各項目の詳細を設定できます。

- 3 **[追加]** をクリックする。

ユーザーを管理する

■ ユーザー管理エリア



① チェックボックス

複数のユーザーを削除するときに使用します。

② ログイン ID

ログイン ID を表示します。

③ ユーザー名

ログイン時に表示されるユーザー名です。

④ 詳細

登録した詳細情報が表示されます。

⑤ メニューボタン

ユーザーを追加するときに使用します。
複数のチェックボックスにチェックを入れて選択すると、一括削除のメニューが表示されます。

⑥ 編集ボタン

ユーザーの登録情報を編集します。

⑦ 削除ボタン

ユーザーを削除します。


⑧ ユーザーグループ詳細

ユーザーグループで設定した詳細が表示されます。

⑨ 機能リスト

「確認」をクリックすると、ユーザーグループで設定した操作権限が確認できます。

ユーザーを作成する

- 1 ユーザーを追加したいユーザーグループを選択する。
- 2 ユーザー管理エリアの  をクリックする。
- 3 「追加」をクリックする。
ユーザー追加画面が表示されます。
- 4 各項目を入力する。



ユーザーの追加

ログインID

パスワード

ユーザー名

ユーザーグループ

詳細

項目名	説明
ログイン ID (必須)	ログイン時に入力する ID です。
パスワード (必須)	ログイン時に入力するパスワードです。
ユーザー名 (必須)	ログイン時に表示されるユーザー名です。
ユーザーグループ (必須)	所属するグループ名を選択します。
詳細	ユーザーに関するコメントです。

- 5 「追加」をクリックする。

パネル管理編

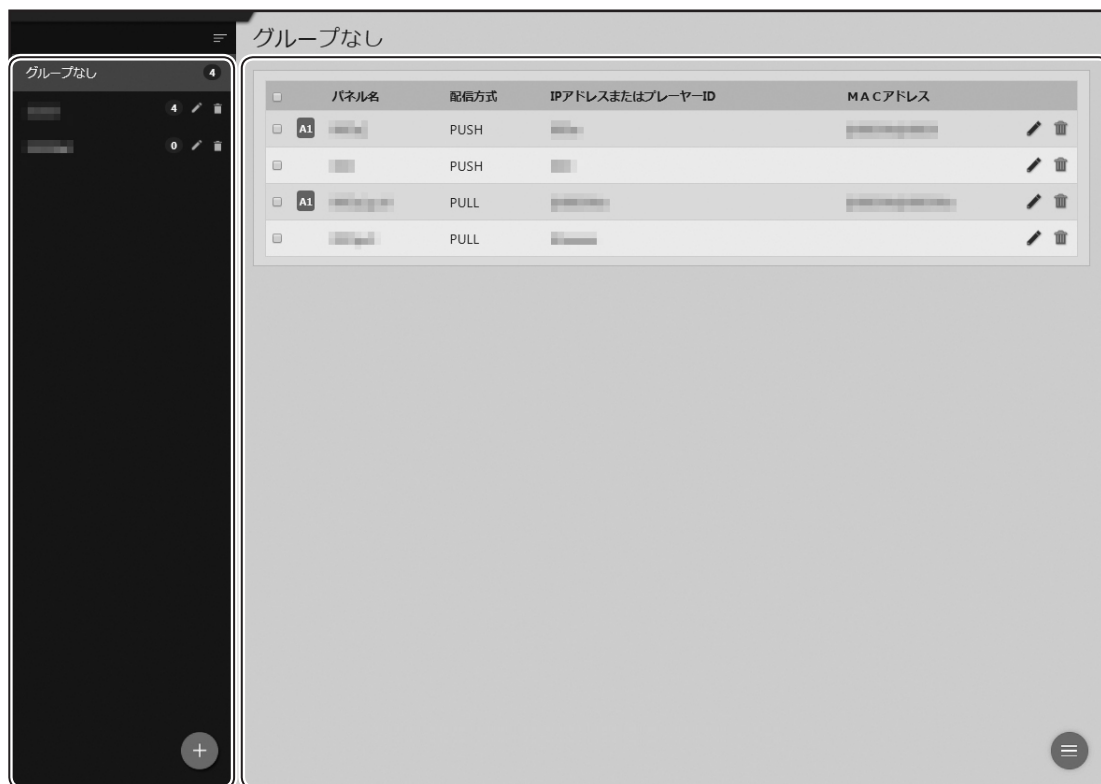
パネル管理

基本画面について

パネルを管理します。

WEB サーバー版、Pro 版では、登録したパネルをグループごとに管理します。(パネルグループ管理)

パネルグループ管理エリアのパネルグループ名をクリックすると、そのパネルグループに属するパネルがパネル管理エリアに表示されます。



パネルグループ管理エリア

パネル管理エリア

パネルグループを管理する

■ パネルグループ管理エリア



① 折りたたみボタン

メニューを折りたたみます。

② 編集ボタン

パネルグループの登録情報を編集します。

③ 削除ボタン

パネルグループを削除します。

④ 追加ボタン

パネルグループを追加します。

■ パネルグループを作成する

- 1 パネルグループ管理エリアの **+** をクリックする。
パネルグループ作成画面が表示されます。

- 2 各項目を入力する。

項目名	説明
グループ名 (必須)	グループの名称です。
アクセス権限 (必須)	アクセス権限を設定します。 ユーザーグループ名をクリックすることで、アクセス権限の有無を切り換えます。

- 3 [追加] をクリックする。

パネルを管理する

■ パネル管理エリア

ご参考

管理できるパネルの数は、WEB サーバー版 /Pro 版は最大 1,000 台、ネットワーク版 は最大 100 台です。



① チェックボックス

複数のパネルを削除するときに使用します。

② パネル名

パネル名を表示します。

③ 配信方式

配信方式（PUSH 型配信 / PULL 型配信）を表示します。

④ IP アドレスまたはプレーヤー ID

表示用端末の IP アドレスまたはプレーヤー ID を表示します。

⑤ MAC アドレス

表示用端末の MAC アドレスを表示します。

⑥ メニューボタン

パネルを追加するときに使用します。

複数のチェックボックスにチェックを入れて選択すると、一括削除のメニューが表示されます。

⑦ 編集ボタン


パネルの登録情報を編集します。

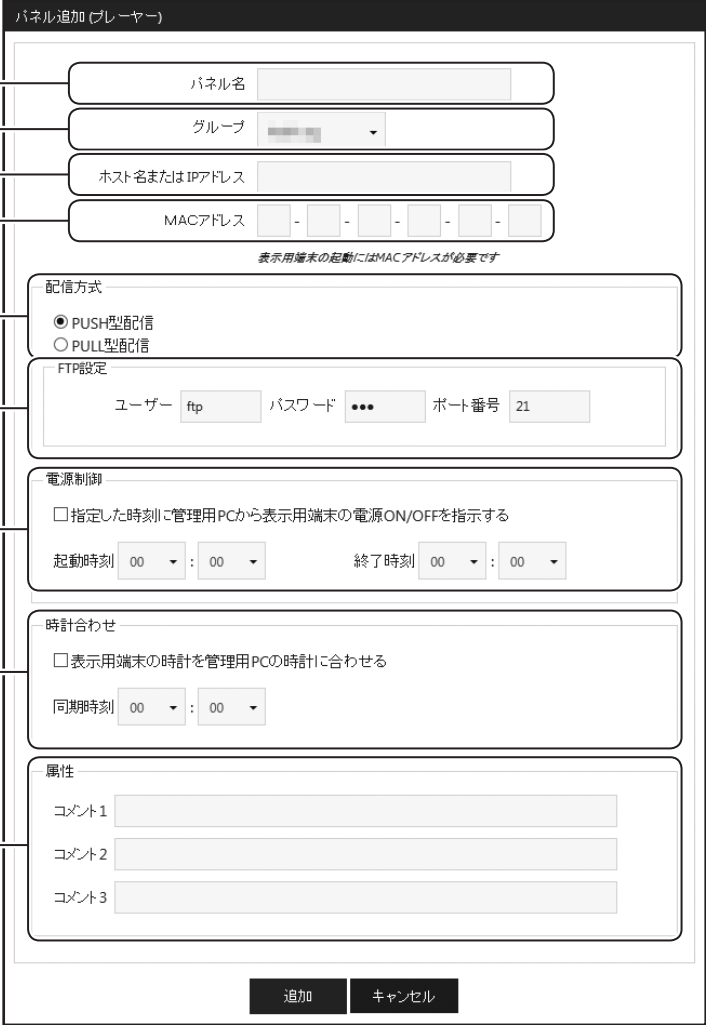
⑧ 削除ボタン

パネルを削除します。

パネル登録

■ パネルを登録する

- 1 パネルを追加したいパネルグループを選択する。
- 2 パネル管理エリアの  をクリックする。
- 3 「追加」をクリックする。
- 4 配信先のプレーヤーソフトウェアの種類を選択する。
パネル追加画面が表示されます。
- 5 各項目を設定する。



パネル追加 (プレーヤー)

① パネル名

② グループ

③ ホスト名またはIPアドレス

④ MACアドレス - - - - -

表示用端末の起動にはMACアドレスが必要です

⑤ 配信方式
 PUSH型配信
 PULL型配信

⑥ FTP設定
ユーザー パスワード ポート番号

⑦ 電源制御
 指定した時刻に管理用PCから表示用端末の電源ON/OFFを指示する
起動時刻 : 終了時刻 :

⑧ 時計合わせ
 表示用端末の時計を管理用PCの時計に合わせる
同期時刻 :

⑨ 属性
コメント1
コメント2
コメント3

※「プレーヤー」の画面例です。

項目名	説明			
① パネル名 (必須)	パネルに識別しやすい名称を付けます。			
② グループ	属するグループを選択します。			
③ ホスト名または IP アドレス / プレーヤー ID (必須)	<p>ホスト名または IP アドレス (PUSH 型配信)、プレーヤー ID (PULL 型配信) を入力します。(☞ 22 ページ)</p> <p>PUSH 型配信 [固定 IP アドレス] : サーバーからアクセス可能な表示用端末のホスト名または IP アドレスを設定します。</p> <p>PULL 型配信 : “@” で始まるプレーヤー ID を設定します。</p>			
④ MAC アドレス	管理用 PC から表示用端末の電源を ON する場合は、表示用端末の MAC アドレスを入力します。			
⑤ 配信方式	配信方式を選択します。(☞ 22 ページ)			
	<table border="1"> <tr> <td>PUSH 型配信</td> <td>表示用端末へデータを送る場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td>PULL 型配信</td> <td>表示用端末が管理用 PC から定期的にデータを取得する場合に選択します。</td> </tr> </table>	PUSH 型配信	表示用端末へデータを送る場合に選択します。	PULL 型配信
PUSH 型配信	表示用端末へデータを送る場合に選択します。			
PULL 型配信	表示用端末が管理用 PC から定期的にデータを取得する場合に選択します。			
⑥ FTP 設定 (PUSH 型配信のみ)	表示用端末の FTP サーバー設定で設定した「ユーザー名 (半角英数字 30 文字以内)」、「パスワード (半角英数字 30 文字以内)」、「ポート番号 (1 ~ 65535)」を入力します。(☞ 151 ページ)			
⑦ 電源制御 ※ プレーヤーのみ	指定した時刻に表示用端末の電源を ON/OFF したい場合はチェックし、「起動時刻」と「終了時刻」を設定します。			
⑧ 時計合わせ	管理用 PC と表示用端末の時刻を合わせたい場合はチェックし、同期時刻を設定します。			
⑨ 属性	表示用端末のコメントを入力します。			

6 [追加] をクリックする。

■ 承認待ちパネル（表示用端末）を登録する

PULL 型配信のパネルでは、表示用端末から送信された設定情報を元にパネルを登録（承認）することができます。

表示用端末での設定情報の送信は、e-Signage クライアントスケジューラの設定ダイアログボックスの [ネットワーク] タブで行います。（☞ 151 ページ）

- 1** 「登録要求」グループに表示されているパネル一覧から、登録したいパネルのチェックボックスにチェックを入れ、[1 台ずつ登録] をクリックする。

パネルの登録画面が表示されます。

- 2** 各項目を設定する。

設定項目は「パネルを登録する」（☞ 124 ページ）と同じです。

- 3** [登録] ボタンをクリックする。

ご参考

- パネルを一括登録したいときは、登録したいパネルのチェックボックスにチェックを入れて [一括登録] をクリックし、パネルグループをプルダウンメニューから選択して [登録] をクリックします。

システムログ編

システムログの確認

操作ログ、コンテンツ編集ログ、配信ログを確認できます。

基本画面について

表示したいシステムログを選んでクリックすると、システムログ表示エリアに表示されます。

The screenshot shows a web interface for viewing system logs. On the left is a dark sidebar with three menu items: "操作ログ" (Operation Log), "コンテンツ編集ログ" (Content Edit Log), and "配信ログ" (Distribution Log). The "操作ログ" item is highlighted. The main area is titled "操作ログ" and contains a table of log entries. The table has four columns: "ログインID" (Login ID), "名前" (Name), "日時" (Date/Time), and "メッセージ" (Message). The table shows 10 entries, with the first 9 rows visible. The interface also includes a pagination control at the top right showing "ページ番号: 1 / 4" and "表示ログ数: 10".

ログインID	名前	日時	メッセージ
"[redacted]"	"運用グループ管理者"	"2017-10-03 18:08:11"	"ユーザ '[redacted]' (id=[redacted]) を追加しました。"
"[redacted]"	"運用グループ管理者"	"2017-10-03 18:07:58"	"ユーザ '[redacted]' (id=[redacted]) を追加しました。"
"[redacted]"	"運用グループ管理者"	"2017-10-03 18:07:43"	"ユーザ '[redacted]' (id=[redacted]) を追加しました。"
"[redacted]"	"運用グループ管理者"	"2017-10-03 18:07:19"	"役割 '[redacted]' (id=[redacted]) を追加しました。"
"[redacted]"	"運用グループ管理者"	"2017-10-03 18:07:08"	"役割 '[redacted]' (id=[redacted]) を追加しました。"
"[redacted]"	"運用グループ管理者"	"2017-10-03 17:39:28"	"ファイルが既に存在するためインポートできませんでした。"
"[redacted]"	"運用グループ管理者"	"2017-10-03 17:39:28"	"デロップファイル '[redacted]' をアップロードしました。 (--- bytes)"
"[redacted]"	"運用グループ管理者"	"2017-10-03 17:39:17"	"デロップファイルのインポートに成功しました。"
"[redacted]"	"運用グループ管理者"	"2017-10-03 17:39:17"	"デロップファイル '[redacted]' をアップロードしました。 (57,541 bytes)"
"[redacted]"	"運用グループ管理者"	"2017-10-03 17:36:38"	"パネル [redacted] に臨時番組停止コマンドを割り付けました。"

システムログ選択エリア

システムログ表示エリア

システムログを確認する

1 システムログ選択エリアで表示したいログを選択する

操作ログ	ユーザーのコンテンツ編集以外の操作履歴が表示されます。
コンテンツ編集ログ	ユーザーのコンテンツ編集履歴が表示されます。
配信ログ	パネルへの配信履歴が表示されます。

2 表示された内容を確認する

操作ログ

ページ番号: 1 / 4 表示ログ数: 10


ログインID	名前	日時	メッセージ
"*****"	"運用グループ管理者"	"2017-10-03 18:08:11"	"ユーザ '*****' (id=*****) を追加しました。"
"*****"	"運用グループ管理者"	"2017-10-03 18:07:58"	"ユーザ '*****' (id=*****) を追加しました。"
"*****"	"運用グループ管理者"	"2017-10-03 18:07:43"	"ユーザ '*****' (id=*****) を追加しました。"
"*****"	"運用グループ管理者"	"2017-10-03 18:07:19"	"役割 '*****' (id=*****) を追加しました。"
"*****"	"運用グループ管理者"	"2017-10-03 18:07:08"	"役割 '*****' (id=*****) を追加しました。"
"*****"	"運用グループ管理者"	"2017-10-03 17:39:28"	"ファイルが既に存在するためインポートできませんでした。"
"*****"	"運用グループ管理者"	"2017-10-03 17:39:28"	"テロップファイル '*****' をアップロードしました。 (... bytes)"
"*****"	"運用グループ管理者"	"2017-10-03 17:39:17"	"テロップファイルのインポートに成功しました。"
"*****"	"運用グループ管理者"	"2017-10-03 17:39:17"	"テロップファイル '*****' をアップロードしました。(57,541 bytes)"
"*****"	"運用グループ管理者"	"2017-10-03 17:36:38"	"パネル '*****' に臨時番組停止コマンドを割り付けました。"



※「操作ログ」の画面例です。

項目名	説明
① ページ番号	表示するページ番号を選択します。
② 表示ログ数	1 ページに表示する件数を選択します。
③ ログイン ID/パネル ID	ログイン ID またはパネル ID が表示されます。
④ 名前	ユーザー名またはパネル名が表示されます。
⑤ 日時	日時が表示されます。
⑥ メッセージ	結果が表示されます。

■ システムログを出力する（TXT 形式／ CSV 形式）

システムログを TXT 形式または CSV 形式で出力します。

- 1** システムログ表示エリアの  をクリックする。
- 2** ファイル形式に応じてボタンを選択して保存する。

	TXT 形式でエクスポート
	CSV 形式にエクスポート

プレイヤー更新編

プレーヤー更新

登録しているパネルに、プレーヤー更新データ、システム設定ファイル（表示用端末の設定変更データ）、プリセット番組、マイコンテンツ、パネル属性を割り付けて配信します。

ご参考

- WEB サーバー版、Pro 版、ネットワーク版のみの機能です。

更新操作について

それぞれの配信データを配信することで下記の操作が可能です。

項目名	説明
プレーヤー更新	<p>表示用端末の e-Signage S プレーヤーのアップデートを行います。（遠隔プレーヤーアップデート）</p> <p>ご参考</p> <ul style="list-style-type: none">• e-Signage S プレーヤー A1 が導入されている表示用端末では、設定画面より「提供元不明のアプリ」がインストールできるように設定してください。• 表示用端末でプレーヤー更新データの受信が完了すると、アップデートが始まります。アップデート中、配信先パネルで番組は表示されません。（アップデート中 e-Signage S プレーヤーは終了します。）アップデート終了後、表示用端末は再起動され、番組表示を再開します。
システム設定ファイル ※ サービス技術者用	<p>表示用端末の設定を変更します。 通常は使用しません。</p>
プリセット番組 (プレーヤーのみ)	<p>表示用端末にプリセット番組 / デフォルト番組を配信します。</p> <p>ご参考</p> <ul style="list-style-type: none">• プリセット番組は、e-Signage ランチャーからの番組エディタで作成した番組をアップロードして配信できます。• プリセット番組は、キー/マウス連携ツールで利用します。• デフォルト番組は、e-Signage クライアントスケジューラの「表示する番組が無い時でも表示を行う」の「以下の番組を表示する」で利用します。（147 ページ）• 表示用端末で表示中の番組を配信することはできません。
マイコンテンツ (プレーヤーのみ)	<p>表示用端末にマイコンテンツを事前に配信します。</p> <p>ご参考</p> <ul style="list-style-type: none">• コンテンツは、表示用端末のマイコンテンツフォルダーに配信されます。同じファイル名がある場合、上書きされます。マイコンテンツフォルダーは、表示用端末の e-Signage クライアントスケジューラで設定します。• 表示用端末で使用中のコンテンツを配信することはできません。「番組表示を一時中断」で再生を中断してからコンテンツを配信してください。配信完了後は、再度「番組表示を一時中断」をクリックしてください。（156 ページ）• 以下の方法で配信したコンテンツを表示用端末から削除することができます。<ul style="list-style-type: none">- 削除したいデータの一覧を記載したテキストファイルを配信。 マイコンテンツフォルダーからの相対パスを各データ 1 行で記載してください。 テキストファイルのファイル名は「Delete.lst」としてください。
パネル属性	<p>表示用端末へパネル属性（パネル名・グループ名・コメント1・コメント2・コメント3）を配信します。管理用 PC で設定されているパネル属性を、表示用端末に配信し、設定します。配信されたパネル属性は、表示用端末で再生条件が設定されているコンテンツを再生する際に判定条件として利用されます。</p> <p>ご参考</p> <ul style="list-style-type: none">• 各パネルのパネル属性が設定されたファイル「Panel Attributes.ini」を各パネルに割り付け、配信されます。

※ 将来のアップデートをお約束するものではありません。

基本画面について

配信データ選択エリアで配信データ（プレーヤー更新データ、システム設定ファイル、プリセット番組[※]、マイコンテンツ[※]、パネル属性）を選択し、パネル表示エリアのパネルに配信データを割り付けます。

※ プレーヤーのみ

The screenshot displays the 'プレーヤー更新' (Player Update) screen. It features a left sidebar for navigation and a main area with three panels, each containing a table of distribution data. The panels are labeled '(4 パネル)', '(4 パネル)', and '(0 パネル)'.

Panel 1 (4 パネル):

配信サマリー		コンテンツサマリー		パネルのサマリー	
未割り付け	0 パネル	データがありません		PUSH	1 パネル
割り付け	4 パネル			PULL	1 パネル
配信確定	0 パネル			A1 - PUSH	1 パネル
				A1 - PULL	1 パネル
未配信	0 パネル				
配信中	0 パネル				
配信成功	0 パネル				
配信エラー	0 パネル				

Panel 2 (4 パネル):

配信サマリー		コンテンツサマリー		パネルのサマリー	
未割り付け	0 パネル	データがありません		PUSH	2 パネル
割り付け	4 パネル			PULL	0 パネル
配信確定	0 パネル			A1 - PUSH	2 パネル
				A1 - PULL	0 パネル
未配信	0 パネル				
配信中	0 パネル				
配信成功	0 パネル				
配信エラー	0 パネル				

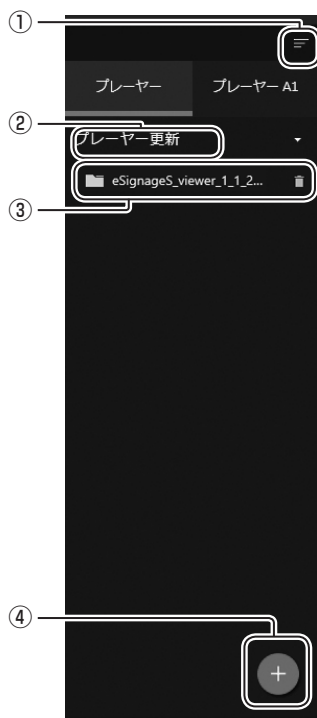
Panel 3 (0 パネル):

配信サマリー		コンテンツサマリー		パネルのサマリー	
未割り付け	0 パネル	データがありません		PUSH	0 パネル
割り付け	0 パネル			PULL	0 パネル
配信確定	0 パネル			A1 - PUSH	0 パネル
				A1 - PULL	0 パネル
未配信	0 パネル				
配信中	0 パネル				
配信成功	0 パネル				
配信エラー	0 パネル				

配信データ選択エリア

パネル表示エリア

■ 配信データ選択エリア



① 折りたたみボタン

メニューを折りたたみます。

② カテゴリ選択ボタン

プレーヤー更新、システム設定ファイル、プリセット番組、マイコンテンツ、パネル属性からパネルに配信するカテゴリを選択します。

③ 配信データ

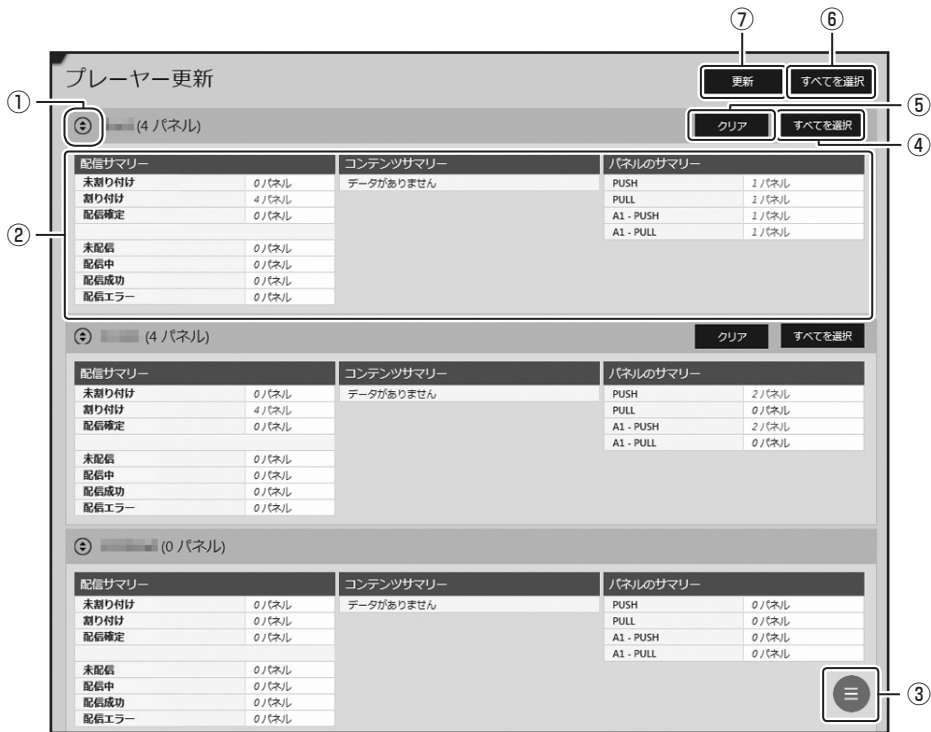
アップロードした配信データが表示されます。

④ 追加ボタン

配信データを追加します。

■ パネル表示エリア

パネルグループ表示画面



パネル表示画面



① 表示切替ボタン




パネルグループ表示画面とパネル表示画面を切り換えます。

② サマリー表示エリア

パネルグループのサマリー（配信の状況、コンテンツの種類、パネルの配信方式）を表示します。
パネル数をクリックすると、該当するパネルのみを絞り込んだパネルごとのパネル表示画面が表示されます。

③ メニューボタン

クリックすると、次のメニューが表示されます。

	配信を開始します。 配信するパネルを選び、このアイコンをクリックします。
	配信を中止します。 中止するパネルを選び、このアイコンをクリックします。
	選択したパネルの配信を再送します。

④ すべてを選択ボタン

パネルグループのすべてのパネルを選択または非選択状態にします。

⑤ クリアボタン

配信データを割り付ける前の状態に戻します。
割り付け前の状態に戻したいパネルを選び、このアイコンをクリックします。配信が確定しているスケジュールは、解除してから操作してください。

⑥ すべてを選択ボタン

すべてのパネルを選択または非選択状態にします。

⑦ 更新ボタン

表示を更新します。

⑧ パネル名

パネル名の横にパネル種別、配信方式がアイコンで表示されます。

⑨ 配信データ割り付け

割り付けられた配信データが表示されます。

⑩ フェイズ

配信状況が表示されます。

フェイズ 1（配信確定）	割り付けられた配信データと配信が確定した日時が表示されます。
フェイズ 2（配信開始）	配信を開始した日時が表示されます。
フェイズ 3（配信完了）	配信が完了した日時が表示されます。 配信が正しく行われなかった場合は、その理由が表示されます。

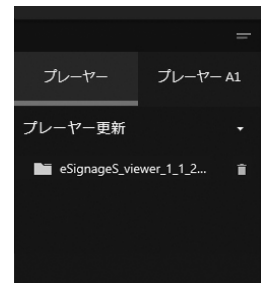
■ 配信する

1 パネル表示エリアをパネル表示画面に切り換え、配信データを割り付けたいパネルを表示する。

- 条件に合ったパネルのみを表示させることができます。
(🔍 136 ページ)



2 配信データ選択エリアで割り付けたい配信データを表示する。



3 配信対象のパネルをすべてクリックし、選択状態にする。

4 配信データをパネル表示エリアの配信するパネル名にドラッグ & ドロップする。

5  →  の順にクリックして配信する。

配信が確定し、割り付けデータに確定マーク (🔒) が表示され、配信が開始されます。

インポート / エクスポート編

インポート

エクスポートしたコンテンツフォルダー / 番組 / スケジュールのファイルを、利用するために読み込みます。

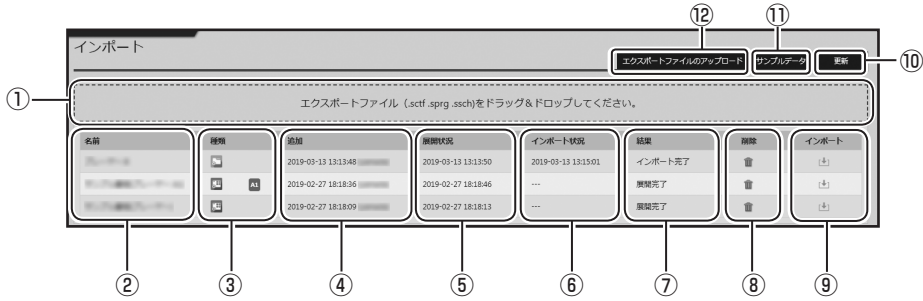
基本画面について

インポートするファイルを管理します。

名前	種類	追加	展開状況	インポート状況	結果	削除	インポート
...	...	2019-03-13 13:13:48	2019-03-13 13:13:50	2019-03-13 13:15:01	インポート完了	🗑	↓
...	...	2019-02-27 18:18:36	2019-02-27 18:18:46	---	展開完了	🗑	↓
...	...	2019-02-27 18:18:09	2019-02-27 18:18:13	---	展開完了	🗑	↓

インポートファイル表示エリア

■ インポートファイル表示エリア



① インポートエリア

インポートするエクスポートファイルを、ドラッグ&ドロップしてリストに追加します。

② 名前

ファイルの名前を表示します。

③ 種類

ファイルの種類を表示します。

④ 追加

ファイルを追加した日時とユーザー名 (WEB サーバー版のみ) を表示します。

⑤ 展開状況

ファイルの展開状況を表示します。

⑥ インポート状況

インポートした日時を表示します。

⑦ 結果

展開 / インポートの状況を表示します。

⑧ 削除ボタン

ファイルを削除します。

⑨ インポートボタン

インポートするファイルを、コンテンツフォルダー / 番組 / スケジュールに読み込みます。

⑩ 更新ボタン

表示を更新します。

⑪ サンプルデータのインポートボタン

あらかじめ登録されているサンプルデータをリストに追加します。

⑫ エクスポートファイルのアップロードボタン

インポートするエクスポートファイルを、リストに追加します。

インポートする

- 1** インポートするファイルをインポートファイル表示エリアの波線枠内にドラッグ & ドロップする。
インポートするファイルがリストに追加され、展開が実行されます。
エクスポートファイルのアップロードボタンをクリックして追加することもできます。
必要に応じて手順 1 を繰り返します。
- 2** インポートボタンをクリックして、読み込む。
設定ウィザードに従って、インポートの設定を行います。
インポートするファイルが、コンテンツフォルダー / 番組 / スケジュールに読み込まれます。

エクスポート

他のパソコンで利用するために、保存されているコンテンツフォルダー / 番組 / スケジュールのファイルを書き出します。

基本画面について

エクスポートするファイルを管理します。



エクスポートファイル選択エリア

エクスポートファイル表示エリア

■ エクスポートファイル選択エリア



① 折りたたみボタン

メニューを折りたたみます。

② カテゴリ選択ボタン

コンテンツフォルダー、番組、スケジュールからエクスポートするカテゴリを選択します。

③ 選択エリア

エクスポートするファイルを選択します。
選択しているカテゴリのファイルのみが表示されます。

■ エクスポートファイル表示エリア



① エクスポートエリア

エクスポートファイル選択エリアのファイル（コンテンツフォルダー / 番組 / スケジュール）をドラッグ & ドロップし、リストに追加します。

② 名前

ファイルの名前を表示します。

③ 種類

ファイルの種類を表示します。

④ 追加

ファイルを追加した日時とユーザー名（WEB サーバー版のみ）を表示します。

⑤ 開始

エクスポートファイルの作成を開始した日時を表示します。

⑥ 終了

エクスポートファイルの作成が終了した日時を表示します。

⑦ 状況

エクスポートファイルの作成状況を表示します。

⑧ 削除ボタン

ファイルを削除します。

⑨ ダウンロードボタン

エクスポートしたファイルを書き出します。

⑩ 更新ボタン

表示を更新します。

エクスポートする

- 1** エクスポートファイル選択エリアでエクスポートするファイルを表示する。(☞ 142 ページ)
- 2** エクスポートするファイルをエクスポートファイル表示エリアの波線枠内にドラッグ & ドロップする。
エクスポートするファイルがリストに追加され、エクスポートファイルの作成が実行されます。
必要に応じて手順 1 ～ 2 を繰り返します。
- 3** ダウンロードボタンをクリックして、他のパソコンで利用するファイルを保存する。

! ご注意

- インポート / エクスポートを利用する場合、導入している e-Signage S 各ソフトウェアのバージョンを統一してください。新しいバージョンのサーバーソフトウェアで作成したエクスポートデータを古いバージョンのサーバーソフトウェアにインポートした場合、バージョンアップによって追加された機能を使用している部分が正しく動作しないことがあります。

プレーヤー編

スケジュール受信・番組表示

管理用 PC からスケジュールや番組を配信したときの、表示用端末の設定について説明します。

FTP サーバーについて

FTP サーバーは、管理用 PC から送信されたスケジュールや臨時番組を受信し、e-Signage クライアントスケジュールへ渡す働きをします。PUSH 型配信を利用する場合表示用端末では、この FTP サーバーのサービスが開始されている必要があります。

■ FTP サーバーの起動

FTP サーバーは、Windows 起動時に自動起動します。

FTP サーバーのサービスが開始されているかどうかについては、次の方法で確認します。

Windows 7 の場合

- 1 タスクバーの何も無い場所を右クリックし、表示されたメニューから【タスクマネージャーの起動】をクリックする。

[Windows タスクマネージャー] ダイアログボックスが表示されます。

- 2 【プロセス】タブをクリックし、「FTPD.exe」が表示されていることを確認します。

Windows 8.1/10 の場合

- 1 タスクバーの何も無い場所を右クリックし、表示されたメニューから【タスクマネージャー】をクリックする。

[タスクマネージャー] ダイアログボックスが表示されます。

- 2 【プロセス】タブをクリックし、「SHARP e-Signage / FTP Server」が表示されていることを確認する。

e-Signage クライアントスケジュールラについて

e-Signage クライアントスケジュールラは表示用端末で使用します。

FTP サーバーが受信したスケジュールや臨時番組を読み取り、指定した時刻に指定した番組を表示するように番組ビューアを管理します。

■ e-Signage クライアントスケジュールラの起動

e-Signage クライアントスケジュールラは、Windows 起動時に「スタートアップ」より自動起動します。

e-Signage クライアントスケジュールラが起動すると、タスクトレイにアイコン (🔌) が表示され、常駐します。

■ e-Signage クライアントスケジュールのメニュー

タスクトレイのアイコンを右クリックすると表示されるメニューでは、次の操作ができます。



設定

[設定] メニューをクリックすると、[クライアントスケジュールの設定] ダイアログボックスが表示されます。各タブで次の設定ができます。

[番組ビューア] タブ

番組ビューアの詳細を設定します。

- 「表示する番組が無い時でも表示を行う」チェックボックス
チェックすると、表示する番組が無いときでも表示することができます。表示する内容は、[表示内容設定] をクリックして設定します。

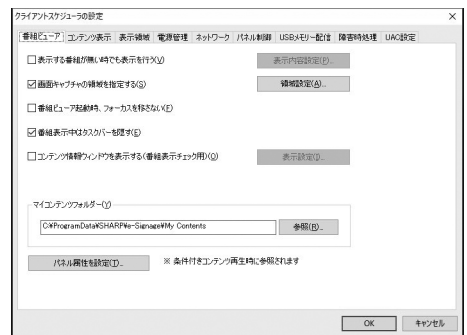
- 「細色で領域を塗りつぶす」ラジオボタン

[表示領域] の設定で指定されている領域を細色で表示します。

- 「以下のコンテンツファイルを表示する」ラジオボタン

[設定] をクリックして [コンテンツファイルの設定] ダイアログボックスで表示するコンテンツファイルのパス、表示方式、背景色を設定します。

- ① [参照] をクリックして、コンテンツファイルを選択します。e-Signage S でサポートされているすべての表示可能なファイルが対象となります。
- ② 「表示方式」を「コンテンツの縦横比を保持する」 / 「コンテンツの縦横比を保持しない」 / 「原寸で並べて表示する」ラジオボタンから選択します。
- ③ 「背景色」を設定します。



- 「以下の番組を表示する」ラジオボタン

番組の設定方法は、以下の種類があります。

- 「以下の番組を表示する」ラジオボタンを選択した後、[インポート] をクリックして、番組エディタでエクスポートした番組を選択する。
- 「以下の番組を表示する」ラジオボタンを選択した後、プレーヤー更新画面 (132 ページ) からデフォルト番組を選択する。

- 「表示領域」で設定している領域が表示領域となります (番組を指定した場合を除きます)。

- 「画面キャプチャの領域を指定する」チェックボックス

表示用端末で、複数の画面を出力している場合に画面キャプチャをすると、デスクトップ全体がキャプチャされます。チェックすると、画面出力の一部分だけをキャプチャできます。
[領域設定]をクリックして、キャプチャする領域を指定します。



- 「番組ビューア起動時、フォーカスを移さない」チェックボックス

通常はチェックをはずした状態で使用します。
番組ビューア起動時、番組ビューアにフォーカスを移動させたくないときはチェックします。

- 「番組表示中はタスクバーを隠す」チェックボックス

チェックすると、番組ビューア開始時にタスクバーを非表示にし、番組ビューア終了時にタスクバーを再表示します。

- 「コンテンツ情報ウィンドウを表示する(番組表示チェック用)」チェックボックス

チェックすると、番組再生時にコンテンツ情報(表示座標や再生時間などの)を表示します。コンテンツの再生確認をするときにチェックします。
[表示設定]をクリックして、コンテンツ情報の表示位置とサイズ、再生時間で強制的にテロップを切り換えるかどうかの設定を行います。プレーヤー A1 のデータを PC 上で再生する場合、個々のコンテンツの再生情報は表示されません。

- 「マイコンテンツフォルダー」

事前配信するコンテンツを保存するフォルダーのパスを入力します。
デフォルトでは次の値に設定されています。
マイコンテンツフォルダー：C:\ProgramData\SHARP\e-Signage\My Contents

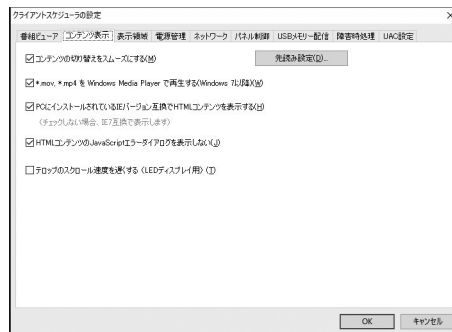
- [パネル属性を設定]

表示用端末のパネル属性を設定できます。「パネル名」と「グループ」、「コメント」を設定できます。再生条件が設定されているコンテンツを再生するとき、パネルごとに異なるコンテンツを再生するために設定します。管理用 PC で設定している内容を、表示用端末に設定することもできます。

【コンテンツ表示】タブ

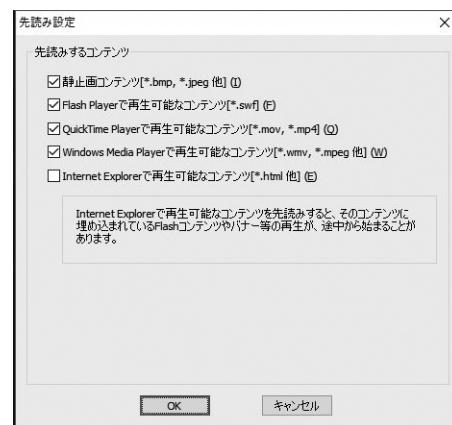
コンテンツ表示の詳細を設定します。

- 「コンテンツの切り替えをスムーズにする」チェックボックス
コンテンツの再生終了前に次のコンテンツ再生準備を行い、コンテンツをスムーズに切り換えるときは、チェックします。
表示枠間でコンテンツ表示の同期を取る必要があるときもチェックしてください。
[先読み設定] をクリックすると、先読みするコンテンツを設定することができます。



ご参考

- コンテンツの切り替えをスムーズにすると、GPU 負荷やメモリ使用量が増えます。運用前に番組を実際に表示してテストすることをお勧めします。
- Internet Explorer で再生可能なコンテンツを先読みすると、そのコンテンツに埋め込まれている Flash コンテンツやバナー等の再生が、途中から始まる場合があります。
- e-Signage WEB ブラウザでは先読み処理は行われません。



- 「*.mov, *.mp4 を Windows Media Player で再生する (Windows 7以降)」チェックボックス
Windows 7以降でチェックできます。チェックすると、拡張子が (.mov/.mp4) のファイルを Windows Media Player で再生します。
- 「PCにインストールされているIEバージョン互換でHTMLコンテンツを表示する」チェックボックス
HTMLコンテンツを Internet Explorer で再生するときの互換モードを設定します。チェックすると、PCにインストールされている Internet Explorer のバージョン互換でHTMLを表示します。
- 「HTMLコンテンツのJavaScriptエラーダイアログを表示しない」チェックボックス
チェックすると、HTMLコンテンツの表示でJavaScriptのエラー発生時にエラーダイアログを表示しません。
- 「テロップのスクロール速度を遅くする (LEDディスプレイ用)」チェックボックス
低解像度のLEDディスプレイでテロップを表示する場合など、テロップの速度を最も遅くしてもテロップが速すぎるときは、チェックします。

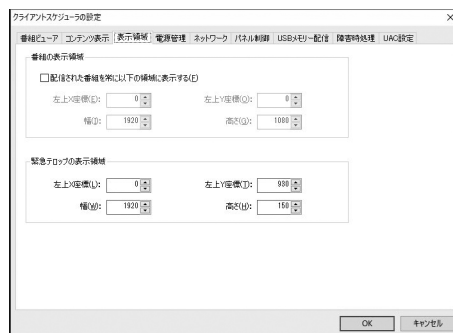
【表示領域】 タブ

• 「番組の表示領域」

番組の表示領域とパネルの解像度が異なるときなど、番組に設定されている表示領域に関係なく番組を表示することができます。「配信された番組を常に以下の領域に表示する」チェックボックスをチェックし、番組を表示する領域を設定してください。

• 「緊急テロップの表示領域」

緊急テロップ表示時の表示領域を設定します。



【電源管理】 タブ

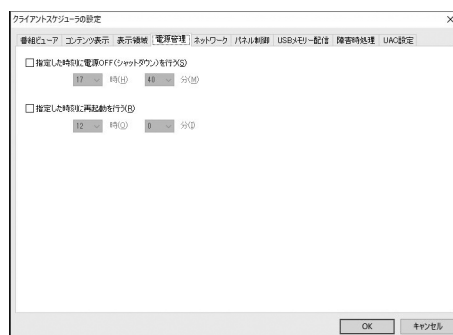
現在設定を行っている表示用端末の電源を管理します。

• 「指定した時刻に電源 OFF (シャットダウン) を行う」チェックボックス

チェックすると、指定した時刻に表示用端末の電源を OFF します。

• 「指定した時刻に再起動を行う」チェックボックス

チェックすると、指定した時刻に表示用端末を再起動します。



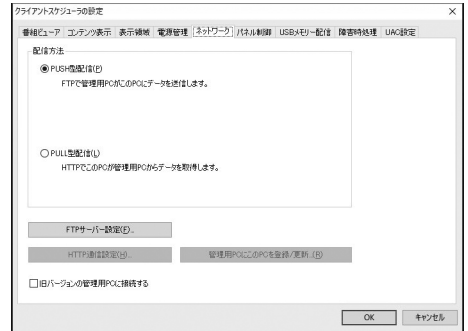
[ネットワーク] タブ

ネットワークからデータを取得する方法を設定します。

- 「PUSH 型配信」ラジオボタン
FTP プロトコルを使用して、管理用 PC 側で手動配信操作が行われたタイミングで配信されるデータを受信します。
- 「PULL 型配信」ラジオボタン
HTTP プロトコルを使用して、表示用端末が、管理用 PC から定期的にデータを取得します。
- [FTP サーバー設定]
FTP サーバーを設定します。
 - ユーザー名 : 半角英数字 30 文字以内で入力します。
 - パスワード : 半角英数字 30 文字以内で入力します。
 - ポート番号 : 1 ~ 65535 で入力します。

デフォルトでは次の値に設定されています。

- ユーザー名 : ftp
- パスワード : ftp
- ポート番号 : 21
- 「旧バージョンの管理用 PC に接続する」チェックボックス
旧バージョンの e-Signage が導入された管理用 PC に接続する場合にチェックします。



ご参考

- e-Signage S のプレーヤーをインストールした場合、独自の FTP サーバーがインストールされサービスとして起動されます。デフォルトの TCP/IP ポート番号は 20 と 21 になっています。もし、他のサービスなどでこのポート番号が使用されている場合には、ポート番号を変更してください。また、管理用 PC の「パネル管理」で登録した各パネルの FTP 設定も同じポート番号に設定しておく必要があります。

- [HTTP 通信設定]

- **ポート番号:**
1 ~ 65535 で入力します。
HTTP プロトコルで使用するポート番号を設定します。管理用 PC、またはネットワーク内にファイアウォールがある場合は、このポート番号の通信を許可するように設定してください。
- **ユーザー名:**
半角英数字 30 文字以内で入力します。
- **パスワード:**
半角英数字 30 文字以内で入力します。

ご参考

- 「ユーザー名」と「パスワード」は、管理用 PC のサーバー設定ツールの「運用グループ」タブの「表示用端末からの HTTP アクセスの制限」に設定した内容と同じ内容を入力します。36 ページを参照ください。
- 「ポート番号」は、管理用 PC のサーバー設定ツールの「WEB サーバー」タブに設定した内容と同じ内容を入力します。37 ページを参照ください。
- プロキシサーバの設定が必要な場合は、Internet Explorer の接続設定画面でプロキシサーバの設定を行ってください。Internet Explorer の設定に従って接続が行われます。
- **運用グループ ID:**
表示用端末に運用グループ ID を設定します。
- **プレーヤー ID:**
表示用端末にプレーヤー ID を設定します。

ご参考

- 以上の機能を利用するためには、次の条件が必要です。
 - 管理用 PC に e-Signage S WEB サーバー版、Pro 版、ネットワーク版がインストールされていること
 - 管理用 PC で WEB サーバーが起動していること
- ※ PUSH 型配信の場合は、上記の設定は不要です。

【パネル制御】タブ

パネルを制御する方法（RS-232C/LAN/USB）を選びます。

ご参考

「パネル制御を使用しない」以外に設定すると、クライアントスケジュールの起動 / 終了時にパネルにアクセスするため、設定が適切でない場合アクセスに時間がかかります。



- 「パネル制御を使用しない」ラジオボタン

パネルを制御しません。

- 「1台のパネルを制御する」ラジオボタン

「接続設定」をクリックし、パネルを制御する方法（RS-232C/LAN/USB）を選びます。

- 【接続設定】

「接続インターフェース」のラジオボタンから「インフォメーションディスプレイ」の「RS-232C」、「LAN」、「USB」、または「LED ディスプレイ」の「RS-232C」、「LAN」のいずれかを選択して設定します。
「インフォメーションディスプレイ」

設定項目		設定内容	デフォルト
RS-232C	COM ポート	COM1 ~ COM256	COM1
	通信速度	9600, 19200, 38400, 115200	9600
LAN	ホスト名または IP アドレス	制御するパネルのホスト名または IP アドレスを半角英数字の 32 文字以内で入力します。	—
	データポート番号	制御するパネルのデータポート番号（1025 ~ 65535）を入力します。	10008
	ユーザー名	制御するパネルにユーザー名が設定されている場合は、そのユーザー名を 8 文字以内で入力します。	—
	パスワード	制御するパネルにパスワードが設定されている場合は、そのパスワードを 8 文字以内で入力します。	—
USB		—	—

【LED ディスプレイ】

設定項目		設定内容	デフォルト
RS-232C	COM ポート	COM1 ~ COM256	COM1
	通信速度	設定不要です。	—
LAN	ホスト名または IP アドレス	制御するパネルのホスト名または IP アドレスを半角英数字の 32 文字以内で入力します。	—
	データポート番号	制御するパネルのデータポート番号（1025 ~ 65535）を入力します。	5001

- 【接続確認】

パネルの制御が可能かどうか接続を確認します。

接続が成功すると、パネルの機種名を取得して表示します。

パネルの電源を ON した状態で操作してください。

LB-1085 でパネルを制御する場合は、必ず接続確認を 1 度行ってください。

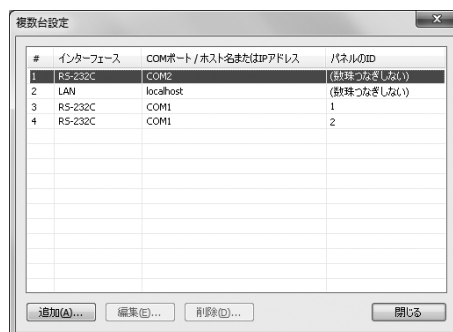
接続確認をしないと、制御できません。

- 「複数台のパネルを制御する」ラジオボタン
25 台までのパネルを登録して制御することができます。

- **[接続設定]**

[接続設定] をクリックすると、接続されているパネルの一覧が表示されます。

初めて使用するときには、[追加] をクリックして、パネルをリストに追加します。



「インフォメーションディスプレイ」

設定項目		設定内容	デフォルト
RS-232C	COM ポート	COM1 ~ COM256	COM1
	通信速度	9600, 19200, 38400, 115200	9600
LAN	ホスト名または IP アドレス	制御するパネルのホスト名または IP アドレスを半角英数字の 32 文字以内で入力します。	—
	データポート番号	制御するパネルのデータポート番号 (1025 ~ 65535) を入力します。	10008
	ユーザー名	制御するパネルにユーザー名が設定されている場合は、そのユーザー名を 8 文字以内で入力します。	—
	パスワード	制御するパネルにパスワードが設定されている場合は、そのパスワードを 8 文字以内で入力します。	—
USB		—	—
パネルの ID		数珠つなぎ接続する場合は、パネルを識別するため、ID を選択します。 (数珠つなぎしない)、1 ~ 255	(数珠つなぎしない)

「LED ディスプレイ」

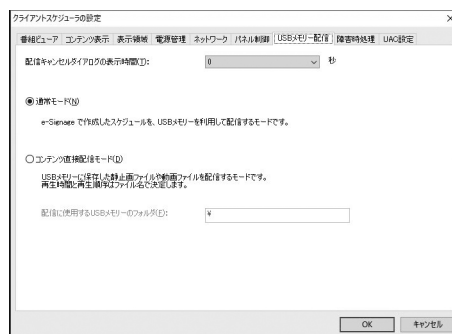
設定項目		設定内容	デフォルト
RS-232C	COM ポート	COM1 ~ COM256	COM1
	通信速度	設定不要です。	—
LAN	ホスト名または IP アドレス	制御するパネルのホスト名または IP アドレスを半角英数字の 32 文字以内で入力します。	—
	データポート番号	制御するパネルのデータポート番号 (1025 ~ 65535) を入力します。	5001

- 「本ソフト起動時に、パネルの電源を ON する」チェックボックス
チェックすると、e-Signage クライアントスケジューラの起動時に、パネルの電源を ON します。
- 「本ソフト終了時に、パネルの電源を OFF する」チェックボックス
チェックすると、e-Signage クライアントスケジューラの終了時に、パネルの電源を OFF します。
- 「本ソフト起動時に、パネルの時計を PC の時刻に合わせる」チェックボックス
チェックすると、e-Signage クライアントスケジューラの起動時に、パネルの時計を表示用端末の時刻に合わせます。
- [詳細設定]
 - 「起動時にパネルと接続できなかった場合は、それ以降の通信を行わない」チェックボックス
起動時にパネルと接続できなかった場合、以降の通信を行わないようにします。
 - 「数珠つなぎ接続の先頭の 1 台のみ LAN で接続する」チェックボックス
RS-232C で数珠つなぎにしたパネルの先頭 1 台目のみを LAN で接続する構成時のみチェックしてください。数珠つなぎされた後続のパネルに対して、ID を指定して制御が行えるようになります。
 - 「LED ディスプレイの電源制御を輝度制御で代替する」チェックボックス
LED ディスプレイでは電源の OFF/ON 制御ができないため、輝度制御で代替します。チェックし、電源 OFF 時 /ON 時の輝度を設定します。

[USB メモリー配信] タブ

USB 配信の詳細を設定します。

- 「配信キャンセルダイアログの表示時間」
1 秒以上に設定すると、USB メモリーなどを挿入したときに配信キャンセルダイアログを表示します。
配信キャンセルダイアログで [キャンセル] をクリックすると配信が中止されますので、USB メモリーなどはタスクトレイの安全な取り外しアイコン (🖱️) から取り外してください。
また、配信キャンセルダイアログで [今すぐ受信] をクリックすると、配信が再開されます。
- 「通常モード」ラジオボタン
通常は変更しません。
- 「コンテンツ直接配信モード」ラジオボタン
「コンテンツ直接配信モード」で USB 配信する場合 (📄 158 ページ) に選択します。
- 「配信に使用する USB メモリーのフォルダー」
「コンテンツ直接配信モード」で配信を行う場合、コンテンツが保存されている USB メモリーのフォルダーのパスを入力します。



[障害時処理] タブ

サービス技術者専用です。通常は使用しません。

[UAC 設定] タブ

Windows 8.1/10 の場合は、ユーザーアカウント制御を無効にできます。

[ユーザーアカウント制御を無効にする] をクリックし、画面の指示に従ってください。(21 ページ)

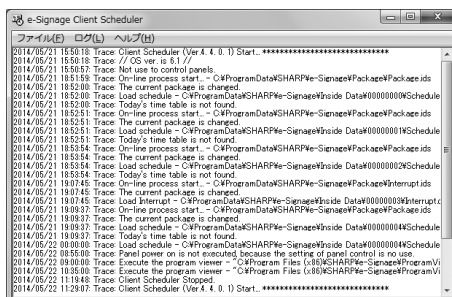


ご参考

- この設定を行うと Windows ストアアプリが動作しなくなりますのでご注意ください。
- [UAC 設定] タブは、e-Signage S プレーヤーでのみ設定できます。

ログを表示する

[ログを表示] メニューをクリックすると、e-Signage クライアントスケジューラの動作ログを表示します。ログのクリアや最新の状態に更新することができます。

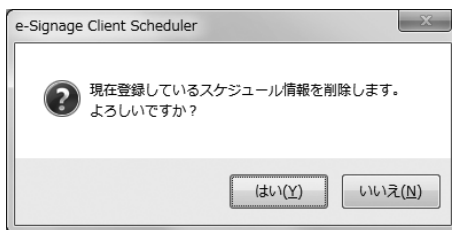


番組表示を一時中断

[番組表示を一時中断] メニューをクリックすると、表示中の番組を一時中断します。このとき、メニューの左側にチェックマークが入ります。再度 [番組表示を一時中断] メニューをクリックすると、番組表示を再開します。

スケジュール情報を削除

[スケジュール情報を削除] メニューをクリックすると、確認メッセージが表示されます。[はい] をクリックすると、現在 e-Signage クライアントスケジューラ内に保存されているスケジュール情報を削除します。



臨時番組情報を削除

[臨時番組情報を削除] メニューをクリックすると、確認メッセージが表示されます。[はい] をクリックすると、現在 e-Signage クライアントスケジューラ内に保存されている臨時番組表示の情報を削除します。

緊急テロップ情報を削除

[緊急テロップ情報を削除] メニューをクリックすると、確認メッセージが表示されます。[はい] をクリックすると、現在 e-Signage クライアントスケジューラ内に保存されている緊急テロップ情報を削除します。

管理用 PC からデータを取得

[管理用 PC からデータを取得] メニューをクリックすると、管理用 PC より配信データを受信します。この機能は PULL 型配信のみ利用することができます。

バージョン情報

[バージョン情報] メニューをクリックすると、e-Signage クライアントスケジューラの [バージョン情報] ダイアログボックスを表示します。

ご参考

e-Signage S で不具合などが発生し、当社にお問い合わせいただいた際には、このバージョン情報をご確認させていただく場合がございます。

また、インストール時に仮のライセンスコードを入力してご使用の場合は、2 ヶ月間の試用期限があります。試用期限が過ぎる前に、本製品に付属の「はじめにお読みください」に記載されている手順に従って、ライセンスコードを入手し、ライセンスコードを登録してください。

e-Signage クライアントスケジューラの終了

[クライアントスケジューラの終了] メニューをクリックすると、e-Signage クライアントスケジューラを終了します。

ただし、通常は終了しないでください。

e-Signage クライアントスケジューラについて (WEB クライアント)

e-Signage S WEB クライアントに搭載されている e-Signage クライアントスケジューラは、一部設定項目が異なります。

[ネットワーク] タブ

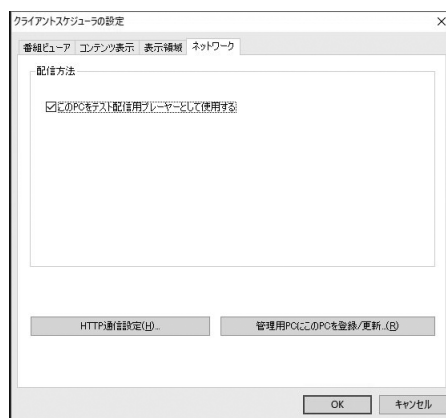
・「この PC をテスト配信用プレーヤーとして使用する」チェックボックス

チェックすると、WEB クライアントが導入された操作用 PC で、配信データを確認 / プレビューすることができます。

[HTTP 通信設定] および [管理用 PC にこの PC を登録 / 更新] を使用して管理用 PC に操作用 PC を登録し、確認したいデータを配信します。

テスト配信用プレーヤーは、サイネージ運用用途に使用することはできません。

- ・番組再生時、各コンテンツの情報を表示するウィンドウが常に表示されます。
- ・番組再生時、テスト配信用プレーヤーであることを示すダイアログが一定時間ごとに表示されます。





USB メモリーなどの外部記憶装置を利用してコンテンツを直接配信する

コンテンツをコピーした USB メモリーなどを表示用端末に挿入するだけで、コンテンツを表示することができます。

ご参考

- ・ 転送が完了するまで、USB メモリーなどの外部記憶装置をパソコンから取り外さないでください。
- ・ USB メモリーなどの外部記憶装置によっては、正常に配信できない場合があります。

1 表示用端末を「コンテンツ直接配信モード」に設定する。

- ① 表示用端末で、タスクトレイのアイコン () をクリックし、[設定] メニューをクリックします。
- ② [USB メモリー配信] タブをクリックし、「コンテンツ直接配信モード」ラジオボタンを選択します。
( 155 ページ)
- ③ 必要に応じて「配信に使用する USB メモリーのフォルダー」を設定します。
- ④ [OK] をクリックします。

2 配信するコンテンツを USB メモリーなどにコピーする。

手順 1 の③で設定したフォルダーにコンテンツをコピーしてください。
設定したフォルダーの、下位のフォルダー位置に置かれたコンテンツは表示されません。

ご参考

- ・ コンテンツ直接配信モードでは、HTML ファイルを表示できません。
- ・ コンテンツの表示はファイル名の昇順で実行されます。
ファイル名の先頭に「001」、「002」のように通し番号を付けることで、再生順序を設定することができます。
- ・ コンテンツの再生時間は通常 10 秒です。動画は再生が終わるまでの時間です。
コンテンツのファイル名の後ろに「_ [数値] m」(分) または「_ [数値] s」(秒) を付けることで、コンテンツの再生時間を設定することができます。(最大 24 時間)
[例]
image_30s.jpg とすると 30 秒間表示します。
- ・ 指定したフォルダーに Telop.txt (テキストファイル) を置くことで、その内容をテロップとして表示することができます。

3 USB メモリーなどの外部記憶装置をパソコンから取り外す。

タスクトレイの安全な取り外しアイコン () から取り外してください。

4 表示用端末に USB メモリなどの外部記憶装置を挿入する。

自動的にコンテンツが配信され、完了すると USB メモリなどの外部記憶装置は自動的に停止します。
メッセージを確認し、取り外してください。

番組ビューア

番組ビューアは、表示用端末で使用します。

e-Signage クライアントスケジューラが読み取ったスケジュールや臨時番組をもとに、番組を表示します。

ご参考

- 番組を一時中断するときは、e-Signage クライアントスケジューラのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから [番組表示を一時中断] をクリックします。
- 番組ビューアの詳細は、e-Signage クライアントスケジューラのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから [設定] をクリックし、表示された [クライアントスケジューラの設定] ダイアログボックスで変更できます。(P.147 ページ)
- 新しいスケジュールを配信すると、古いスケジュールは不要になります。不要になったスケジュールやそれに付随するコンテンツは、e-Signage クライアントスケジューラが次回起動するときに自動的に削除されます。

e-Signage S プレーヤー A1 の設定

e-Signage S プレーヤー A1 の設定を行います。

■ e-Signage S プレーヤー A1 の設定画面について

設定画面を表示する

- 1 画面の任意の場所を 2 回右クリックする。または、リモコンの [RETURN] キーを 2 回押す。
設定画面が表示されます。

設定画面の説明

• 設定

[プレーヤー設定] タブ	
プレーヤー設定	
コンテンツ格納先	受信したコンテンツの格納先を選択します。
パネル属性設定	
パネル名	表示用端末にパネル名を設定します。
グループ	表示用端末にグループを設定します。
コメント 1 ~ 3	表示用端末にコメントを設定します。



[ネットワーク設定] タブ	
配信	
配信方法	コンテンツの配信方法を設定します。
FTP サーバー設定	
ポート番号	1024 ~ 32000 で入力します。 (デフォルト：2121)
ユーザー名	半角英数字 30 文字以内で入力します。 (デフォルト：ftp)
パスワード	半角英数字 30 文字以内で入力します。 (デフォルト：ftp)
HTTP 通信設定	
サーバー(管理用 PC) の ホスト名または IP アドレス	管理用 PC のホスト名、または IP ア ドレスを入力します。
ポート番号	1 ~ 65535 で入力します。 HTTP プロトコルで使用するポート 番号を設定します。 管理用 PC、またはネットワーク内に ファイアウォールがある場合は、この ポート番号の通信を許可するように設 定してください。
ユーザー名	半角英数字 30 文字以内で入力します。 (デフォルト：http)
パスワード	半角英数字 30 文字以内で入力します。 (デフォルト：http)
プレーヤー ID	
運用グループ ID	運用グループ ID を設定します。
運用グループ名から 取得	運用グループ ID を運用グループ名か ら取得します。
プレーヤー ID	プレーヤー ID を設定します。@で始 まる 2 ~ 30 文字の文字列で設定し てください。
接続確認	
管理用 PC との接続確認	管理用 PC との接続確認を行います。
管理用 PC への登録 / 更新	表示用端末情報(配信方法、プレーヤー ID、FTP 情報、MAC アドレス) を 管理用 PC に登録します。



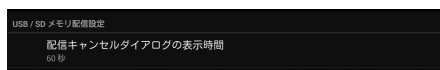
【電源管理設定】 タブ

パネル電源制御	
指定時刻にパネルの電源を ON にする	「有効」のとき指定した時刻にパネルが ON されます。
ON 時刻設定	パネルを ON にする時刻を設定します。
指定時刻にパネルの電源を OFF にする	「有効」のとき指定した時刻にパネルが OFF されます。
OFF 時刻設定	パネルを OFF にする時刻を設定します。
指定時刻に Android を再起動する	「有効」のとき指定した時刻に Android が再起動されます。
再起動時刻設定	Android を再起動する時刻を設定します。



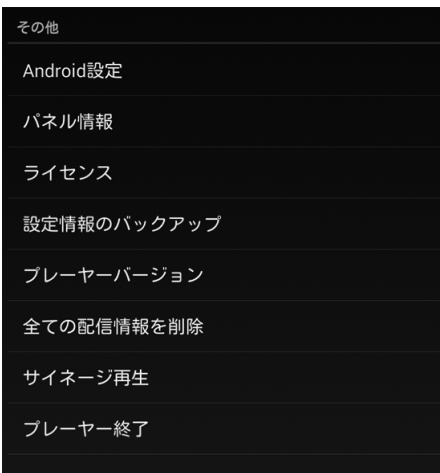
【USB/SD メモリー配信設定】 タブ

USB/SD メモリー配信設定	
配信キャンセルダイアログの表示時間	配信をキャンセルするダイアログの表示時間を設定します。



• その他

Android 設定	Android OS の設定を行います。
パネル情報	表示用端末の MAC アドレス、IP アドレスを表示します。
ライセンス	e-Signage S プレーヤー A1 で使用しているライセンス情報を表示します。
設定情報のバックアップ	プレーヤー A1 の設定情報を USB メモリー /SD カードにバックアップすることができます。※
プレーヤーバージョン	e-Signage S プレーヤー A1 のバージョン情報を表示します。
全ての配信情報を削除	表示用端末に配信されているデータを削除します。
サイネージ再生	サイネージの再生を開始します。
プレーヤー終了	プレーヤーを終了します。



※ 何も書き込まれていない USB メモリー /SD カードにバックアップしてください。リストアするときは、リストアする表示用端末でプレーヤー A1 の設定画面 (☞ 159 ページ) を表示し、バックアップした USB メモリー /SD カードを挿入することでリストアできます。

キー／マウス連携

キーボードやマウスの操作で、表示する番組を切り換える機能について説明します。

キー／マウス連携ツールの画面について

■ キー／マウス連携ツールを起動する

- 1 Windows タスクバーの【スタート】ボタンから【すべてのプログラム】 - 【SHARP e-Signage S 各種ツール】 - 【キー／マウス連携ツール】の順にクリックする。

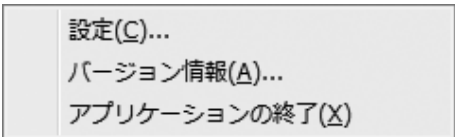
キー／マウス連携ツールが起動し、タスクトレイにアイコン () が表示され、常駐します。

ご参考

- 端末起動時にキー／マウス連携ツールを自動的に起動する場合は、Windows のスタートアップにキー／マウス連携ツールを登録してください。

■ キー／マウス連携ツールのメニュー

タスクトレイのアイコンを右クリックすると表示されるメニューでは、次の操作ができます。



設定(C)...
バージョン情報(A)...
アプリケーションの終了(X)

設定

キー／マウス連携ツールの動作モードを設定します。

- 「無効」ラジオボタン
キー／マウス連携ツールの働きを無効にします。
- 「スクリーンセーバーモード」ラジオボタン
キーボードやマウスの操作があると、番組の表示を一時中断します。
キーボードやマウスの操作が一定時間ないと、配信された番組を表示します。
[詳細設定] をクリックして、以下の設定ができます。

番組表示再開までの時間

【Ctrl】 + 【Alt】 + 【V】 キーで番組表示を再開する



• 「番組切り替えモード」ラジオボタン

キーの組み合わせに動作を割り当て、キー操作で動作を実施することができます。

20 個まで割り当てることができます。

「詳細設定」をクリックして、キーの割り当てと動作を設定してください。



① 編集する項目をクリックし、[編集] をクリックします。
「キーの割り当て設定」ダイアログボックスが表示されます。

② 各項目を設定します。

• 「キー設定」

登録するキーの組み合わせを設定します。

• 「動作」

登録したキーの動作を設定します。

• 「プリセット番組の表示」を選んだ場合、「プリセット番組 ID」に表示するプリセット番組の ID 番号を指定します。
プリセット番組をインポートしていない場合は、ID 番号を指定し、番組をインポートします。

1) 「プリセット番号 ID」に ID 番号を入力します。

2) [インポート] をクリックします。

3) エクスポートした番組データを指定し、[開く] をクリックします。

指定したプリセット番号 ID に番組がインポートされます。

• 「アプリケーションの実行」を選んだ場合は、実行するアプリケーションのパスを「パス」に入力します。
「引数」を入力することもできます。

③ [OK] をクリックします。



ご参考

- 異なる ID に同じキーを割り当てた場合、ID の小さい順に割り当てられた動作が行われます。
- PowerPoint Viewer 起動時に【Ctrl】キーが押されていると、PowerPoint コンテンツが正しい位置に表示されません。PowerPoint コンテンツを含む番組を表示する場合は、ご注意ください。

- 「通常番組表示中のマウス操作で、番組の切り替えを行う」 チェックボックス

チェックすると、マウス操作に動作を割り当て、マウス操作で動作を実施することができます。

① [詳細] をクリックします。

「マウス入力時の設定」ダイアログボックスが表示されます。

② 各項目を設定します。

- 「動作」

登録したマウス操作の動作を設定します。

- 「プリセット番組の表示」を選んだ場合、「プリセット番組 ID」に表示するプリセット番組の ID 番号を指定します。プリセット番組をインポートしていない場合は、ID 番号を指定し、番組をインポートします。

1) 「プリセット番号 ID」に ID 番号を入力します。

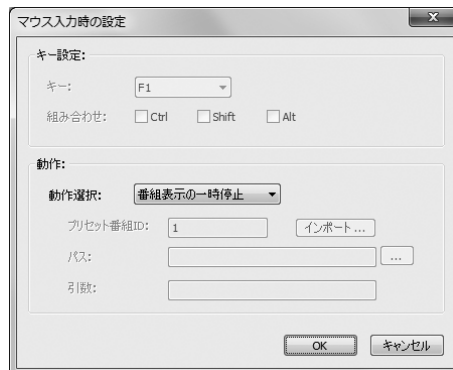
2) [インポート] をクリックします。

3) エクスポートした番組データを指定し、[開く] をクリックします。

指定したプリセット番号 ID に番組がインポートされます。

- 「アプリケーションの実行」を選んだ場合は、実行するアプリケーションのパスを「パス」に入力します。「引数」を入力することもできます。

③ [OK] をクリックします。



ご参考

- 「通常番組」とは、スケジュールされた番組もしくは臨時番組を指します。プリセット番組表示中は、割り当てられた動作は実行できません。

- 「一定時間入力がないければ、通常番組表示を再開する」チェックボックス

チェックすると、キーまたはマウスが指定された時間操作されなければ、通常番組の表示が再開します。

- ① [詳細] をクリックします。

「番組表示再開の設定」ダイアログボックスが表示されます。

- ② 各項目を設定します。

- 「番組表示再開までの時間」

番組表示再開までの時間を設定します。

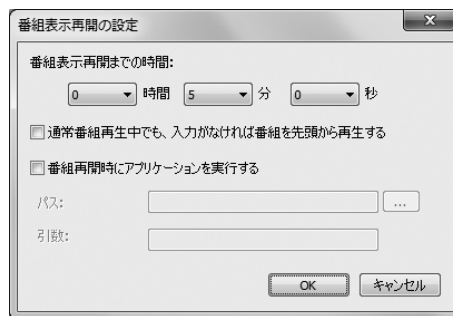
- 「通常番組再生中でも、入力がなければ番組を先頭から再生する」チェックボックス

チェックすると、指定した時間、キーまたはマウス入力がない場合に、番組の先頭から再生します。また、スケジュールどおりに番組を再生している場合でも、番組の先頭から再生します。

- 「番組再開時にアプリケーションを実行する」チェックボックス

チェックした場合は、実行するアプリケーションのパスを「パス」に入力します。「引数」を入力することもできます。

- ③ [OK] をクリックします。



バージョン情報

キー／マウス連携ツールのバージョンを表示します。

アプリケーションの終了

キー／マウス連携ツールを終了します。

e-Signage 編

e-Signage ランチャーについて

e-Signage S には、前のモデルとして「e-Signage」というデジタルサイネージソフトウェアがあります。これまでに e-Signage を利用してサイネージ運用をされていた場合や、e-Signage のソフトウェアを利用して番組やスケジュールなどを作成する場合に使用するツールを、互換ツールとしてインストールしています。e-Signage ランチャーを使用して、サイネージパーツコンテンツファイルや e-Signage 形式番組 / スケジュールを作成します。

タスクバーの [スタート] ボタンから [すべてのプログラム] - [SHARP e-Signage S 互換ツール] - [e-Signage] の順にクリックして起動します。

作成したサイネージパーツコンテンツファイルは、コンテンツフォルダー（「メディア」フォルダー）に追加して使用します。

e-Signage 形式番組 / スケジュールは、e-Signage ランチャーから起動する番組エディタ / スケジュールエディタを使用して、管理用 PC へアップロードします。e-Signage 形式番組 / スケジュールのアップロードには、「WEB サーバー / ログイン情報設定」が必要です。e-Signage ランチャーが動作している PC と管理用 PC が同一端末の場合は、「Pro WEB サーバー / ログイン情報設定」の「ホスト名または IP アドレス」に「localhost」と指定します。

e-Signage ランチャーの操作については、e-Signage の取扱説明書をご覧ください。

付録

プレゼンテーションファイル変換ツール

PowerPoint のデータを動画または静止画のデータに変換します。

動作環境

本ツールを使用するためには、お使いのパソコンに PowerPoint (Office 2016 以降) がインストールされている必要があります。

- 1 PowerPoint ファイルを右クリックし、表示されたメニューから [送る] - [プレゼンテーションファイル変換ツール] の順にクリックする。

設定画面が表示されます。

- 2 各項目を設定する。

- ・「出力ファイル形式」
出力するファイルの形式を選択します。
- ・「出力解像度」
出力するファイルの解像度を選択します。
- ・「出力ファイルの保存先」
出力するファイルの保存先を設定します。



- 3 [変換] をクリックする。

変換が実行され、保存先に設定されたフォルダに出力ファイルが保存されます。

ご参考

- ・ スライドのアスペクト比が下記以外のファイルは変換できません。
16:9、4:3、9:16、3:4
- ・ 最大 100 ファイルまで一度に変換できます。
- ・ Windows 7 の環境では、スライドが縦長のプレゼンテーションファイルを動画に変換する際に、出力解像度が下がる場合があります。

本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報

ソフトウェアの構成

本機に組み込まれているソフトウェアは、それぞれ当社または第三者の著作権が存在する、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成されています。第三者が著作権を所有するソフトウェアコンポーネントにはフリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネントも含まれます。ソースコードの入手方法実行形式のソフトウェアコンポーネント配布の条件としてソースコードの入手を可能にすることを求めるものがあります。こうしたフリーソフトウェアのソースコードの入手方法および各ライセンスの確認方法については以下の WEB サイトをご覧ください。

https://jp.sharp/business/lcd-display/support/download/e-signage_source.html



「よくあるご質問」などは
ホームページをご活用ください。



シャープサポートページ

<https://jp.sharp/business/lcd-display/support/>

シャープ株式会社

本 社 〒590-8522 大阪府堺市堺区匠町1番地
ビジネスソリューション事業本部 〒639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町492番地

●住所などは変わることがあります。(2019.3)

S JA19C(5)